非 公 表

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

初期段階環境影響評価書

別　　冊
（予測評価結果表）

平成25年2月

東　京　都

特　定　非　営　利　活　動　法　人
東京２０２０オリンピック・パラリンピック招致委員会

会場別予測評価結果表(1_オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%以上となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-2		－	0	-1	0	-0.8	-0.8	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.4
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、建設予定地の土壌汚染の可能性が想定される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	-1		－	－	0	－	-0.5	-0.5	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		新設(恒久)は現況の公園内の樹林上に設置されることより、浸透域が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	新設(恒久)は現況の公園内の樹林上に設置されることより、浸透域が減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	-0.5
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況29.3%の緑被率が20.3%となり、9.0ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況29.3%の緑被率が20.3%となり、9.0ポイント減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は17.7%となるが緑化基準を満たす。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は17.7%となるが緑化基準を満たす。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	イベント開催時における施設の供用、歓声や応援等の騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	-1		－	0	-1	-1	-0.8	-0.8	-0.9
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。			-1	－		-1	-1.0	-1.0	

会場別予測評価結果表(1_オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			視認できる緑はすべて施設手前であり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.4
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		施設周辺の樹木及びアクセスルートに面した樹木の一部が改変されるが、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設周辺の樹木及びアクセスルートに面した樹木の一部が改変されるが、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		建設工事に伴い、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(1_オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等が存在するが大会開催に伴う強制退去等は生じない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(1_オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%以上となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-2		－	+1	0	+1	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土壌汚染の可能性が想定されるが、工事の際に汚染が確認された場合はミティゲーションの実施により土壌汚染物質が除去される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	+1		－	－	0	－	0.5	0.5	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		雨水浸透施設設置により、現況と同程度の浸透を確保できると想定した。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	雨水浸透施設設置により、現況と同程度の浸透を確保できると想定した。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況29.3%の緑被率は22.6%となり、緑比率が6.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-1		－	0	-0.5	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化基準を満たしている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が21.0%となり、段階2を達成。	－		0		－	+1	0.5		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	イベント開催時に発生する騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境の影響を及ぼさない程度に抑えられる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。			0	－		0	0.0	0.0	

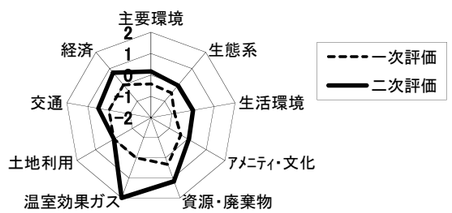
会場別予測評価結果表(1_オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			街路樹を整備するが、評価地点の緑視率は、現況と変わらない。			会場エリア内に整備された樹木を維持する。緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.2	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場へのアクセス性が向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2	0.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルート周辺において整備した街路樹を維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		建設工事に伴い、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.7%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.7%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(1_オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等が存在するが大会開催に伴う強制退去等は生じない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1	1.0	1.0	0.5
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.4	0.2
生態系	−0.5	0.0
生活環境	−0.9	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.4	0.1
資源・廃棄物	0.3	1.2
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.5
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(2_東京体育館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	-0.8
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		新設(恒久)は現況の公園内の樹林上に設置されることより、浸透域が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	新設(恒久)は現況の公園内の樹林上に設置されることより、浸透域が減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況29.3%の緑被率が20.3%となり、9.0ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況29.3%の緑被率が20.3%となり、9.0ポイント減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は17.7%となるが緑化基準を満たす。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は17.7%となるが緑化基準を満たす。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(2_東京体育館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			視認できる緑はすべて施設手前であり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.3
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		建設工事に伴い、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.7
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、16.6%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、16.6%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	

会場別予測評価結果表(2_東京体育館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(2_東京体育館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－	0.3	0.3	0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		雨水浸透施設設置により、現況と同程度の浸透を確保できると想定した。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	雨水浸透施設設置により、現況と同程度の浸透を確保できると想定した。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況29.3%の緑被率は22.6%となり、緑比率が6.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-1		－	0	-0.5	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化基準を満たしている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が21.0%となり、段階2を達成。	－		0		－	+1	0.5		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

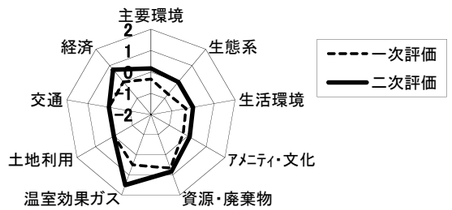
会場別予測評価結果表(2_東京体育館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			街路樹を整備するが、評価地点の緑視率は、現況と変わらない。			会場エリア内に整備された樹木を維持する。緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.4	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場へのアクセス性が向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2	0.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		建設工事に伴い、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、17.1%程度の削減が見込まれる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、17.1%程度の低減が見込まれる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(2_東京体育館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.2
生態系	−0.8	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.3	0.1
資源・廃棄物	0.7	0.8
温室効果ガス	0.5	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(3_国立代々木競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(3_国立代々木競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の歩行者デッキの設置により、樹木が影響を受けるが、緑視率の減少は約3.6ポイントであり、現況と変わらない。			仮設の歩行者デッキが撤去された後も、樹木が改変された状態が続く。緑視率の減少は約0.1ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.3
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		一部の街路樹が改変されるが、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	街路樹の改変は継続する、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		*-1*		－	*-1*	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設は埋蔵文化財包蔵地に影響を与えることは少ないと考えられるが、事前調査を行い、適切に工事を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(3_国立代々木競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(3_国立代々木競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－	0.3	0.3	0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

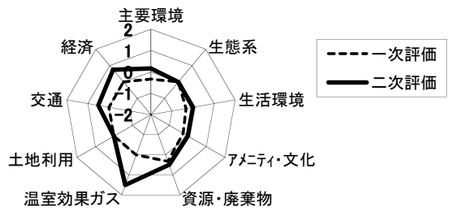
会場別予測評価結果表(3_国立代々木競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			影響を受ける樹木については、会場エリア内への移植を行う。評価地点の緑視率の減少は一次評価と同じく約3.6ポイントであり、現況と変わらない。			会場エリア内に移植していた樹木を原状復帰する。緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		歩行者デッキにより改変される樹木については会場エリア内に移植を行うことにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設撤去後の原状復帰、会場エリア内に移植した樹木の維持により、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設は埋蔵文化財包蔵地に影響を与えることは少ないと考えられるが、事前調査を行い、適切に工事を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、11.6%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、11.6%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(3_国立代々木競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価													
					段階別影響						評価点							
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1	1.0	1.0	0.5
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		−	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.2
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.3	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.5
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(4_日本武道館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	新たな恒久施設は、イベント開催会場等としての一般利用は想定されないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		新設の地下室により一部浸透域の改変が行われるが、ほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	新設の地下室により一部浸透域の改変が行われるが、ほとんど現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。			地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。			地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	新たな恒久施設は、イベント開催会場等としての一般利用は想定されないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(4_日本武道館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置に伴い、緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約2.5ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.4
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-1.4	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	-1.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が開削され、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(4_日本武道館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(4_日本武道館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－	0.3	0.3	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	新たな恒久施設は、イベント開催会場等としての一般利用は想定されないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.1
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		新設の地下室により一部浸透域の改変が行われるが、ほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	新設の地下室により一部浸透域の改変が行われるが、ほとんど現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	新たな恒久施設は、イベント開催会場等としての一般利用は想定されないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

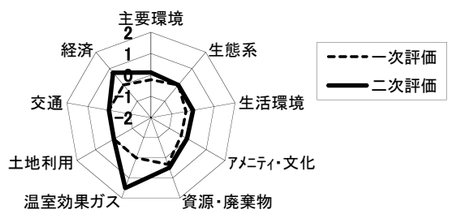
会場別予測評価結果表(4_日本武道館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置に伴い、緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約2.5ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	−0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	−		−		−	−	−	−0.2	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		自然との触れ合い活動の場へのアクセスが阻害される。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		−1	−1	0	+1	−0.2		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	−		0		−	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が開削され、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	−		0		−	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	−		0	−	−	0	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		−	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		−	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		−	−	+1	−	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、13.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、11.8%程度の削減が図られる。	+2		−	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、13.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、11.8%程度の低減が図られる。	+2		−	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(4_日本武道館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.4	−0.1
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(5_皇居外苑)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(5_皇居外苑)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置により、一部の緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約3.9ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設は埋蔵文化財包蔵地に影響を与えることは少ないと考えられるが、事前調査を行うなど、適切に工事を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設が撤去されるため、埋蔵文化財に影響を与えることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(5_皇居外苑)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在道路、公園、運動場となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0			0.0		

会場別予測評価結果表(5_皇居外苑)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0		0.3	0.3	0.1
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

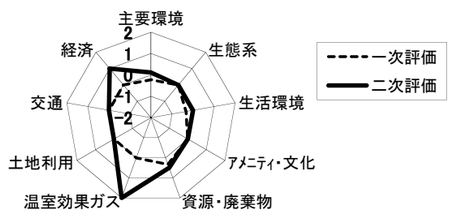
会場別予測評価結果表(5_皇居外苑)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置により、一部の緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約3.9ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設は埋蔵文化財包蔵地に影響を与えることは少ないと考えられるが、事前調査を行うなど、適切に工事を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設が撤去されるため、埋蔵文化財に影響を与えることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(5_皇居外苑)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在道路、公園、運動場となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(6_東京国際フォーラム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	影響要因は想定されないため対象外。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	影響要因は想定されないため対象外。	影響要因は想定されないため対象外。	－		－	0	－	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD、SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	内装工事のみで汚濁負荷物質の排出はほとんどないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	内装工事のみで汚濁負荷物質の排出はほとんどないことから対象外とする。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	－		－	0	－	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	－
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	－		－	0	－	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			新たな施設の建設は行わないことから対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			－	－		－	－	－	

会場別予測評価結果表(6_東京国際フォーラム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		工事による改変は、既存施設内部の改築・改修のみである。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	－		－	0	－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	－		－	0	－	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	－		－	+1	－	+1	1.0	1.0	1.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	－		－	+1	－	+1	1.0	1.0	

会場別予測評価結果表(6_東京国際フォーラム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			敷地内における設営等にとどまるため土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	影響要因は想定されないため対象外。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	影響要因は想定されないため対象外。	影響要因は想定されないため対象外。	－		－	+1	－	－	1.0	1.0	0.5
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	内装工事のみで汚濁負荷物質の排出はほとんどないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	－		－	0	－	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	－
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	－
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	－		－	0	－	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			新たな施設の建設は行わないことから対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					－	－		－	－	－	

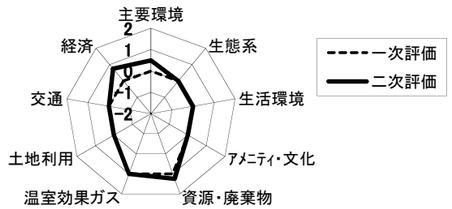
会場別予測評価結果表(6_東京国際フォーラム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		工事による改変は、既存施設内部の改築・改修のみである。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	－		－	0	－	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	－		－	+1	－	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	－		－	+1	－	+1	1.0	1.0	1.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	－		－	+1	－	+1	1.0	1.0	

会場別予測評価結果表(6_東京国際フォーラム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			敷地内における設営等にとどまるため土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	0.0	0.5
生態系	－	－
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	1.0	1.3
温室効果ガス	1.0	1.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(7_国技館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(7_国技館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		工事による改変は、既存施設内部の改築・改修のみである。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.7
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(7_国技館)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは公共用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(7_国技館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－	0.3	0.3	0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

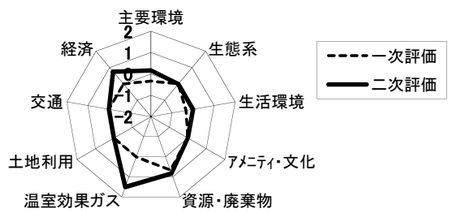
会場別予測評価結果表(7_国技館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		工事による改変は、既存施設内部の改築・改修のみである。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.9%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.9%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(7_国技館)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは公共用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.2
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.7	0.8
温室効果ガス	0.0	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(8_有明アリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		-0.2
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	0.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑化率は0%である。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、緑化率は0%である。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	開催後の後利用は開催中と同様に屋内でのイベント開催であることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(8_有明アリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置により、一部の緑が改変されるが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、恒設が残り、草地が改変された状態が続くが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(8_有明アリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	1.0	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			大規模体育館としての有効利用が継続される。			+2			+2	2.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(8_有明アリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-1		－	+1	0	+1	0.3	0.3	0.1
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況0%の緑被率が42.9%となり、緑被率が42.9ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況0%の緑被率は42.9%となり、緑被率が42.9ポイント増加する。	－		+2		－	+2	2.0	1.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が17.4%となり、緑化基準を満たした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が17.4%となり、段階1を達成。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	屋内でのイベント開催であり、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

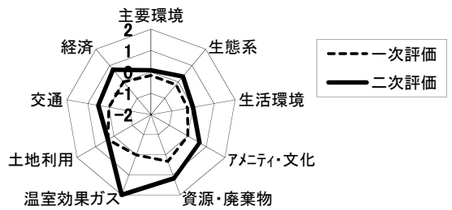
会場別予測評価結果表(8_有明アリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			会場エリア内に緑地が整備され、周辺に街路樹が整備されるため、現況と同等の緑視率になると想定する。			開催中に整備された樹木を維持することを想定する。仮設撤去後は、草本の種を播くなどして、現在と同様の植生となると予測した。			0			0	0.0	0.0	0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1	1.0	0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図るとともに、会場エリア内の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルートの街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.5%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.5%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(8_有明アリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	1.0	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			大規模体育館としての有効利用が継続される。			+2			+2	2.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			来場者用の歩行者通路の設置によりアクセス性が向上する。			来場者用の歩行者通路の設置によるアクセス性向上が維持される。			+1			+1	1.0	1.0	0.5
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	−0.2	0.3
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.6
資源・廃棄物	0.3	1.2
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.3	0.3
交通	0.0	0.5
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(9_有明BMXコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(9_有明BMXコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置により、一部の緑が改変されるが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、草地が改変された状態が続くが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	-0.3	-0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0	-0.5		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(9_有明BMXコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.8	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1	1.5		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時には未利用地となる。			0			－	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置			対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0				0.0		

会場別予測評価結果表(9_有明BMXコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0		0.3	0.3	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.1
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況0%の緑被率が17.4%となり、緑被率が17.4ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	開催後は未利用地に戻るが、海辺沿い数十mは公園として整備されることから、緑被率は8.1ポイント増加する。	－		+1		－	+1	1.0	1.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

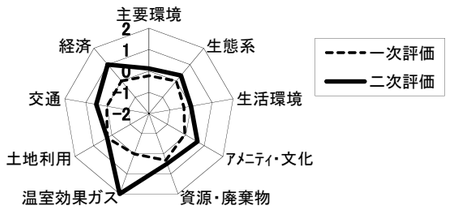
会場別予測評価結果表(9_有明BMXコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			会場エリア内に緑地が整備され、周辺に街路樹が整備されるため、現況と同等の緑視率になると想定する。			仮設撤去後は、草本の種を播くなどして、現在と同様の植生となると予測した。			0			0	0.0	0.0	0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1	1.0	0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図るとともに、会場エリア内の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルートの街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(9_有明BMXコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.8	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1	1.5		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			来場者用の歩行者通路の設置によりアクセス性が向上する。			後利用時には未利用地となる。			+1			－	1.0	1.0	0.5
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	0.0	0.3
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.1	0.6
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.3	0.3
交通	0.0	0.5
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(10_有明ベロドローム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(10_有明ベロドローム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置により、一部の緑が改変されるが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、草地が改変された状態が続くが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	-0.3	-0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0	-0.5		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(10_有明ベロドローム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.8	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1	1.5		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時には未利用地となる。			0			－	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置			対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0				0.0		

会場別予測評価結果表(10_有明ベロドローム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		0		－	+1	-1		0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況0%の緑被率が17.4%となり、緑被率が17.4ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	開催後は未利用地に戻るが、海辺沿い数十mは公園として整備されることから、緑被率は8.1ポイント増加する。	－		+1		－	+1	1.0	1.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

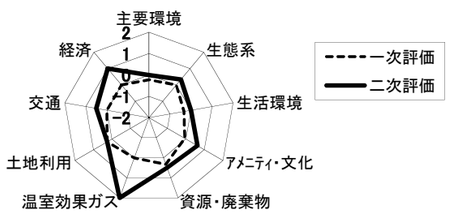
会場別予測評価結果表(10_有明ベロドローム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			会場エリア内に緑地が整備され、周辺に街路樹が整備されるため、緑視率は現況と同等程度になると想定する。			仮設撤去後は、草本の種を播くなどして、現在と同様の植生となると予測した。			0			0	0.0	0.0	0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1	1.0	0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図るとともに、会場エリア内の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルートの街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(10_有明ベロドローム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.8	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1	1.5		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			来場者用の歩行者通路の設置によりアクセス性が向上する。			後利用時には未利用地となる。			+1			－	1.0	1.0	0.5
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.0
生態系	0.0	0.3
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.1	0.6
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.3	0.3
交通	0.0	0.5
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(11_有明体操競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(11_有明体操競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置及び整地により、一部の緑地が改変され、緑視率は現況よりも約9.3ポイント減少する。			仮設撤去後、草地が改変された状態が続くため、緑視率は現況より約9.3ポイント減少する。			-1			-1	-1.0	-0.8	-0.2
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0	-0.5		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(11_有明体操競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.8	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1	1.5		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時には未利用地となる。			0			－	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置			対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0				0.0		

会場別予測評価結果表(11_有明体操競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		-1		－	+1	-1		-0.3	-0.3	-0.1
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.5
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況0%の緑被率が26.5%となり、緑被率が26.5ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	開催後は未利用地に戻るが、海辺沿い数十mは公園として整備されることから、緑被率は15.0ポイント増加する。	－		+2		－	+1	1.5	1.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

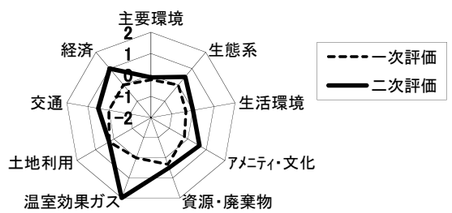
会場別予測評価結果表(11_有明体操競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			会場エリア内に緑地が整備され、周辺にも街路樹が整備されるため、現況と同等の緑視率になると想定する。			仮設の撤去後は、未利用地に戻るが整地された状態が続く。草本の種を播くなどして、現在と同様の植生となると想定する。			0			0	0.0	0.0	0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1	1.0	0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図るとともに、会場エリア内の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルートの街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(11_有明体操競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.8	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1	1.5		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			来場者用の歩行者通路の設置によりアクセス性が向上する。			後利用時には未利用地となる。			+1			－	1.0	1.0	0.5
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	−0.1
生態系	0.0	0.5
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.2	0.6
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.3	0.3
交通	0.0	0.5
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(12_有明テニスの森)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	-0.4
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況42.1%の緑被率が17.2%となり、24.9ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況42.1%の緑被率が17.2%となり、24.9ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	-2.0	-1.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は16.6%となるが緑化基準を満たす。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は16.6%となるが緑化基準を満たす。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	開催前の利用形態に変化はなく、周辺の生活環境に影響を及ぼすような新たな騒音の発生はない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影は概ね会場エリア内に留まることから周辺への影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(12_有明テニスの森)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設の設置により、会場エリア内の大部分が改変されるが、緑視率の減少は約0.9ポイントであり、現況と変わらない。			樹木の改変による緑視率の減少は、約0.9ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.9
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。	－		-2		－	-2	-2.0	-1.7	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	-1.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		会場エリア内の歩道沿いを含む樹木の大部分が改変されるため、緑陰面積が減少し、歩行者が感じる快適性が低下する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	会場エリア内の歩道沿いを含む樹木の大部分が改変されるため、緑陰面積が減少し、歩行者が感じる快適性が低下する。	－		-2		－	-2	-2.0	-2.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.7
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(12_有明テニスの森)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(12_有明テニスの森)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況42.1%の緑被率が29.2%となり、緑被率が12.9ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況42.1%の緑被率が29.4%となり、12.7ポイント減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が19.1%となり、緑化基準を満たした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が19.1%となり、段階1を達成。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	開催前の後利用において周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

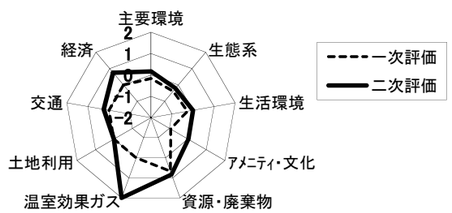
会場別予測評価結果表(12_有明テニスの森)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設の設置の影響を受ける樹木は会場内に移植されるが、緑視率の減少は約0.9ポイントであり、現況と変わらない。			会場エリア内に移植された樹木が開催後も維持されることを想定する。緑視率の減少は約0.9ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0	0.0	0.1	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場へのアクセス性が向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		+1	-1	0	+1	0.2		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		施設の整備により改変される樹木を移植することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	移植した樹木を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、24.4%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、24.6%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、24.4%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、24.6%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(12_有明テニスの森)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			仮設の歩行者デッキの撤去により、現状と同程度のアクセス性となる。			+1			0	0.5	0.5	0.3
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.2
生態系	−0.4	−0.2
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.9	0.0
資源・廃棄物	0.7	0.8
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.3
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(13_お台場海浜公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.4
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	生物の生育・生息場所の分断はなく、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.3	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		砂浜にデッキが設置されることから、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	水辺がトライアスロンの競技エリアとなるため、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	砂浜に設置されたデッキが撤去されることから、生息が困難となる可能性のある種は存在しない。	-1		-1	-1	-1	0	-0.8		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況25.4%の緑被率が19.6%となり、5.8ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況25.4%の緑被率が19.6%となり、5.8ポイント減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(13_お台場海浜公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の観客席及び仮設のフェンスの設置により緑視が阻害され、緑視率は約9.0ポイント減少する。			仮設の観客席及び仮設フェンスが撤去されるが、樹木は改変された状態が続くため、現況から約1.9ポイントの減少となる。			-1			0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0	-0.5		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(13_お台場海浜公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0			0.0		

会場別予測評価結果表(13_お台場海浜公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0		0.3	0.3	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.1
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	-0.3	-0.3
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		施設の存在に伴う生息地の改変により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	開催中の競技の実施により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	砂浜に設置されたデッキが撤去されることから、生息が困難となる可能性のある種は存在しない。	*-1*		*-1*	*-1*	*-1*	0	-0.8		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況25.4%の緑被率が19.6%となり、緑被率が5.8ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		*-1*		－	0	-0.5	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

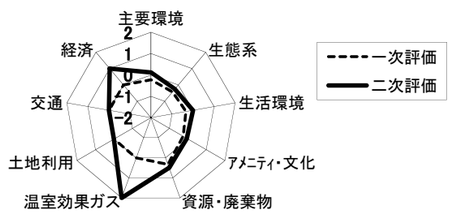
会場別予測評価結果表(13_お台場海浜公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			影響を受ける樹木は、会場内に移植されるが、緑視率の減少は約9.0ポイントで一次評価と変わらない。			仮設撤去後、樹木を現状復帰することを想定しており、緑視率は現況と変わらない。			-1			0	-0.5	-0.3	-0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(13_お台場海浜公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	−0.4	−0.3
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.3	−0.1
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(14_潮風公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.4
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況53.9%の緑被率が42.5%となり、11.4ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況53.9%の緑被率が42.5%となり、11.4ポイント減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(14_潮風公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の観客席の設置により、芝生地が改変されるが、緑視率の減少は約1.4ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後も、芝生地は改変された状態が続くが、緑視率の減少は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	-0.3	-0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0	-0.5		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変されたままとなる。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.2	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	-1.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設の建物の設置により、一部の樹木が改変されるため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設が撤去されるが、一部の樹木が改変された状態が継続するため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(14_潮風公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0			0.0		

会場別予測評価結果表(14_潮風公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0		0.3	0.3	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.1
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	-0.2
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		一次評価の結果、緑被率が11.4ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-1		－	0	-0.5	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

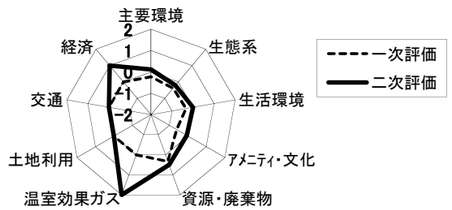
会場別予測評価結果表(14_潮風公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の観客席の設置により、芝生地が改変するが、緑視率の減少は約1.4ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、芝生地の原状復帰を行うことを想定しており、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		-1		－	0	-0.5	-0.3	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が現況レベルまで改善する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変される樹木については、会場エリア内に移植することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設撤去後に、樹木の原状復帰を行うことにより、緑陰面積及び歩行者の感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(14_潮風公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	−0.4	−0.2
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.6	−0.1
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(15～16_東京ビッグサイト・ホールA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	-0.5
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況4.0%の緑被率が3.3%となり、0.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況4.0%の緑被率が3.3%となり、0.7ポイント減少する。	－		0		－	0	0.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は2.6%となり、緑化基準を満たさない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は2.6%となり、緑化基準を満たさない。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(15～16_東京ビッグサイト・ホールA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の歩行者デッキの設置により緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約0.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設の歩行者デッキが撤去されるが、樹木が改変された状態が続くため、現況から約0.2ポイントの減少となる。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、16%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、16%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	

会場別予測評価結果表(15～16_東京ビッグサイト・ホールA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在商業用地、屋外利用地等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(15～16_東京ビッグサイト・ホールA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－	0.3	0.3	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況4.0%の緑被率が9.3%となり、緑被率が5.3ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況4.0%の緑被率が9.3%となり、5.3ポイント増加する。	－		+1		－	+1	1.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率は8.6%であり、緑化基準を満たさなかった。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率は8.6%であり、緑化基準を満たさなかった。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

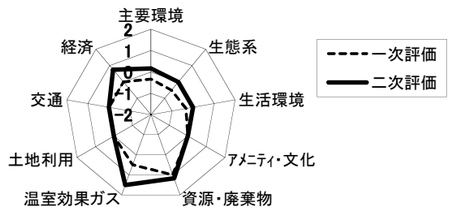
会場別予測評価結果表(15～16_東京ビッグサイト・ホールA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			評価地点の緑視率の減少は約0.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、樹木の原状復帰を行うため、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、17.2%程度の削減が見込まれる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、17.2%程度の低減が見込まれる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(15～16_東京ビッグサイト・ホールA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在商業用地、屋外利用地等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.2
生態系	−0.5	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	1.0	1.2
温室効果ガス	0.5	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(17_大井ホッケー競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	-0.2
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況72.1%の緑被率が30.1%となり、42.0ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況72.1%の緑被率が30.1%となり、42.0ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	-2.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変を受けるが緑化率は23.2%であり段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変を受けるが緑化率は23.2%であり段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	既存の公園内の施設であり周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影は概ね会場エリア内に留まることから周辺への影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(17_大井ホッケー競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			恒久施設及び仮設の設置に伴う整地により、樹木が影響を受けるため、緑視率は現況よりも約10.6ポイント減少する。			仮設が撤去後も、樹木が改変された状態が続くため、緑視率の減少は、約10.2ポイントである。			-1			-1	-1.0	-0.5	-0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変されたままとなる。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設、恒設の建設により、樹木が改変されるため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木が改変された状態が継続するため、会場エリア内の緑陰面積は減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(17_大井ホッケー競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない運動場となっており、自然地や農地は存在し						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(17_大井ホッケー競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	*-1*		0	0	*-1*	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況72.1%の緑被率は41.3%となり、緑比率が30.8ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		*-2*		－	0	-1.0	0.3	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		段階2の水準を達成している。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が38.0%となり、段階3を達成。	－		+1		－	+2	1.5		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	既存の公園内の施設であり周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

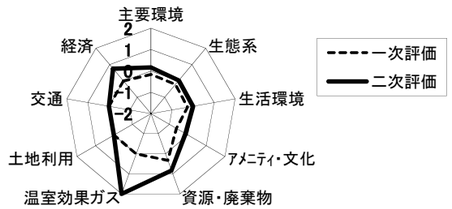
会場別予測評価結果表(17_大井ホッケー競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			影響を受ける樹木については、会場エリア内への移植を行うが、評価地点の緑視率には影響しない。緑視率は、一次評価と同様に現況よりも約10.6ポイント減少する。			仮設撤去後、樹木の原状復帰を行うため、緑視率は現況と変わらない。			-1			0	-0.5	-0.3	-0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		-1		－	0	-0.5	-0.3	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変される樹木については、会場エリア内へ移植を行うことにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	移植した樹木の維持、仮設撤去後の原状復帰により、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、37.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、37.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(17_大井ホッケー競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない運動場となっており、自然地や農地は存在し						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.2
生態系	−0.2	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.6	−0.1
資源・廃棄物	0.3	0.8
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(18_海の森クロスカントリーコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(18_海の森クロスカントリーコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			緑視率は現況と変わらないと想定する。			一部が未利用地に戻る。緑視率は現況と変わらないと想定する。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(18_海の森クロスカントリーコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	1.0	0.5
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			公共公園として都民の憩いの場として有効利用が継続される。			+2			+2	2.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.5	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後も公用的利用がなされ、ネットワーク化の進展が維持される。			+1	+1		+1	1.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	開催後においても開催中と同様に歩車道分離が維持される。	－		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。					0				0.0		

会場別予測評価結果表(18_海の森クロスカントリーコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0		0.3	0.3	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.1
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、広域に亘って生物の生育・生息場所が増大し、連続性が向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、広域に亘って生物の生育・生息場所が増大し、連続性が向上する。	－		+2		－	+2	2.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	1.0	1.0
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションを行うことにより、＋20ポイント以上緑被率が増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	＋20ポイント以上緑被率が増加する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

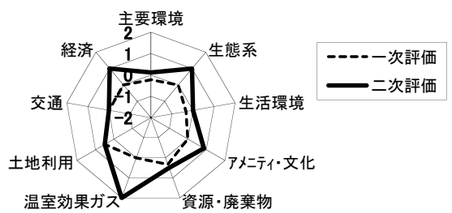
会場別予測評価結果表(18_海の森クロスカントリーコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			海の森の整備を行い、現況よりも緑視率が5ポイント以上増加すると想定する。			造成された海の森を維持するため、緑視率は、現況よりも5ポイント以上増加する。			+1			+1	1.0	0.5	0.9
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が全般的に向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が全般的に向上する。	－		+2		－	+2	2.0	1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		88haの植樹などを行う。これにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海の森として整備された樹林を維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(18_海の森クロスカントリーコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	1.0	0.5
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			公共公園として都民の憩いの場として有効利用が継続される。			+2			+2	2.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.5	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後も公用的利用がなされ、ネットワーク化の進展が維持される。			+1	+1		+1	1.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	開催後においても開催中と同様に歩車道分離が維持される。	－		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	0.0	1.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.9
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.5	0.5
交通	0.0	0.0
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(19_海の森水上競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.4
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	陸域工事に伴う汚濁負荷物質による影響はないものの、海域工事の実施に伴うって発生する濁りによる影響がみられる。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	0	0	-0.3	-0.3	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、建設予定地の土壌汚染の可能性が想定される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	-1		－	－	0	－	-0.5	-0.5	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	0.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑化率は0%である。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、緑化率は0%である。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	会場の周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(19_海の森水上競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			緑視率は現況と変わらないと想定する。			一部が未利用地に戻る。緑視率は現況と変わらないと想定する。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であることから、緑陰面積及び歩行者の感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(19_海の森水上競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	1.0	0.5
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			都民の水辺のレクリエーションとして有効利用が継続される。			+2			+2	2.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.5	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後も公用的利用がなされ、ネットワーク化の進展が維持される。			+1	+1		+1	1.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	開催後においても開催中と同様に歩車道分離が維持される。	－		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(19_海の森水上競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	海域工事における影響がみられるが、濁りの発生を抑制するためのミティゲーションにより影響が低減される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土壌汚染の可能性が想定されるが、工事の際に汚染が確認された場合はミティゲーションの実施により土壌汚染物質が除去される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	+1		－	－	0	－	0.5	0.5	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.5
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションを行うことにより、＋20ポイント以上緑被率が増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	＋20ポイント以上緑被率が増加する。	－		+2		－	+2	2.0	1.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率20%以上となり、段階2を達成する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率20%以上となり、段階2を達成。	－		+1		－	+1	1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	会場周辺には住宅等が存在しておらず生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

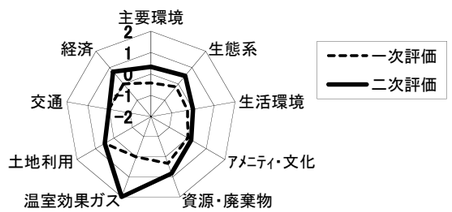
会場別予測評価結果表(19_海の森水上競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設の整備に伴い、緑地を造成するため、緑視率は増加すると想定する。			開催後は一部が未利用地に戻る。緑視率は現況と変わらないと想定する。			+1			0	0.5	0.3	0.2
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が全般的に向上する。	－		0		－	+2	1.0	0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、33.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、33.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(19_海の森水上競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	1.0	0.5
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			都民の水辺のレクリエーションとして有効利用が継続される。			+2			+2	2.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.5	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後も公用的利用がなされ、ネットワーク化の進展が維持される。			+1	+1		+1	1.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	開催後においても開催中と同様に歩車道分離が維持される。	－		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.4	0.3
生態系	−0.2	0.5
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.2
資源・廃棄物	0.3	0.8
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.5	0.5
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(20_海の森マウンテンバイクコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(20_海の森マウンテンバイクコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			緑視率は現況と変わらないと想定する。			未利用地に戻るため、緑視率は現況と変わらないと想定する。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(20_海の森マウンテンバイクコース)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.5	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			会場の後利用が想定されず未利用地に戻る。			+2			0	1.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.5	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後の公共的利用は想定されないため、評価の対象外とする。			+1	+1		－	1.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			後利用時には未利用地となる。			0			－	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。	後利用時の周辺の公共利用が想定されないため評価の対象外とする。	－		－	0	－	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0			0.0		

会場別予測評価結果表(20_海の森マウンテンバイクコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0		0.3	0.3	0.1
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	開催後は未利用地に戻ることから、緑被率は現況とほぼ変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

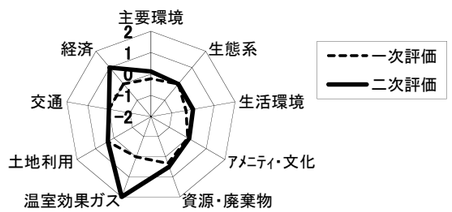
会場別予測評価結果表(20_海の森マウンテンバイクコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設の整備に伴い、緑地を造成するため、緑視率は増加すると想定する。			未利用地に戻るため、緑視率は現況と変わらないと想定する。			+1			0	0.5	0.3	0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(20_海の森マウンテンバイクコース)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.5	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			会場の後利用が想定されず未利用地に戻る。			+2			0	1.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.5	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後の公共的利用は想定されないため、評価の対象外とする。			+1	+1		－	1.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			後利用時には未利用地となる。			0			－	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。	後利用時の周辺の公共利用が想定されないため評価の対象外とする。	－		－	0	－	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.1
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.3	0.3
交通	0.0	0.0
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(21_若洲オリンピックマリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	陸域工事に伴う汚濁負荷物質による影響はないものの、海域工事の実施に伴うって発生する濁りによる影響がみられる。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	0	0	-0.3	-0.3	-0.3
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.3	-0.6
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		人工磯が改変されることから、生息が困難と成る可能性のある種が存在する。	水辺がセーリングの競技エリアとなるため、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	人工磯が消失した状態が継続することから、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	-1		-1	-1	-1	-1	-1.0		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.1%の緑被率が15.8%となり、39.3ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.1%の緑被率が15.8%となり、39.3ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	-2.0	-1.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は8.3%となり、緑化基準を満たさない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は8.3%となり、緑化基準を満たさない。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	既存の公園内の施設であり周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(21_若洲オリンピックマリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設のフェンス及び会場内の整地により、緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約1.2ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後も会場エリア内は整地されているため、緑視率は現況よりも約22.1ポイント減少する。			0			-2	-1.0	-0.5	-0.8
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の主要部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用においても、自然との触れ合い活動の場の主要部が改変されたままとなる。	－		-2		－	-2	-2.0	-1.7	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	-1.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ全面において舗装による改変を受けるため、緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の建物、観客席が撤去されるが、舗装面は開催後も残り、樹木が改変された状態であるため、緑陰面積が減少した状態が続く。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(21_若洲オリンピックマリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在敷地内の屋外利用地や公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(21_若洲オリンピックマリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	海域工事における影響がみられるが、濁りの発生を抑制するためのミティゲーションにより影響が低減される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.3	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		施設の存在に伴う生息地の改変により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	開催中の競技の実施により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	開催後の仮設の撤去や施設の後利用に伴う生息地の改変により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	*-1*		*-1*	*-1*	*-1*	*-1*	-1.0		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.1%の緑被率が24.4%となり、緑被率が30.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		*-2*		－	0	-1.0	-0.3	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化基準を満たさなかった。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が35.0%となり、段階3を達成。	－		*-1*		－	+2	0.5		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	既存の公園内の施設であり周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

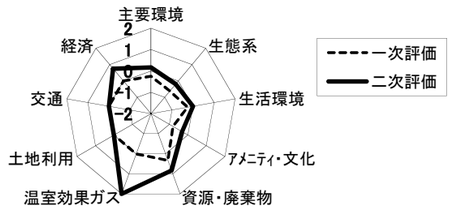
会場別予測評価結果表(21_若洲オリンピックマリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			影響を受ける樹木は会場エリア内に移植を行うが、評価地点の緑視には影響しない。緑視率は、一次評価と同様に約1.2ポイント減少する。			仮設撤去後、芝生地の原状復帰を行うため、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.3
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場の改善及び創出を図るが、現況レベルまでは達しない。	－		-2		－	-1	-1.5	-0.8	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が現況レベルまで改善する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		歩道沿いに適度な植栽を行うが、若洲キャンプ場が改変された状態であるため、緑陰面積は減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	若洲キャンプ場の原状復帰、植樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらないレベルとなる。	－		-1		－	0	-0.5	-0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、26.4%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、26.4%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(21_若洲オリンピックマリーナ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在敷地内の屋外利用地や公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.2
生態系	−0.6	−0.2
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.8	−0.3
資源・廃棄物	0.3	0.8
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(22_葛西臨海公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	-0.5	-0.7
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況63.2%の緑被率が32.0%となり、31.2ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況63.2%の緑被率が32.0%となり、31.2ポイント減少する。	－		-2		－	-2	-2.0	-1.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は19.0%となり、緑化基準を満たさない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は19.0%となり、緑化基準を満たさない。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	既存の公園内の施設であり周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(22_葛西臨海公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			視認できる緑はすべて施設手前であり、現況と変わらない。			仮設の観客席が撤去されるが、恒久施設の存在により緑視が阻害された状態であるため、緑視率は約19.8ポイント減少した状態が続く。			0			-1	-0.5	-0.3	-0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変されたままとなる。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまった樹木が影響を受けるため、会場エリア内において緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	恒設の競技エリアの整備にともない、会場エリア内において緑陰面積が減少した状態が続く。アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(22_葛西臨海公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは屋外利用地や公園、運動場等であり自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(22_葛西臨海公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.4
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況63.2%の緑被率が33.4%となり、緑被率が29.8ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況63.2%の緑被率が48.7%となり、緑被率が14.5ポイント減少する。	－		-2		－	-1	-1.5	-0.8	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化基準を満たしていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が28.4%となり段階2の水準を達成。	－		-1		－	+1	0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	既存の公園内の施設であり周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

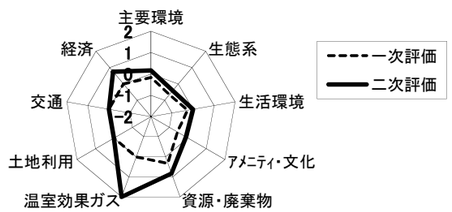
会場別予測評価結果表(22_葛西臨海公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			カヌーコース水路間の芝生化、低木植栽を想定するが、視認できる緑はすべて施設手前であり、現況と変わらない。			恒久のカヌーコースが残るが、開催中に整備した芝生や樹木を維持する。整備された緑地は現況と同等の緑視率となるように配置されていることを想定する。			0			0	0.0	0.0	-0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場の創出を図るが、現況レベルまでは達しない。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.4	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		+1	-1	0	+1	0.2		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変される樹木については、会場エリア内へ移植を行うことにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設撤去後の原状復帰、移植を維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、23.1%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、23.1%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(22_葛西臨海公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは屋外利用地や公園、運動場等であり自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.2
生態系	−0.7	−0.4
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.6	−0.1
資源・廃棄物	0.3	0.8
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(23～24_夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.5
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、建設予定地の土壌汚染の可能性が想定される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	仮設撤去において土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	-1		－	－	－	－	-1.0	-1.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	-0.2
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.5%の緑被率が31.1%となり、24.4ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.5%の緑被率が31.1%となり、24.4ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	-2.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変を受けるが緑化率は21.7%となり、段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変を受けるが緑化率は21.7%となり、段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	開催後の後利用は開催中と同様に屋内でのイベント開催であることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影は概ね会場エリア内に留まることから周辺への影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(23～24_夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			恒久のアリーナの設置による緑視率の低下は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			恒久のアリーナの整備による緑視率の減少は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.4
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.5	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		恒設のアリーナの整備により樹木が影響を受けるため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	恒設のアリーナの存在により、緑陰面積が減少した状態が続く。 アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらな	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(23～24_夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは未利用地、公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.5	0.2
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の一部が未利用地であり開催中に競技会場として有効活用される。			大規模体育館としての有効利用が継続される。			+1			+1	1.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに存在する福祉施設は老朽化等により大会開催によらず統廃合を検討している。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			新木場駅への観戦客の集中によるアクセス性低下			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			-1			0	-0.5	-0.5	-0.3
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(23～24_夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.5
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土壌汚染の可能性が想定されるが、工事の際に汚染が確認された場合はミティゲーションの実施により土壌汚染物質が除去される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	仮設撤去において土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	+1		－	－	－	－	1.0	1.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.4
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.5%の緑被率は54.7%となり現況とほぼかわらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.5%の緑被率は61.5%となり、緑被率が6.0ポイント増加する。	－		0		－	+1	0.5	1.3	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が36.2%となり、段階3を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が41.7%となり、段階3を達成。	－		+2		－	+2	2.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	屋内でのイベント開催であり、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

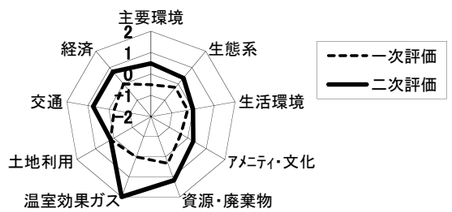
会場別予測評価結果表(23～24_夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			屋上緑化及び建物周囲の緑化の維持を想定するが、緑視率の減少は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			屋上緑化及び建物周囲の緑化の維持を想定するが、緑視率の減少は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.3
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.2	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2	0.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		影響を受ける樹木については、会場エリア内に移植を行う。また、アリーナの建物周囲の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積が増大する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	移植した樹木の維持及び建物周囲の樹木を開催後も維持することにより、緑陰面積が増大する。	－		+1		－	+1	1.0	1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.5%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.5%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(23～24_夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは未利用地、公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.5	0.2
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の一部が未利用地であり開催中に競技会場として有効活用される。			大規模体育館としての有効利用が継続される。			+1			+1	1.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに存在する福祉施設は老朽化等により大会開催によらず統廃合を検討している。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1	1.0	1.0	0.8
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.5	0.5
生態系	−0.2	0.4
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	−0.4	0.3
資源・廃棄物	0.3	1.2
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.2	0.2
交通	−0.3	0.8
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(25_夢の島公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.3
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、建設予定地の土壌汚染の可能性が想定される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	-1		－	－	0	－	-0.5	-0.5	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	-0.3
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.5%の緑被率が31.1%となり、24.4ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.5%の緑被率が31.1%となり、24.4ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	-2.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変を受けるが緑化率は21.7%となり、段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変を受けるが緑化率は21.7%となり、段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	既存の公園内の施設であり周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(25_夢の島公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設のアーチェリーフィールド、広場の整備により、現況で視認できる緑のほとんどが改変され、緑視率は約32.0ポイント減少する。			仮設の施設及び広場は撤去されるが、現況で視認できる緑のほとんどが改変され、緑視率は約32.0ポイント減少する。			-2			-2	-2.0	-1.0	-1.2
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。	－		-2		－	-2	-2.0	-1.7	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	-1.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまった樹木が影響を受けるため、緑陰面積が減少し、歩行者が感じる快適性が低下する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	会場エリア内及びアクセスルート上のまとまった樹木が改変された状態が継続しているため、緑陰面積が減少し、歩行者が感じる快適性は低下した状態が続く。	－		-2		－	-2	-2.0	-2.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(25_夢の島公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			新木場駅への観戦客の集中によるアクセス性低下			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			-1			0	-0.5	-0.5	-0.3
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(25_夢の島公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土壌汚染の可能性が想定されるが、工事の際に汚染が確認された場合はミティゲーションの実施により土壌汚染物質が除去される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	+1		－	－	0	－	0.5	0.5	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.4
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0	0.0	-0.1	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.5%の緑被率は54.7%となり現況とほぼかわらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.5%の緑被率は61.5%となり、緑被率が6.0ポイント増加する。	－		0		－	+1	0.5	1.3	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が36.2%となり、段階3を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が41.7%となり、段階3を達成。	－		+2		－	+2	2.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	既存の公園内の施設であり周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

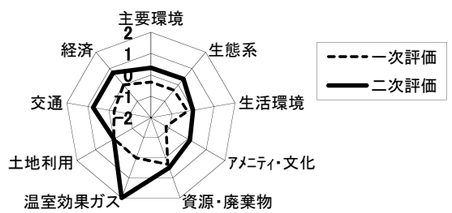
会場別予測評価結果表(25_夢の島公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設の設置により影響を受ける樹木は、施設建設に伴い造成される広場への移植を行う。現況と同等の緑視率となると想定する。			仮設撤去後に樹木の原状復帰を行い、恒久施設の影響により広場へ移植された樹木は維持することを想定する。開催後は植栽に加えて芝生も現状復帰することを想定し、評価地点の緑視率は、5.0ポイント以上増加すると想定する。			0			+1	0.5	0.3	0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0	0.0	0.2	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2	0.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		恒設による影響を受ける樹木は移植を行い、仮設により影響を受ける樹木は会場エリア内に移植を行うため、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去後の原状復帰、移植した樹木を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(25_夢の島公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1	1.0	1.0	0.8
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.3
生態系	−0.3	0.4
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−1.2	0.1
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	−0.3	0.8
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(26_夢の島競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.8
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況56.6%の緑被率が5.9%となり、50.7ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況56.6%の緑被率が5.9%となり、50.7ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	-2.0	-2.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(26_夢の島競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価													
					段階別影響						評価点							
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			恒久の歩行者デッキの設置により、現況で広場となっている部分の植栽が改変され、緑視率は約7.8ポイント減少する。			恒久の歩行者デッキにより、植栽が改変された状態が続く。緑視率は、開催中と同じく約7.8ポイント減少する。			-1			-1	-1.0	-0.5	-0.8
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。	－		-2		－	-2	-2.0	-1.7	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	-1.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		一部の街路樹が改変されるが、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	会場エリア内の緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(26_夢の島競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			新木場駅への観戦客の集中によるアクセス性低下			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			*-1*			0	-0.5	-0.5	-0.3
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(26_夢の島競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－	0.3	0.3	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	-0.1	-0.4
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	*-1*		0	0	*-1*	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況56.6%の緑被率が17.3%となり、緑被率が39.3ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		*-2*		－	0	-1.0	-1.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

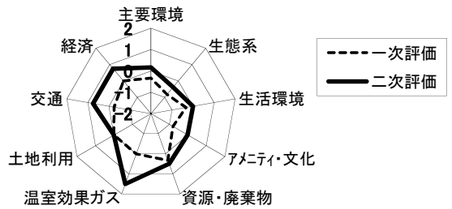
会場別予測評価結果表(26_夢の島競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			影響を受ける樹木については会場エリア内移植を行う。現況と同等の緑視率となると想定する。			会場エリア内に移植した樹木を維持する。移植は、現況と同等の緑視率となると想定する。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が部分的に改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		-1		－	0	-0.5	-0.1	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2	0.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		影響を受ける樹木については、会場エリア内に移植を行うことにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設撤去後に原状復帰、移植を行った樹木を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者の感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、18.9%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、18.9%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(26_夢の島競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1	1.0	1.0	0.8
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.2
生態系	−0.8	−0.4
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.8	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	−0.3	0.8
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(27～28_ｱｸｱﾃｨｸｽｾﾝﾀｰ、ｳｫｰﾀｰﾎﾟﾛｱﾘｰﾅ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	比較的規模の大きい撤去工事を行うが、履歴調査の結果から、土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	-0.3
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況76.5%の緑被率が51.4%となり、25.1ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況76.5%の緑被率が51.4%となり、25.1ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	-2.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率23.7%であり、段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率23.7%であり、段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	開催後の後利用は開催中と同様に屋内でのイベント開催であることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.8
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。			-1	－		-1	-1.0	-1.0	

会場別予測評価結果表(27～28_ｱｸｱﾃｨｸｽｾﾝﾀｰ、ｳｫｰﾀｰﾎﾟﾛｱﾘｰﾅ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			恒久施設の整備により樹木が影響を受け、緑視率は約15.0ポイント減少する。			仮設撤去後も、樹木が改変された状態が続くため、緑視率の減少は開催中と同様に約15.0ポイントとなる。			-1			-1	-1.0	-0.5	-0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変されたままとなる。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地となっている部分が改変されるため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	恒設の存在により、樹木が改変された状態が続くため、緑陰面積が減少する。アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(27～28_ｱｸｱﾃｨｸｽｾﾝﾀｰ、ｳｫｰﾀｰﾎﾟﾛｱﾘｰﾅ)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(27～28_ｱｸｱﾃｨｸｽｾﾝﾀｰ、ｳｫｰﾀｰﾎﾟﾛｱﾘｰﾅ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-1		－	+1	-1	+1	0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	履歴調査の結果から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	-0.2
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		一次評価の結果、緑被率が25.1ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況76.5%の緑被率が61.3%となり、緑被率が15.2ポイント減少する。	－		-2		－	-1	-1.5	-0.3	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が23.7%となり、段階2を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が27.7%となり、段階2を達成。	－		+1		－	+1	1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	屋内でのイベント開催であり、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。			0	－		0	0.0	0.0	

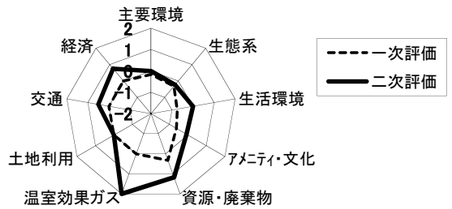
会場別予測評価結果表(27～28_ｱｸｱﾃｨｸｽｾﾝﾀｰ、ｳｫｰﾀｰﾎﾟﾛｱﾘｰﾅ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			影響を受ける樹木は会場エリア内移植を行い、会場周辺の緑化を図るため、現況と同等の緑視率となると想定する。			仮設撤去後、樹木を原状復帰し、恒久施設の周囲の緑化や壁面緑化を図ることにより、現況と同等の緑視率となることを想定する。			0			0	0.0	0.0	−0.1
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	−		+1		−	+1	1.0	0.7	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	−1	0	+2	0.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により影響を受ける樹木については会場エリア内に移植を行うが、恒設により影響を受ける樹木は会場エリア外へ移植を行うため、会場エリア内の緑陰面積は減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	恒設の建設により影響を受ける樹木については、会場外への移植を行うため、会場エリア内では現況よりも緑陰面積が減少した状態が続く。	−		−1		−	−1	−1.0	−1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	−		0		−	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	−		+2	−	−	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		−	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		−	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		−	−	+1	−	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、33.3%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		−	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、33.3%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		−	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(27～28_ｱｸｱﾃｨｸｽｾﾝﾀｰ、ｳｫｰﾀｰﾎﾟﾛｱﾘｰﾅ)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1	1.0	1.0	0.5
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.0
生態系	−0.3	−0.2
生活環境	−0.8	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.6	−0.1
資源・廃棄物	0.3	1.2
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.5
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(29_武蔵野の森総合スポーツ施設)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	－	0	-0.3	-0.3	-0.1
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.1
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域(グランド)の一部に仮設が設置されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況36.3%の緑被率が33.3%となり、3.0ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況36.3%の緑被率が33.3%となり、3.0ポイント減少する。	－		0		－	0	0.0	0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率20.8%であり、段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率20.8%であり、段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	開催後の後利用は開催中と同様に屋内でのイベント開催であることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	－	0	-0.3	-0.3	-0.7
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。			-1	－		-1	-1.0	-1.0	

会場別予測評価結果表(29_武蔵野の森総合スポーツ施設)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			恒久施設の設置により緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約1.5ポイントであり、現況と変わらない。			恒久施設の設置により緑視が阻害された状態が続くため、緑視率の減少は一次評価と同様に約1.5ポイントであり、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	-		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	－	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	－	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	－	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(29_武蔵野の森総合スポーツ施設)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	1.0	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			国内及び国際スポーツ大会の開催施設として有効利用が継続される。			+2			+2	2.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(29_武蔵野の森総合スポーツ施設)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	－	+1	0.7	0.7	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.2
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域(グランド)の一部に仮設が設置されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.1
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ほぼ現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		段階2の水準を達成している。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	一次評価の結果同様、段階2の水準を達成している。	－		+1		－	+1	1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	屋内でのイベント開催であり、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。			0	－		0	0.0	0.0	

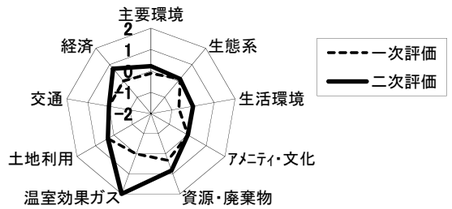
会場別予測評価結果表(29_武蔵野の森総合スポーツ施設)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価													
					段階別影響						評価点							
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			施設の整備に伴い、会場エリア内を緑化し、現況と同等の緑視率となると想定する。			恒久施設の設置に伴い整備した樹木を開催後も維持する。樹木は、現況と同等の緑視率となるように配置されていることを想定し、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	-		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	－	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	－	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	－	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	－	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	－	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(29_武蔵野の森総合スポーツ施設)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	1.0	0.3
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			国内及び国際スポーツ大会の開催施設として有効利用が継続される。			+2			+2	2.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.1	0.2
生態系	0.1	0.1
生活環境	−0.7	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.8
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.3	0.3
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(30_東京スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域(グランド)の一部に仮設が設置されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(30_東京スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.7
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(30_東京スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(30_東京スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	影響要因は想定されないため対象外。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－	0.3	0.3	0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域(グランド)の一部に仮設が設置されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

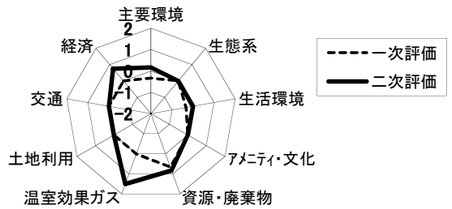
会場別予測評価結果表(30_東京スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(30_東京スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.2
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.7	0.8
温室効果ガス	0.0	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(31_武蔵野の森公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況69.3%の緑被率が68.3%となり、0.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況69.3%の緑被率が68.3%となり、0.7ポイント減少する。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.7
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。									-	-	

会場別予測評価結果表(31_武蔵野の森公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置により、緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約0.2ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	-		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	-0.7	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	*-2*		*-1*	*-1*	*-2*	*-1*	-1.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変域に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(31_武蔵野の森公園)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0			0.0		

会場別予測評価結果表(31_武蔵野の森公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0		0.3	0.3	0.1
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ほぼ現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。									－	－	

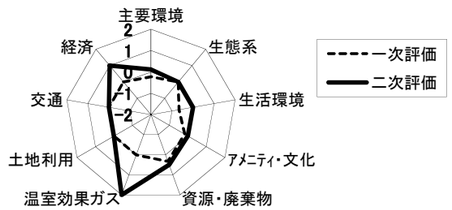
会場別予測評価結果表(31_武蔵野の森公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			樹木の移植を行うが、緑視率の減少は約0.2ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、改変地の原状復帰を行う。緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	-		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が現況レベルまで改善する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変域に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(31_武蔵野の森公園)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.1
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.7	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.2	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(32_陸上自衛隊朝霞訓練場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.2
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(32_陸上自衛隊朝霞訓練場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の射撃場が設置されるが、視認できる緑はすべて施設手前であり、緑視率は現況と変わらない。			開催後は評価しない。			0			－	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	-		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	陸上自衛隊の専用施設であり、公共的な利用が想定されないことから、後利用における予測評価の対象外とする。	－		0		－	－	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変域に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	陸上自衛隊朝霞訓練場は、陸上自衛隊の専用施設であることから、後利用時の評価の対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(32_陸上自衛隊朝霞訓練場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の地域住民の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催後の公共的利用は想定されないため、評価の対象外とする。			0	0		－	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時の公共利用が想定されない。			0			－	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0			0.0		

会場別予測評価結果表(32_陸上自衛隊朝霞訓練場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0		0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0		0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0		0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－			0.0	0.0	

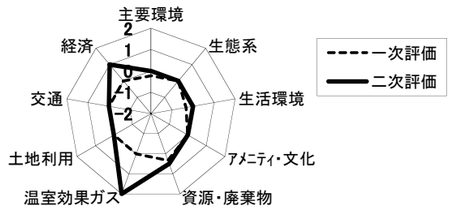
会場別予測評価結果表(32_陸上自衛隊朝霞訓練場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価													
					段階別影響						評価点							
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の射撃場が設置されるが、視認できる緑はすべて施設手前であり、緑視率は現況と変わらない。			開催後は評価しない。			0			－	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	-		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	陸上自衛隊の西洋施設であり、公共的な利用が想定されないことから、後利用における予測評価の対象外とする。	－		0		－	－	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変域に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	陸上自衛隊朝霞訓練場は、陸上自衛隊の専用施設であることから、後利用時の評価の対象外とする。	－		0	－	－	－	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(32_陸上自衛隊朝霞訓練場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の地域住民の後利用が想定されない。			0	0		－	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催後の公共的利用は想定されないため、評価の対象外とする。			0	0		－	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時の公共利用が想定されない。			0			－	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1			1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.0
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	1.0



会場別予測評価結果表(33_霞ヶ関カンツリー倶楽部)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況95.8%の緑被率が94.8%となり、1.0ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況95.8%の緑被率が94.8%となり、1.0ポイント減少する。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.7
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。						－	-	-	

会場別予測評価結果表(33_霞ヶ関カンツリー倶楽部)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の施設が設置されるが、評価地点の緑視率には影響しない。緑視率は現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	-		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況で自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(33_霞ヶ関カンツリー倶楽部)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアはゴルフ場内の整理された区画であり、自然地や農地等は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	-0.3
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	最寄駅からの徒歩ルートにおいて一部の区間で歩車道線の未分離がある。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	最寄駅からの徒歩ルートにおいて一部の区間で歩車道線の未分離がある。	0		－	-1	0	-1	-0.5	-0.5	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(33_霞ヶ関カンツリー倶楽部)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ほぼ現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。						－	－	－	

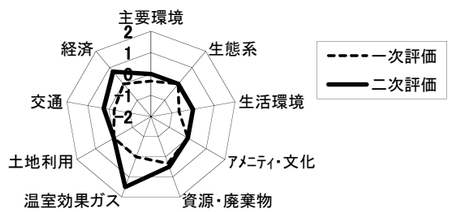
会場別予測評価結果表(33_霞ヶ関カンツリー倶楽部)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価													
					段階別影響						評価点							
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後			
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の設置は可能な限り街路樹をさけて設置するが、緑視率には影響しないため、現況と変わらない。			仮設撤去後、改変地の原状復帰を行う。緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	-		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、16.7%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、16.7%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(33_霞ヶ関カンツリー倶楽部)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアはゴルフ場内の整理された区画であり、自然地や農地等は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.3
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	最寄駅からの徒歩ルートにおいて歩車動線の分離等の安全対策が取られる。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	最寄駅からの徒歩ルートにおいて歩車動線の分離等の安全対策が開催後も維持される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.0
生態系	0.0	0.0
生活環境	−0.7	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.0	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	−0.3	0.3
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(34_札幌ドーム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	－
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(34_札幌ドーム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	

会場別予測評価結果表(34_札幌ドーム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(34_札幌ドーム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	－
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

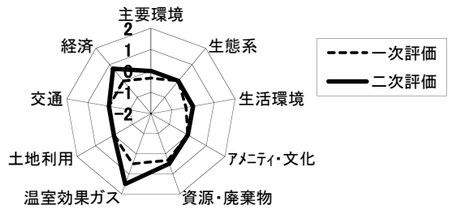
会場別予測評価結果表(34_札幌ドーム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(34_札幌ドーム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.0
生態系	−	−
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.5	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(35_宮城スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	-
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(35_宮城スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－	－	－
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	-1.0	-0.5
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	

会場別予測評価結果表(35_宮城スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(35_宮城スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	－
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

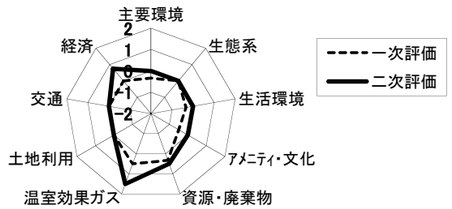
会場別予測評価結果表(35_宮城スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(35_宮城スタジアム)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.0
生態系	−	−
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.5	0.0
資源・廃棄物	0.3	0.5
温室効果ガス	0.5	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(36_埼玉スタジアム2002)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	-
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(36_埼玉スタジアム2002)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価													
					段階別影響						評価点							
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	-1.0	-0.5
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.7
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.5%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.5%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	

会場別予測評価結果表(36_埼玉スタジアム2002)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(36_埼玉スタジアム2002)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	－
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

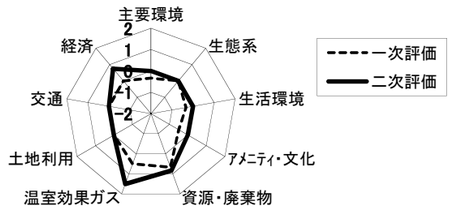
会場別予測評価結果表(36_埼玉スタジアム2002)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	1.0	1.0	0.8
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.7%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.7%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(36_埼玉スタジアム2002)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.0
生態系	−	−
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.5	0.0
資源・廃棄物	0.7	0.8
温室効果ガス	0.5	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(37_横浜国際総合競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	-
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	-		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	-0.7	-0.7	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(37_横浜国際総合競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－	－	－
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	-1.0	-0.5
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	-1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第二種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	第二種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第二種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	第二種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	

会場別予測評価結果表(37_横浜国際総合競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(37_横浜国際総合競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	－
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	－		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－	0.0	0.0	

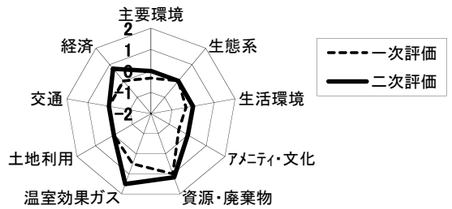
会場別予測評価結果表(37_横浜国際総合競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－	－	－	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－	－		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	－	－	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	1.5
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1	1.5	1.5	

会場別予測評価結果表(37_横浜国際総合競技場)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1		1.0	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0	0.5		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.0
生態系	−	−
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.5	0.0
資源・廃棄物	1.0	1.2
温室効果ガス	0.5	1.5
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(OV_選手村)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%以上となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	住宅等として利用され、各施設等の利用に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-2		－	0	-1	0	-0.8	-0.8	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	-0.3
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	-1.0	-0.5	-0.5
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況7.6%の緑被率が0.0%となり、7.6ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況7.6%の緑被率が0.0%となり、7.6ポイント減少する。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は0%となる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は0%となる。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用等に伴う騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	住宅として利用されることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすような騒音の発生はない。	-1		－	0	-1	0	-0.5	-0.5	-0.3
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			日影は概ね会場エリア内に留まることから周辺への影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(OV_選手村)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			視認できる緑はすべて施設手前であり、緑視率は現況と変わらない。			視認できる緑はすべて施設手前であり、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	-0.7
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。	－		-2		－	-2	-2.0	-1.7	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	-1.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		晴海ふ頭公園内の樹木が改変されるため、会場エリア内で緑陰面積が減少する。アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	晴海ふ頭公園内の樹木が改変されるため、会場エリア内で緑陰面積が減少する。アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		-1		－	-1	-1.0	-1.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(OV_選手村)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは未利用地や屋外利用地、公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.5	0.1
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の一部が未利用地であり開催中に選手村として有効活用される。			都民の居住コミュニティとして有効利用が継続される。			+1			+1	1.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	セキュリティ対策として施設周辺の交通規制を強化するため移動動線の分断が生じる。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	-1		0	-0.3	-0.2	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等が存在するが大会開催に伴う強制退去等は生じない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(OV_選手村)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%以上となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-2		－	+1	0	+1	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。	－		-1		－	0	-0.5		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	-0.3	0.6
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	-0.4		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況7.6%の緑被率が65.6%となり、緑被率が58.0ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況7.6%の緑被率が65.6%となり、緑被率が58.0ポイント増加する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が60.8%となり、段階3を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が60.8%となり、段階3を達成。	－		+2		－	+2	2.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用等による騒音が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	住宅として利用され、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

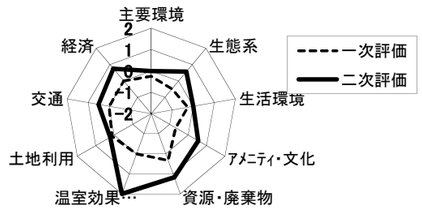
会場別予測評価結果表(OV_選手村)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			会場エリア内への植樹、屋上緑化・壁面緑化を行うが、評価地点からの緑視率は、＋５ポイント未満であると想定し、現況と変わらない。			開催後も壁面緑化を維持するが、評価地点からの緑視率は開催中と同様に±5.0ポイント未満であることを想定し、現況と変わらない。			0			0	0.0	0.5	0.6
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			会場周辺の電線の地中化（無電柱化）を実施する。			会場周辺の電線の地中化（無電柱化）を実施する。			+1			+1	1.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		-2		－	0	-1.0	-0.3	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2	0.4		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		会場エリア内の緑化の充実を図る。また、アクセスルートの街路樹の整備・充実を図ることにより、緑陰面積が増大し、歩行者が感じる快適性が向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、42.4%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、42.4%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(OV_選手村)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは未利用地や屋外利用地、公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.5	0.2
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			会場の一部が未利用地であり開催中に選手村として有効活用される。			都民の居住コミュニティとして有効利用が継続される。			+1			+1	1.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	代替ルート等により移動動線が確保される。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.2	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		交通規制の解除、既存鉄軌道駅の改良によりネットワーク化の向上が図られる。			0	0		+1	0.3		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等が存在するが大会開催に伴う強制退去等は生じない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			既存駅の改良等によるアクセス性の向上。			既存駅の改良等によるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1	1.0	1.0	0.5
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.3	0.0
生態系	−0.5	0.6
生活環境	−0.3	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	−0.7	0.6
資源・廃棄物	0.3	1.2
温室効果ガス	0.0	2.0
土地利用	0.1	0.2
交通	0.0	0.5
経済	0.0	0.8



会場別予測評価結果表(IBC・MPC_東京ビッグサイト(IBC・MPC))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	影響要因は想定されないため対象外。	展示会場等として利用され、各施設等の利用に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	－	0	-0.3	-0.3	-0.1
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.2
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況4.0%の緑被率が3.3%となり、0.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況4.0%の緑被率が3.3%となり、0.7ポイント減少する。	－		0		－	0	0.0	-0.5	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は2.6%となり、緑化基準を満たさない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は2.6%となり、緑化基準を満たさない。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用等に伴う騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	開催後は展示会場等として利用されることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	－	0	-0.3	-0.3	-0.2
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0	0.0	0.0	

会場別予測評価結果表(IBC・MPC_東京ビッグサイト(IBC・MPC))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価													
					段階別影響						評価点							
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後			
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			仮設の歩行者デッキの設置により緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約0.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設の歩行者デッキが撤去されるが、樹木が改変された状態が続くため、現況から約0.2ポイントの減少となる。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		施設の整備により、改変される樹木はないことから、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の整備により改変される樹木はないことから、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに変化はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	－	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	－	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、14.2%程度の削減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、14.2%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	－	+1	0.7	0.7	0.7
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、14.2%程度の低減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、14.2%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	－	+1	0.7	0.7	

会場別予測評価結果表(IBC・MPC_東京ビッグサイト(IBC・MPC))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは主に屋外利用地であり自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0	0.0		

会場別予測評価結果表(IBC・MPC_東京ビッグサイト(IBC・MPC))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気	汚染物質（NO2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-1		－	+1	－	+1	0.3	0.3	
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD､SS等）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	0.1
環境項目	主要環境	土壌	土壌汚染物質の拡散の可能性	土地履歴調査等による土壌汚染物質の存在可能性	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	0.0	0.0	
環境項目	生態系	生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤の状況	①重要な生物・生態系の賦存地の改変の有無 ②生物の生育・生息基盤の創出の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	生態系	水循環	雨水の地下浸透能力（地表面被覆率）	現状の地表面被覆率	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	-	-	
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0		
環境項目	生態系	生物・生態系	重要な生物・生態系	重要な生物・生態系の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生態系	生物・生態系	生物相の豊かさ（鳥類相で代表）	現況の生息種数（現状生息する種のうち、生息が困難となる可能性のある種の有無、種数）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	-		
環境項目	生態系	緑	緑被面積（屋上含む）	現況の緑被率の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況4.0%の緑被率が9.3%となり、緑被率が5.3ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況4.0%の緑被率が9.3%となり、5.3ポイント増加する。	－		+1		－	+1	1.0	0.0	
環境項目	生態系	緑	緑化の状況	東京都の自然保護条例、建築物環境計画書制度における緑化の評価基準	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率は8.5%であり、緑化基準を満たさなかった。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率は8.6%であり、緑化基準を満たさなかった。	－		-1		－	-1	-1.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用等による騒音が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	展示会場等として利用され、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	生活環境	日影	日照の阻害の有無（阻害を受ける住戸等の有無）	現状の日照阻害の状況			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0	0.0	0.0	

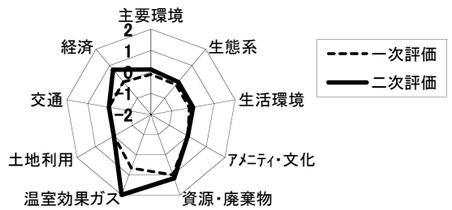
会場別予測評価結果表(IBC・MPC_東京ビッグサイト(IBC・MPC))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	緑視率	現況の緑視率			MPCの屋上を緑化するが、評価地点の緑視率の減少は約0.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、樹木の原状復帰を行うため、緑視率は現況と変わらない。			0			0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	景観	優れた眺望又は景観の阻害	①周辺の視点場から眺望できる優れた眺望景観の阻害の有無 ②景観形成特別地区の景観を阻害しないこと			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の変化	自然との触れ合い活動の場の消失又は改善・創出	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の変化	自然との触れ合い活動の阻害又は促進（場へのアクセス性含む）の有無	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	0.0		
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	街路樹等緑陰の状況（緑陰面積）	現況の街路樹及び接道緑化、壁面緑化の状況	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	史跡・文化財	史跡・文化財の保護・保全の状況	文化財等の保存及び管理の支障の有無	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	－	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	－	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	－	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、22.5%程度の削減が図られる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、22.5%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	－	+2	2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準（東京都温暖化対策計画書制度/東京都建築物環境計画書制度による評価水準） ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況/可能性	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、22.5%程度の低減が図られる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、22.5%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	－	+2	2.0	2.0	

会場別予測評価結果表(IBC・MPC_東京ビッグサイト(IBC・MPC))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の転用	土地利用の改変、転用の有無			改変エリアは主に屋外利用地であり自然地や農地は存在しない。						0				0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	土地利用	土地利用	土地の有効利用	未利用地の解消の有無			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の移動動線の分断をしないこと			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0	0.0	0.0	
社会・経済項目	土地利用	地域分断	生活移動動線の分断又は進展	歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0	0.0		
社会・経済項目	土地利用	移転	民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと			改変エリアに民家等は存在しない。						0				0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	公共交通へのアクセシビリティ	アクセス性	現在の会場までのアクセス性			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0	0.0	0.0	0.0
社会・経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性の向上）の状況	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	0.0	0.0	
社会・経済項目	経済	事業採算性	施設整備費	施設整備費を適正に保つための措置	再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1		0.5	0.8	0.8
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1	1.0		

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.1	0.1
生態系	−0.2	0.0
生活環境	−0.2	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ･文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	1.0	1.2
温室効果ガス	0.7	2.0
土地利用	0.0	0.0
交通	0.0	0.0
経済	0.0	0.8



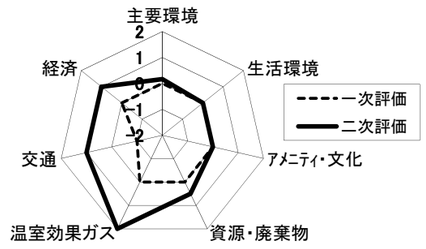
競技別予測評価結果表(1_陸上競技（マラソン））

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技関係の車両の走行に伴う大気汚染物質による大気環境への影響は小さい。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技関係車両の走行、声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				現況でアスリートに影響のない水準である						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴い排出されるCO2排出量は現状の水準にとどまる。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0			0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				一時的な交通規制を行うため、渋滞緩和計画を立てない場合には、都心部の交通流を悪化させる可能性がある。						*-1*			-1.0	-1.0	-1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(1_陸上競技（マラソン））

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技関係の車両の走行に伴う大気環境への影響は小さく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				現況と変わらずアスリートに影響のない水準である						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、23%以上の削減が図られる。						2			2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36%以上の低減が図られる。						2			2.0	2.0	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントが概ね解消される。						1			1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	0.0	0.2
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
交通	−1.0	1.0
経済	0.0	1.0



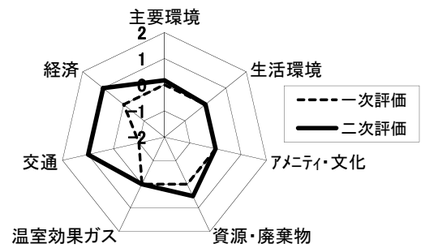
競技別予測評価結果表(2_陸上競技(競歩))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技関係の車両の走行に伴う大気汚染物質による大気環境への影響は小さい。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技関係車両の走行、声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				現況でアスリートに影響のない水準である						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	－
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				一時的な交通規制を行うため、渋滞緩和計画を立てない場合には、都心部の交通流を悪化させる可能性がある。						*-1*			-1.0	-1.0	-1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(2_陸上競技(競歩))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技関係の車両の走行に伴う大気環境への影響は小さく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				現況と変わらずアスリートに影響のない水準である						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30％程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	－
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントが概ね解消される。						1			1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	0.0	0.2
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	－	－
交通	−1.0	1.0
経済	0.0	1.0



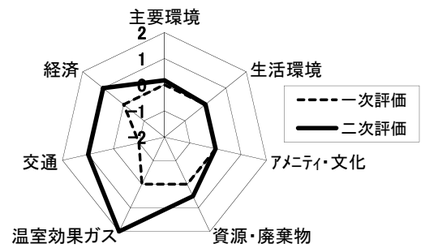
競技別予測評価結果表(3_自転車競技(ロードレース))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技関係の車両の走行に伴う大気汚染物質による大気環境への影響は小さい。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技関係車両の走行、声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				現況でアスリートに影響のない水準である。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴い排出されるCO2排出量は現状の水準にとどまる。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0			0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				一時的な交通規制を行うため、渋滞緩和計画を立てない場合には、都心部の交通流を悪化させる可能性がある。						-1			-1.0	-1.0	-1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(3_自転車競技（ロードレース））

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技関係の車両の走行に伴う大気環境への影響は小さく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				陸域競技であることから対象外とした。						－			－		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				現況と変わらずアスリートに影響のない水準である。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30％程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、23％以上の削減が図られる。						2			2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36％以上の低減が図られる。						2			2.0	2.0	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントが概ね解消される。						1			1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	0.0	0.2
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
交通	−1.0	1.0
経済	0.0	1.0



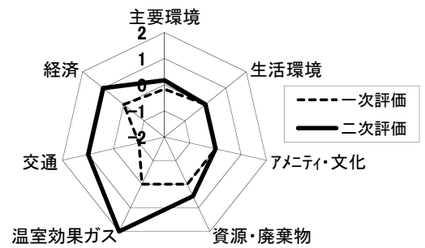
競技別予測評価結果表(4_トライアスロン・パラトライアスロン)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技関係の車両の走行に伴う大気汚染物質による大気環境への影響は小さい。						0			0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	-0.3	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のある水準の水質である。						-1			-1.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質である。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技関係車両の走行、声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				現況でアスリートに影響のない水準である						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴い排出されるCO2排出量は現状の水準にとどまる。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0			0.0	0.0	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				一時的な交通規制を行うため、渋滞緩和計画を立てない場合には、都心部の交通流を悪化させる可能性がある。						-1			-1.0	-1.0	-1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(4_トライアスロン・パラトライアスロン)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技関係の車両の走行に伴う大気環境への影響は小さく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				現況と変わらずアスリートに影響のない水準である						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、23%以上の削減が図られる。						2			2.0	2.0	2.0
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36%以上の低減が図られる。						2			2.0	2.0	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントが概ね解消される。						1			1.0	1.0	1.0
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	-0.2	0.2
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	0.0	0.0
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	0.0	2.0
交通	-1.0	1.0
経済	0.0	1.0



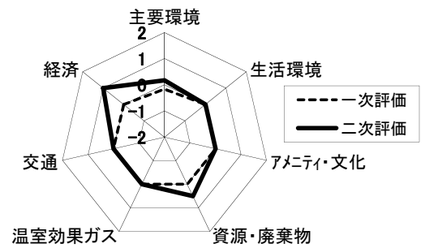
競技別予測評価結果表(5_水泳(マラソン 10km))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0			0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	-0.3	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のある水準の水質である。						-1			-1.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質である。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						—			-	-	-
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			-	-	-
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			-	-	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						—			-	-	-
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(5_水泳(マラソン 10km))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						—			－	－	－
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30％程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			－	－	－
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			－	－	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						—			－	－	－
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.2
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	−	−
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	−	−
交通	−	−
経済	0.0	1.0



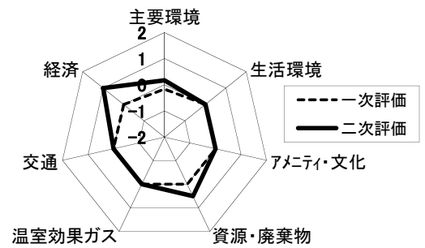
競技別予測評価結果表(6_カヌー（スプリント・パラカヌー））

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0			0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	-0.3	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のある水準の水質である。						-1			-1.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質である。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						—			-	-	-
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			-	-	-
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			-	-	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						—			-	-	-
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(6_カヌー（スプリント・パラカヌー））

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						－			－	－	－
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30％程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	－
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－			－	－	－
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.2
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	−	−
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	−	−
交通	−	−
経済	0.0	1.0



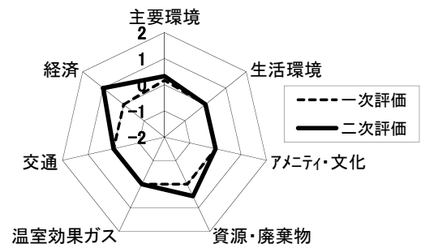
競技別予測評価結果表(7_カヌー(スラローム))

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0			0.0	0.0	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	0.3	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				上水を使用することで競技者にとって良好な水質が維持される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質である。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						—			－	－	－
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			－	－	－
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			－	－	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						—			－	－	－
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(7_カヌー(スラローム))

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.3
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				上水を使用することで競技者にとって良好な水質が維持されることからミティゲーションは想定していない。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						－			－	－	－
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30％程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	－
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－			－	－	－
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	0.2	0.3
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	－	－
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	－	－
交通	－	－
経済	0.0	1.0



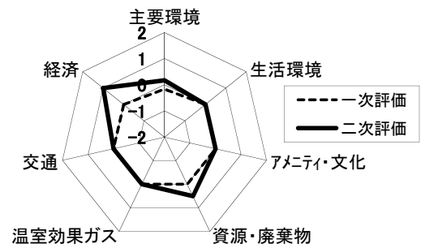
競技別予測評価結果表(8_ボート)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0			0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	-0.3	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のある水準の水質である。						-1			-1.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質である。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						—			-	-	-
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			-	-	-
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			-	-	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						—			-	-	-
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(8_ボート)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						－			－	－	－
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30％程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	－
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－			－	－	－
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.2
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	−	−
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	−	−
交通	−	−
経済	0.0	1.0



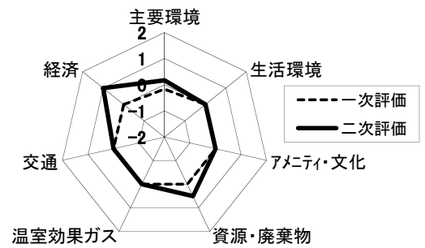
競技別予測評価結果表(9_セーリング)

大項目	中項目	小項目	評価		一次評価														
					段階別影響						評価点								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後				
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0			0.0	0.0	-0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準である。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0			0.0	-0.3	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のある水準の水質である。						-1			-1.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質である。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						—			-	-	-
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0			0.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			-	-	-
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						—			-	-	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						—			-	-	-
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				想定範囲の運営・維持コスト						0			0.0	0.0	0.0

競技別予測評価結果表(9_セーリング)

大項目	中項目	小項目	評価		二次評価															
					段階別影響						評価点									
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後					
			評価の指標	評価の基準	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
環境項目	主要環境	大気質	汚染物質（NO_2、SPM）の排出量	排出の有無、現状より排出増大の可能性				競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.3	0.2
環境項目	主要環境	大気質	NO_2、SPM濃度	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1			1.0		
環境項目	主要環境	大気質	放射性物質	競技等に応じた大気質（環境基準等の適合）				競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	汚濁負荷（COD,T-N,T-P,BOD,SS）の排出量	汚濁負荷物質排出の有無、汚染増大の可能性				し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	
環境項目	主要環境	水質	ふん便性大腸菌群数,油膜の有無,CODの濃度,透明度（水浴場水質判定基準項目）	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0			0.0		
環境項目	主要環境	水質	放射性物質	競技に応じた水質（水浴場水質判定基準の適合等）				競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0		
環境項目	生活環境	騒音	環境・交通騒音レベル	①環境基準及び法令等による基準 ②現況の騒音レベル				競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。						0			0.0	0.0	0.0
環境項目	ｱﾒﾆﾃｨ・文化	歩行者空間の快適性	地面付近の気温	①現況の地面付近の気温 ②アスリートに影響のない水準				水域の競技は対象としない						－			－	－	－
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準				既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0			0.0	0.5	0.5
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準				資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30％程度削減される。						1			1.0		
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	－
環境項目	温室効果ガス	エネルギー	エネルギー使用量の増減	①現在の使用量の水準 ②省エネ再エネ対策・設備の導入状況／可能性				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－			－	－	
社会・経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－			－	－	－
社会・経済項目	経済	事業採算性	運営経費	運営・維持コストの削減のための措置				ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						1			1.0	1.0	1.0

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.2	0.2
生活環境	0.0	0.0
ｱﾒﾆﾃｨ・文化	−	−
資源・廃棄物	0.0	0.5
温室効果ガス	−	−
交通	−	−
経済	0.0	1.0



全体計画予測評価結果（一次評価）

大項目	中項目	小項目	評価		段階別影響						評価点（一次評価）								
			評価の指標	評価の基準	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
					工事中	招致・PR活動中	施設の存在	競技の実施	工事中	後利用	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
環境項目	主要環境質	大気質	NO_2、SPM濃度	①環境基準 ②現況の濃度	各会場における工事の実施により、8km圏内の大気環境への影響がみられる。		各会場の施設の存在による汚染物質の排出が想定されないことから対象外とした。	施設の供用、会場間の人の移動に伴う8km圏内における大気環境への影響はほとんどない。	各会場の仮設撤去工事の実施により、8km圏内の大気環境への影響がみられる。	施設の供用、イベント時の人の移動に伴う8km圏内の大気環境への影響はほとんどない。	*-1*		－	0	*-1*	0	-0.5	-0.5	-0.5
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況と変わらない		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況と変わらない	－		0		－	0	0.0	0.0	-0.5
環境項目	生態系	緑	オリンピック会場の総緑地面積	現況の緑地面積	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況の総面積182.3haより約58.9ha緑地面積が減少 (-32.3%)		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況の総面積182.3haより約58.9ha緑地面積が減少 (-32.3%)	－		*-2*		－	*-2*	-2.0	-1.0	
環境項目	生態系	緑	関連施策を含む対策による8km圏内における緑地の創出	現況の緑地	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況と変わらない		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況と変わらない	－		0		－	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とした。		8km圏内の雑用水利用施設の設置状況は2%程度と低く、節水程度の削減しか見込めない。	競技の実施時における水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とした。	工事の実施に伴う水の利用については、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とした。	8km圏内の雑用水利用施設の設置状況は2%程度と低く、節水程度の削減しか見込めない。	-		0	-	-	0	0.0	0.0	0.3
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とした。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		-	0	0	0	0.0	0.0	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とした。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		-	0	0	0	0.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	現在の再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とした。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とした。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とした。	+1		-	-	+1	-	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるC02排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	一般的な建設工事による排出量と同程度になる。		施設の存在に伴うCO_2排出量は約23万トンとなり、大きな追加的排出が生じる。	大会の実施に伴うCO_2排出量は約51万トンとなり、大きな追加的排出が生じる。	一般的な解体工事による排出量と同程度になる。	同等施設の排出量と同程度になる。	0		*-1*	*-1*	0	0	-0.4	-0.4	-0.4

全体計画予測評価結果（一次評価）

大項目	中項目	小項目	評価		段階別影響						評価点（一次評価）								
			評価の指標	評価の基準	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
					工事中	招致・PR活動中	施設の存在	競技の実施	工事中	後利用	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会･経済項目	社会活動	スポーツ活動	国際レベルのスポーツ施設の充足度	国際水準のスポーツ施設の充足度向上の有無			現況と変わらない			現況と変わらない			0			0	0.0	0.0	0.0
社会･経済項目	社会活動	スポーツ活動	スポーツ活動への貢献	地域スポーツ団体の育成の有無（スポーツ活動参加者の増減）		現況と変わらない		現況と変わらない		現況と変わらない		0		0		0	0.0		
社会･経済項目	社会活動	文化活動	施設密度	文化活動拠点の増減						現況と変わらない						0	0.0	0.0	
社会･経済項目	社会活動	文化活動	文化の発信（国際貢献）	国際交流の活発化への寄与の有無（日本文化との接触機会の増減）		現況の文化発信機会と変動がない		現況の文化発信機会と変動がない		現況の文化発信機会と変動がない		0		0		0	0.0		
社会･経済項目	社会活動	文化活動	情報のバリアフリー化	案内表示等情報提供のバリアフリー化の進展の有無			既にバリアフリー化されており現況と変わらない			既にバリアフリー化されており現況と変わらない			0			0	0.0		
社会･経済項目	参加・協働	ボランティア	ボランティア参加機会	ボランティア参加機会の増減（ボランティア参加機会の提供の有無）		現況と変わらない		現況と変わらない		現況と変わらない		0		0		0	0.0	0.0	0.0
社会･経済項目	参加・協働	コミュニティ	コミュニティ形成への寄与	コミュニティ形成・活性化への寄与の有無（コミュニティでの取組支援策の有無等）		現況と変わらない		現況と変わらない		現況と変わらない		0		0		0	0.0	0.0	
社会･経済項目	参加・協働	コミュニティ	企業のコミュニティ参加	企業のコミュニティ活動への参加、貢献支援策の有無		現況と変わらない		現況と変わらない		現況と変わらない		0		0		0	0.0		
社会･経済項目	参加・協働	環境への意識	環境への関心・意識の変化（意識啓発の機会の増減）	環境に関する意識啓発の機会の増減		現況と変わらない		現況と変わらない		現況と変わらない		0		0		0	0.0	0.0	

全体計画予測評価結果（一次評価）

大項目	中項目	小項目	評価		段階別影響						評価点（一次評価）								
			評価の指標	評価の基準	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
					工事中	招致・PR活動中	施設の存在	競技の実施	工事中	後利用	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会･経済項目	安全・衛生・安心	安全	危険施設の影響	オリンピック競技、施設の危険物からの安全性			法令の遵守により安全に支障が無いよう対策が取られていることから、危険施設によるリスクは低い。	法令の遵守により安全に支障が無いよう対策が取られていることから、危険施設によるリスクは低い。					+1	+1			1.0	0.3	0.1
社会･経済項目	安全・衛生・安心	安全	バリアフリー（移動の安全）	公共空間での障害者の安全な移動動線の有無			既に安全な移動動線が確保されており、現況と変わらない。			既に安全な移動動線が確保されており、現況と変わらない。			0			0	0.0		
社会･経済項目	安全・衛生・安心	安全	電力の安定供給	停電の発生の有無			大会関係施設への電力網インフラは適正に整備され、必要電力の供給は確保されることから、停電の発生の可能性は少ない。			大会関係施設への電力網インフラは適正に整備され、必要電力の供給は確保されることから、停電の発生の可能性は少ない。			0			0	0.0		
社会･経済項目	安全・衛生・安心	衛生	飲料水水質等	①法令等による基準 ②現況の水質等			現況と変わらない			現況と変わらない				0		0	0.0	0.0	
社会･経済項目	安全・衛生・安心	消防・防災	耐震性	耐震性の向上			耐震基準に関連する法的基準に適合しているため耐震性に問題はない。			耐震基準に関連する法的基準に適合しているため耐震性に問題はない。			0			0	0.0	0.0	
社会･経済項目	安全・衛生・安心	消防・防災	津波対策	津波対策の向上			東京湾沿岸の水害対策は着実に推進され、津波対策に問題はない。			東京湾沿岸の水害対策は着実に推進され、津波対策に問題はない。			0			0	0.0		
社会･経済項目	安全・衛生・安心	消防・防災	防火性	防火性の向上			法律の基準に適合しているため防火性に問題はない。			法律の基準に適合しているため防火性に問題はない。			0			0	0.0		
社会･経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況	工事の実施によって交通流が円滑化することは見込めない。			競技における一時的な交通規制による都心部の交通流悪化の可能性、競技会場周辺へのアクセス集中によって、一時的に競技会場周辺の交通渋滞が発生する可能性がある。	工事の実施によって交通流が円滑化することは見込めない。	既存の会場については、現況と変わらない。新設の会場は、分散しており利用目的も異なるため、後利用により近隣の渋滞を悪化させることはない。	0			*-1*	0	0	-0.3	-0.3	-0.1
社会･経済項目	交通	公共交通へのアクセス性	アクセス性	現在の競技会場までのアクセス性			東京は既に十分な輸送力を有し、開催中においても競技会場までのアクセス性は低下しない。						0				0.0	0.0	
社会･経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性）の状況	工事による歩車道分離対策は十分にとられており、未分離区間が生じることは想定されない。		「競技の実施による影響」で扱うものとし、ここでは対象外	すでに歩車動線が分離されており、現況と変わらない	工事による歩車道分離対策は十分にとられており、未分離区間が生じることは想定されない。	すでに歩車動線が分離されており、現況と変わらない	0		—	0	0	0	0.0	0.0	

全体計画予測評価結果（一次評価）

大項目	中項目	小項目	評価		段階別影響						評価点（一次評価）								
			評価の指標	評価の基準	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
					工事中	招致・PR活動中	施設の存在	競技の実施	工事中	後利用	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会･経済項目	経済	経済波及	経済効果	波及効果の規模	施設整備等の2倍以上の波及効果をもたらし、費用を大きく上回る経済効果が予想される。	運営費用等の2倍以上の波及効果をもたらし、費用を大きく上回る経済効果が予想される。		運営費用等の2倍以上の波及効果をもたらし、費用を大きく上回る経済効果が予想される。	工事費用等の2倍以上の波及効果をもたらし、費用を大きく上回る経済効果が予想される。	運営費用等の2倍以上の波及効果をもたらし、費用を大きく上回る経済効果が予想される。	+1	+1		+1	+1	+1	1.0	1.0	1.0
社会･経済項目	経済	経済波及	新規ビジネスの創出	新規ビジネスの創出の有無	多くのビジネスチャンスが生まれ、いずれの時期においても、多くの新規ビジネスが創出する。	多くのビジネスチャンスが生まれ、いずれの時期においても、多くの新規ビジネスが創出する。		多くのビジネスチャンスが生まれ、いずれの時期においても、多くの新規ビジネスが創出する。	多くのビジネスチャンスが生まれ、いずれの時期においても、多くの新規ビジネスが創出する。	多くのビジネスチャンスが生まれ、いずれの時期においても、多くの新規ビジネスが創出する。	+1	+1		+1	+1	+1	1.0		
社会･経済項目	経済	経済波及	新たな観光需要の創出（機会提供の有無）	現状の観光利用の活性化	工事による観光需要の創出は見込めないことから、工事中は評価の対象外とした。	周辺からの来訪者や海外からの旅行客が増加すると見込まれ、観光需要が創出されると予測する。		周辺からの来訪者や海外からの旅行客が増加すると見込まれ、観光需要が創出されると予測する。	工事による観光需要の創出は見込めないことから、工事中は評価の対象外とした。	周辺からの来訪者や海外からの旅行客が増加すると見込まれ、観光需要が創出されると予測する。	－	+1		+1	－	+1	1.0		
社会･経済項目	経済	雇用	雇用	雇用の消失又は新たな雇用の創出	2020年東京大会の開催によって、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がある。	2020年東京大会の開催によって、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がある。		2020年東京大会の開催によって、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がある。	2020年東京大会の開催によって、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がある。	2020年東京大会の開催によって、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がある。	+1	+1		+1	+1	+1	1.0	1.0	

全体計画予測評価結果（二次評価）

大項目	中項目	小項目	評価		段階別影響						評価点（二次評価）								
			評価の指標	評価の基準	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
					工事中	招致・PR活動中	施設の存在	競技の実施	工事中	後利用	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
環境項目	主要環境質	大気質	NO_2、SPM濃度	①環境基準 ②現況の濃度	ミティゲーションの実施により、8km圏内の大気環境は現況とかわらない程度となる。		各会場の施設の存在による汚染物質の排出が想定されないことから対象外とした。	8km圏内の大気環境への影響は小さく、さらに汚染物質削減のミティゲーションの実施により、大気環境が改善される。	ミティゲーションの実施により、8km圏内の大気環境は現況とかわらない程度となる。	8km圏内の大気環境への影響は小さく、さらに汚染物質削減のミティゲーションの実施により、大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1	0.5	0.5	0.5
環境項目	生態系	生物・生態系	周辺の生物の生育・生息環境の連続性	現況の生物の生育・生息環境の連続性	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		「グリーンロード・ネットワーク」の形成や「生物生息環境のネットワーク」の拡充により、現況よりも広域に亘って生育・生息場所が増大し連続性が向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	「グリーンロード・ネットワーク」の形成や「生物生息環境のネットワーク」の拡充により、現況よりも広域に亘って生育・生息場所が増大し連続性が向上する。	－		+2		－	+2	2.0	2.0	1.9
環境項目	生態系	緑	オリンピック会場の総緑地面積	現況の緑地面積	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況の総面積182.3haより約14.6ha緑地面積が増加 (+8.0%)		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況の総面積182.3haより約42.5ha緑地面積が増加 (+23.3%)	－		+1		－	+2	1.5	1.8	
環境項目	生態系	緑	関連施策を含む対策による8km圏内における緑地の創出	現況の緑地	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		大規模に緑地を創出する		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	大規模に緑地を創出する	－		+2		－	+2	2.0		
環境項目	資源・廃棄物	水利用	上水利用量の削減	現在の上水利用量の水準	工事の実施に伴う水の利用については、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とした。		8km圏内において雨水や再生水（中水含む）の利用施設の設置を促進することにより、水の有効利用が図られ、上水利用量の削減が見込まれる。	競技の実施時における水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とした。	工事の実施に伴う水の利用については、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とした。	8km圏内において雨水や再生水（中水含む）の利用施設の設置を促進することにより、水の有効利用が図られ、上水利用量の削減が見込まれる。	－		+2	－	－	+2	2.0	2.0	1.2
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物発生量の減量化	廃棄物発生量の減量化によって削減される最終処分量の水準	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とした。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0	0.0	0.5	
環境項目	資源・廃棄物	廃棄物	廃棄物の有効利用	廃棄物の有効利用によって削減される最終処分量の水準	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とした。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1	1.0		
環境項目	資源・廃棄物	エコマテリアル	エコマテリアルの使用	現在の再生可能資材・再生資材の活用の水準	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とした。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とした。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とした。	+1		－	－	+1	－	1.0	1.0	
環境項目	温室効果ガス	温室効果ガス	温室効果ガスの削減量	①エネルギー消費量によるCO2排出の概算 ②既存施設における追加的排出の有無	工事計画の詳細化・具体化にあわせて適切・効果的な削減対策について検討することにより、より効果の高い削減が図られる。		様々なミティゲーションを実施することにより、カーボンニュートラルな大会が実現し、開催中のCO_2排出量は大きく削減される。		工事計画の詳細化・具体化にあわせて適切・効果的な削減対策について検討することにより、より効果の高い削減が図られる。	開催中に実施したミティゲーションのレガシー効果により、大きな削減が図られる。	+1		+2		+1	+2	1.5	1.5	1.5

全体計画予測評価結果（二次評価）

大項目	中項目	小項目	評価		段階別影響						評価点（二次評価）								
					開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
			評価の指標	評価の基準	工事中	招致・PR活動中	施設の存在	競技の実施	工事中	後利用	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会･経済項目	社会活動	スポーツ活動	国際レベルのスポーツ施設の充足度	国際水準のスポーツ施設の充足度向上の有無			老朽化施設の改築・改修、スポーツの国際化の進展に対応した環境整備の取組により、国際水準のスポーツ施設の充足度が向上する。			2020年東京大会のレガシー（遺産）を都民の財産として活かすための戦略的な施策展開等により、国際水準のスポーツ施設の充足度が向上する。			+1			+1	1.0	1.0	1.0
社会･経済項目	社会活動	スポーツ活動	スポーツ活動への貢献	地域スポーツ団体の育成の有無（スポーツ活動参加者の増減）		誰もがスポーツに親しむことができる環境を創出するための施策により、地域スポーツクラブ数及びスポーツ活動参加者が増加する。		大舞台で活躍する選手の姿や世界のトップレベルのスポーツ競技を間近に見る機会が増えることは、人々の意識を変化とともに、スポーツを始めるきっかけとなることから、地域スポーツクラブ数及びスポーツ活動参加者が増加する。		誰もがスポーツに親しむことができる環境を創出するための施策が継続されるとともに、人々の意識の変化が期待できることから、地域スポーツクラブ数及びスポーツ活動参加者が増加する。		+1		+1		+1	1.0		
社会･経済項目	社会活動	文化活動	施設密度	文化活動拠点の増減						新設されるオリンピックスタジアムなどの施設をレガシー（遺産）として芸術・文化の側面からも活用することにより、文化活動拠点数は増加する。						+1	1.0	1.0	
社会･経済項目	社会活動	文化活動	文化の発信（国際貢献）	国際交流の活発化への寄与の有無（日本文化との接触機会の増減）		2020年東京大会開催に向けた包括的なプログラムの実施により、日本文化の発信機会が増加する。		東京の魅力を活かした文化プログラムを通じて世界規模の文化交流が促進され、日本文化の発信機会が増加する。		文化プログラムの実施等により開拓・拡大されたネットワークが発展し、国際交流の活発化に寄与する文化の発信機会が増加する。		+1		+1		+1	1.0		
社会･経済項目	社会活動	文化活動	情報のバリアフリー化	案内表示等情報提供のバリアフリー化の進展の有無			ユニバーサルデザインのまちづくりにより、利用者の多い駅や競技会場周辺などの重点整備エリアでは、情報提供のバリアフリー化が進展する。			ユニバーサルデザインのまちづくりにより、重点整備エリア以外でも先端技術を活用し、情報提供のバリアフリー化が進展する。			+1			+1	1.0		
社会･経済項目	参加・協働	ボランティア	ボランティア参加機会	ボランティア参加機会の増減（ボランティア参加機会の提供の有無）		ボランティア活動の基盤となる協働や情報提供の仕組みづくりの取組等により、ボランティア活動の参加機会が増加する。		2020年東京大会の開催により、都民のボランティア活動に対する潜在活力が発揮され、ボランティア活動の参加機会が増加する。		2020年東京大会の開催は、ボランティア活動への参加のきっかけとなり、その後も活動を続ける個人や団体が増加し、ボランティア活動の参加機会が増加する。		+1		+1		+1	1.0	1.0	1.0
社会･経済項目	参加・協働	コミュニティ	コミュニティ形成への寄与	コミュニティ形成・活性化への寄与の有無（コミュニティでの取組支援策の有無等）		コミュニティでの取組支援が展開されることにより、現存する地域活動が活発化され、コミュニティ形成に寄与する。		コミュニティでの取組支援が展開されることにより、多様な世代の社会参加が促進され、コミュニティ形成に寄与する。		2020年東京大会の開催により、これまで地域活動に参加したことがなかった人にもきっかけを提供し、引き続き展開される取組支援策により、コミュニティ形成に寄与する。		+1		+1		+1	1.0	1.0	
社会･経済項目	参加・協働	コミュニティ	企業のコミュニティ参加	企業のコミュニティ活動への参加、貢献支援策の有無		企業のコミュニティ活動への参加、貢献支援策が展開されることにより、企業のコミュニティ参加に寄与する。		企業のコミュニティ活動への参加、貢献支援策が展開されることにより、企業のコミュニティ参加に寄与する。		企業のコミュニティ活動への参加、貢献支援策が引き続き展開されることにより、企業のコミュニティ参加に寄与する。		+1		+1		+1	1.0		
社会･経済項目	参加・協働	環境への意識	環境への関心・意識の変化（意識啓発の機会の増減）	環境に関する意識啓発の機会の増減		行政、都民、企業等の協働事業の実施や、オリンピック招致のためPR活動等により、意識啓発機会が増加する。		2020年東京大会の環境対策と持続可能性戦略の実施や、意識啓発のためのプログラム等の実施により、意識啓発機会が増加する。		2020年東京大会の開催により、地域全体が環境保全に取り組むムーブメントを巻き起こす仕組みが構築され、意識啓発機会が増加する。		+1		+1		+1	1.0	1.0	

全体計画予測評価結果（二次評価）

大項目	中項目	小項目	評価		段階別影響						評価点（二次評価）								
			評価の指標	評価の基準	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
					工事中	招致・PR活動中	施設の存在	競技の実施	工事中	後利用	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会･経済項目	安全・衛生・安心	安全	危険施設の影響	オリンピック競技、施設の危険物からの安全性			法令の遵守とともに「大会組織委員会セキュリティ対策本部」により、安全に支障が無いよう対策が取られている。	法令の遵守とともに「大会組織委員会セキュリティ対策本部」により、安全に支障が無いよう対策が取られている。					+1	+1			1.0	1.0	1.0
社会･経済項目	安全・衛生・安心	安全	バリアフリー（移動の安全）	公共空間での障害者の安全な移動動線の有無			バリアフリー化の施策の進展により、移動動線の安全性が向上する。			バリアフリー化の施策は開催後も引き続き維持され、移動動線の安全性が向上する。			+1			+1	1.0		
社会･経済項目	安全・衛生・安心	安全	電力の安定供給	停電の発生の有無			2020年東京大会で発生する追加需要に対し既存の配電システムでも十分対応可能な状況にあり、停電の発生はない。			電力供給能力に十分余裕があり、停電の発生はない。			+1			+1	1.0		
社会･経済項目	安全・衛生・安心	衛生	飲料水水質等	①法令等による基準 ②現況の水質等			法令等による基準を満たすだけでなく、一層の安全性の向上が図られる。			法令等による基準を満たすだけでなく、一層の安全性の向上が図られる。			+1			+1	1.0	1.0	
社会･経済項目	安全・衛生・安心	消防・防災	耐震性	耐震性の向上			最新の耐震基準に適合していない既存施設は2020年東京大会の開催までに耐震性の向上が図られる。			中心部や重要拠点だけでなく、引き続き建築物やライフラインの耐震化がすすめられ、耐震性の向上が図られる。			+1			+1	1.0	1.0	
社会･経済項目	安全・衛生・安心	消防・防災	津波対策	津波対策の向上			東京湾沿岸の水害への備えが強化され、津波対策の向上が図られる。			東京湾沿岸の水害への備えは、開催後も引き続き強化され、津波対策の向上が図られる。			+1			+1	1.0		
社会･経済項目	安全・衛生・安心	消防・防災	防火性	防火性の向上			８km圏内において木造密集地域における不燃化を加速させる等により、防火性の向上が図られる。			開催後も引き続き８km圏内において木造密集地域における不燃化を加速させる等により、防火性の向上が図られる。			1			+1	1.0		
社会･経済項目	交通	交通渋滞	ボトルネックの解消又は継続	現在の交通渋滞及びボトルネックの状況	三環状道路等の主要部分の整備、工事中の交通規制計画を実施することにより、ボトルネック箇所が現況より解消される。			競技開催時の交通輸送の円滑化対策、三環状道路等の主要部分の整備等により、ボトルネック箇所が現況より解消される。	三環状道路等の主要部分の整備、工事中の交通規制計画を実施することにより、ボトルネック箇所が現況より解消される。	三環状道路等の主要部分の整備等を実施することにより、ボトルネック箇所が現況より解消される。	+1			+1	+1	+1	1.0	1.0	1.0
社会･経済項目	交通	公共交通へのアクセス性	アクセス性	現在の競技会場までのアクセス性			鉄道や路線バスなどの運行本数の増強等により、大会期間中の公共交通機関の輸送力が増強され、アクセス性が向上する。						+1				1.0	1.0	
社会･経済項目	交通	交通安全	交通安全	現在の歩車動線の分離（交通安全性）の状況	迂回路の設定など歩車動線分離対策、8km圏内における道路交通環境の整備を進めることにより、交通安全性が向上する。		「競技の実施による影響」で扱うものとし、ここでは対象外。	８km圏内において歩車道分離をはじめとした道路交通環境の整備が進むなど、交通安全性が向上する。	迂回路の設定など歩車動線を分離対策、8km圏内における道路交通環境の整備を進めることにより、交通安全性が向上する。	８km圏内において歩車道分離をはじめとした道路交通環境の整備が進むなど、交通安全性が向上する。	+1		－	+1	+1	+1	1.0	1.0	

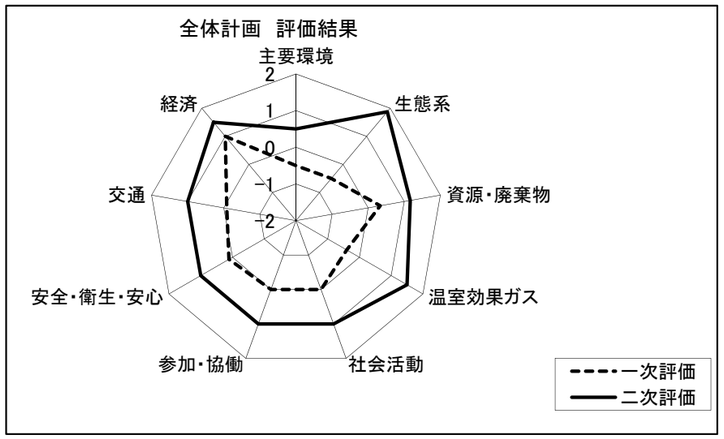
全体計画予測評価結果（二次評価）

大項目	中項目	小項目	評価		段階別影響						評価点（二次評価）								
			評価の指標	評価の基準	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		指標別平均点	小項目平均点	中項目平均点
					工事中	招致・PR活動中	施設の存在	競技の実施	工事中	後利用	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響			
社会･経済項目	経済	経済波及	経済効果	波及効果の規模	新規ビジネスの創出や新たな観光需要の創出がなされることで、ハード面の充実と相俟って、経済効果がより確かなものになる。	新規ビジネスの創出や新たな観光需要の創出がなされることで、ハード面の充実と相俟って、経済効果がより確かなものになる。		新規ビジネスの創出や新たな観光需要の創出がなされることで、ハード面の充実と相俟って、経済効果がより確かなものになる。	新規ビジネスの創出や新たな観光需要の創出がなされることで、ハード面の充実と相俟って、経済効果がより確かなものになる。	新規ビジネスの創出や新たな観光需要の創出がなされることで、ハード面の充実と相俟って、経済効果がより確かなものになる。	+1	+1		+1	+1	+1	1.0	1.0	1.5
社会･経済項目	経済	経済波及	新規ビジネスの創出	新規ビジネスの創出の有無	東京都の進める創造的都市型産業の育成・参入支援施策等により、事業として存続する可能性がより高くなる	東京都の進める創造的都市型産業の育成・参入支援施策等により、事業として存続する可能性がより高くなる		東京都の進める創造的都市型産業の育成・参入支援施策等により、事業として存続する可能性がより高くなる	東京都の進める創造的都市型産業の育成・参入支援施策等により、事業として存続する可能性がより高くなる	東京都の進める創造的都市型産業の育成・参入支援施策等により、事業として存続する可能性がより高くなる	+1	+1		+1	+1	+1	1.0		
社会･経済項目	経済	経済波及	新たな観光需要の創出（機会提供の有無）	現状の観光利用の活性化	工事による観光需要の創出は見込めないことから、工事中は評価の対象外とした。	外国人旅行者1,500万人誘致を実現する観光振興を進めており、新たな観光客の創出がより確かなものになる。		外国人旅行者1,500万人誘致を実現する観光振興を進めており、新たな観光客の創出がより確かなものになる。	工事による観光需要の創出は見込めないことから、工事中は評価の対象外とした。	外国人旅行者1,500万人誘致を実現する観光振興を進めており、新たな観光客の創出がより確かなものになる。	－	+1		+1	－	+1	1.0		
社会･経済項目	経済	雇用	雇用	雇用の消失又は新たな雇用の創出	職業的自立や生活安定に向けた支援施策の展開により、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がより積極的に行われる。	職業的自立や生活安定に向けた支援施策の展開により、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がより積極的に行われる。		職業的自立や生活安定に向けた支援施策の展開により、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がより積極的に行われる。	職業的自立や生活安定に向けた支援施策の展開により、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がより積極的に行われる。	職業的自立や生活安定に向けた支援施策の展開により、雇用の創出及び多様な雇用への配慮がより積極的に行われる。	+2	+2		+2	+2	+2	2.0	2.0	

全体計画予測評価結果（全体計画）

＜全体計画　評価結果＞

項目	一次評価	二次評価
主要環境	−0.50	+0.50
生態系	−0.50	+1.88
資源・廃棄物	+0.33	+1.17
温室効果ガス	−0.40	+1.50
社会活動	0.00	+1.00
参加・協働	0.00	+1.00
安全・衛生・安心	+0.11	+1.00
交通	−0.08	+1.00
経済	+1.00	+1.50



評価指標別予測結果表（汚染物質(NO2、SPM)の排出量）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%以上となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-2		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられる、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%以上となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-2		－	+1	0	+1
2	東京体育館	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－
3	国立代々木競技場	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－
4	日本武道館	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－
5	皇居外苑	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0	
6	東京国際フォーラム	影響要因は想定されないため対象外。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	影響要因は想定されないため対象外。	影響要因は想定されないため対象外。	－		－	0	－	－	影響要因は想定されないため対象外。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	影響要因は想定されないため対象外。	影響要因は想定されないため対象外。	－		－	+1	－	－
7	国技館	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－
8	有明アリーナ	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-1		－	+1	0	+1
9	有明ＢＭＸコース	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0	
10	有明ベロドローム	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		0		－	+1	-1	
11	有明体操競技場	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		-1		－	+1	-1	
12	有明テニスの森	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1
13	お台場海浜公園	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0	
14	潮風公園	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0	
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－

評価指標別予測結果表（汚染物質(NO2、SPM)の排出量）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
17	大井ホッケー競技場	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1
18	海の森クロスカントリーコース	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0	
19	海の森水上競技場	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1
20	海の森マウンテンバイクコース	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0	
21	若洲オリンピックマリーナ	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1
22	葛西臨海公園	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1
25	夢の島公園	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	0	+1
26	夢の島競技場	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-1		－	+1	-1	+1
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	－	0	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	0		－	+1	－	+1
30	東京スタジアム	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	影響要因は想定されないため対象外。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	+1	0	－
31	武蔵野の森公園	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	+1	0	
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		-1		－	0	-1		工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		0		－	0	0	
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－

評価指標別予測結果表（汚染物質(NO2、SPM)の排出量）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
34	札幌ドーム	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－
35	宮城スタジアム	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－
36	埼玉スタジアム2002	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－
37	横浜国際総合競技場	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	影響要因は想定されないため対象外。	-1		－	0	-1	－	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	影響要因は想定されないため対象外。	0		－	0	0	－
0V	選手村	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%以上となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。	住宅等として利用され、各施設等の利用に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-2		－	0	-1	0	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%以上となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	工事による大気環境への影響がみられるが、ミティゲーションの実施により、大気質の濃度をほとんど悪化させない程度となる。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-2		－	+1	0	+1
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	工事の実施による濃度の変化（付加率）が5%未満である。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	影響要因は想定されないため対象外。	展示会場等として利用され、各施設等の利用に伴う汚染物質の排出が周辺の大気環境に与える影響はほとんどない。	-1		－	0	－	0	工事による大気環境への影響がみられ、ミティゲーションの実施により影響の程度が低減されるが、濃度の変化（付加率）が5%未満となる。		影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	影響要因は想定されないため対象外。	施設等の利用、各施設間の人の移動に伴う大気環境への影響はほとんどなく、ミティゲーションの実施により大気環境が改善される。	-1		－	+1	－	+1

評価指標別予測結果表（汚濁負荷(COD、T-N、T-P、BOD、SS等)の排出量）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
2	東京体育館	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
3	国立代々木競技場	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
4	日本武道館	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	新たな恒久施設は、イベント開催会場等としての一般利用は想定されないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	新たな恒久施設は、イベント開催会場等としての一般利用は想定されないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
5	皇居外苑	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
6	東京国際フォーラム	内装工事のみで汚濁負荷物質の排出はほとんどないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	内装工事のみで汚濁負荷物質の排出はほとんどないことから対象外とする。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	－		－	0	－	－	内装工事のみで汚濁負荷物質の排出はほとんどないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	－		－	0	－	－
7	国技館	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
8	有明アリーナ	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
9	有明ＢＭＸコース	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
10	有明ベロドローム	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
11	有明体操競技場	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
12	有明テニスの森	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
13	お台場海浜公園	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
14	潮風公園	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－

評価指標別予測結果表（汚濁負荷(COD、T-N、T-P、BOD、SS等)の排出量）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
17	大井ホッケー競技場	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
18	海の森クロスカントリーコース	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
19	海の森水上競技場	陸域工事に伴う汚濁負荷物質による影響はないものの、海域工事の実施に伴うって発生する濁りによる影響がみられる。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	0	0	海域工事における影響がみられるが、濁りの発生を抑制するためのミティゲーションにより影響が低減される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
20	海の森マウンテンバイクコース	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
21	若洲オリンピックマリーナ	陸域工事に伴う汚濁負荷物質による影響はないものの、海域工事の実施に伴うって発生する濁りによる影響がみられる。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	0	0	海域工事における影響がみられるが、濁りの発生を抑制するためのミティゲーションにより影響が低減される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
22	葛西臨海公園	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
25	夢の島公園	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
26	夢の島競技場	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
30	東京スタジアム	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
31	武蔵野の森公園	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		0		－	0	0		工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	0	0	
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－

評価指標別予測結果表（汚濁負荷(COD、T-N、T-P、BOD、SS等)の排出量）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
34	札幌ドーム	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
35	宮城スタジアム	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
36	埼玉スタジアム2002	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
37	横浜国際総合競技場	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
0V	選手村	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水は公共下水道等に排出することから、公共用水域の水質に影響を及ぼすことはない。	0		－	0	0	0	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴って公共用水域の水質に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	施設の供用に伴うし尿等の汚水による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0

評価指標別予測結果表（土壌汚染物質の拡散の可能性）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	履歴調査の結果、建設予定地の土壌汚染の可能性が想定される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	-1		－	－	0	－	土壌汚染の可能性が想定されるが、工事の際に汚染が確認された場合はミティゲーションの実施により土壌汚染物質が除去される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	+1		－	－	0	－
2	東京体育館	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
3	国立代々木競技場	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
4	日本武道館	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－
5	皇居外苑	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
6	東京国際フォーラム	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
7	国技館	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
8	有明アリーナ	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－
9	有明ＢＭＸコース	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
10	有明ベロドローム	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
11	有明体操競技場	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
12	有明テニスの森	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－
13	お台場海浜公園	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
14	潮風公園	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
15～16	東京ビッグサイト・ホールA、B	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
17	大井ホッケー競技場	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－
18	海の森クロスカントリーコース	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
19	海の森水上競技場	履歴調査の結果、建設予定地の土壌汚染の可能性が想定される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	-1		－	－	0	－	土壌汚染の可能性が想定されるが、工事の際に汚染が確認された場合はミティゲーションの実施により土壌汚染物質が除去される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	+1		－	－	0	－
20	海の森マウンテンバイクコース	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
21	若洲オリンピックマリーナ	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－

評価指標別予測結果表（土壌汚染物質の拡散の可能性）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
22	葛西臨海公園	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	履歴調査の結果、建設予定地の土壌汚染の可能性が想定される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	仮設撤去において土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	−1		－	－	－	－	土壌汚染の可能性が想定されるが、工事の際に汚染が確認された場合はミティゲーションの実施により土壌汚染物質が除去される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	仮設撤去において土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	+1		－	－	－	－
25	夢の島公園	履歴調査の結果、建設予定地の土壌汚染の可能性が想定される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	−1		－	－	0	－	土壌汚染の可能性が想定されるが、工事の際に汚染が確認された場合はミティゲーションの実施により土壌汚染物質が除去される。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	+1		－	－	0	－
26	夢の島競技場	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	比較的規模の大きい撤去工事を行うが、履歴調査の結果から、土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	履歴調査の結果から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－
30	東京スタジアム	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
31	武蔵野の森公園	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さい。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。		0		－	－	0		工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性は非常に小さく、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		0		－	－	0	
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
34	札幌ドーム	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
35	宮城スタジアム	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
36	埼玉スタジアム2002	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
37	横浜国際総合競技場	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	土地の改変等を伴う工事は実施しないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	－		－	－	－	－
0V	選手村	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－	履歴調査の結果、土壌汚染物質の存在の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。		影響要因が想定されないことから対象外とする。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	工事の内容から土壌汚染物質の拡散の可能性はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因が想定されないことから対象外とする。	0		－	－	0	－

評価指標別予測結果表（生物の生育・生息基盤の状況）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（生物の生育・生息基盤の状況）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
0V	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の賦存地の改変はない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（雨水の地下浸透能力）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		新設（恒久）は現況の公園内の樹林上に設置されることより、浸透域が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	新設（恒久）は現況の公園内の樹林上に設置されることより、浸透域が減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		雨水浸透施設設置により、現況と同程度の浸透を確保できると想定した。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	雨水浸透施設設置により、現況と同程度の浸透を確保できると想定した。	－		0		－	0
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		新設（恒久）は現況の公園内の樹林上に設置されることより、浸透域が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	新設（恒久）は現況の公園内の樹林上に設置されることより、浸透域が減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		雨水浸透施設設置により、現況と同程度の浸透を確保できると想定した。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	雨水浸透施設設置により、現況と同程度の浸透を確保できると想定した。	－		0		－	0
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。	－		0		－	0
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		新設の地下室により一部浸透域の改変が行われるが、ほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	新設の地下室により一部浸透域の改変が行われるが、ほとんど現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		新設の地下室により一部浸透域の改変が行われるが、ほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	新設の地下室により一部浸透域の改変が行われるが、ほとんど現況と変わらない。	－		0		－	0
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。	－		0		－	0
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	浸透域の改変は行われることはなく、現況と変わらない。	－		0		－	0
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－

評価指標別予測結果表（雨水の地下浸透能力）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域(グランド)の一部に仮設が設置されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域(グランド)の一部に仮設が設置されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域(グランド)の一部に仮設が設置されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		浸透域(グランド)の一部に仮設が設置されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により浸透域の一部が改変されるが、被覆率はほとんど現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設は撤去されることにより、浸透域の改変は行われることはない。	－		0		－	0
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－
0V	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		海面埋立地であるため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海面埋立地であるため対象外とする。	－		－		－	－

評価指標別予測結果表（周辺の生物の生育・生息環境の連続性）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	生物の生育・生息場所の分断はなく、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－

評価指標別予測結果表（周辺の生物の生育・生息環境の連続性）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、広域に亘って生物の生育・生息場所が増大し、連続性が向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、広域に亘って生物の生育・生息場所が増大し、連続性が向上する。	－		+2		－	+2
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。	－		-1		－	-1
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。	－		-1		－	-1
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（周辺の生物の生育・生息環境の連続性）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
0V	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	まとまりのある又は連続した樹林が改変されることから、生物の生育・生息場所に消失・分断が生じる。	－		－1		－	－1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が部分的に改善するものの、現況レベルまで改善しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、周辺の生物の生育・生息環境の連続性が現況レベルまで改善する。	－		－1		－	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去や施設の後利用の対象は、駐車場、砂利・舗装面、運動場、芝生であり、評価対象とする環境ではないため、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		生物の生育・生息場所は改変されない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺の生物の生育・生息場所の連続性は現況と変わらない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（重要な生物・生態系）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－

評価指標別予測結果表（重要な生物・生態系）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（重要な生物・生態系）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
0V	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	重要な生物・生態系の指定地域の改変はない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（生物相の豊かさ（鳥類相で代表））

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
2	東京体育館	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
3	国立代々木競技場	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
4	日本武道館	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
5	皇居外苑	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
6	東京国際フォーラム	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
7	国技館	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
8	有明アリーナ	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
9	有明ＢＭＸコース	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
10	有明ベロドローム	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
11	有明体操競技場	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
12	有明テニスの森	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
13	お台場海浜公園	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		砂浜にデッキが設置されることから、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	水辺がトライアスロンの競技エリアとなるため、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	砂浜に設置されたデッキが撤去されることから、生息が困難となる可能性のある種は存在しない。	-1		-1	-1	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		施設の存在に伴う生息地の改変により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	開催中の競技の実施により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	砂浜に設置されたデッキが撤去されることから、生息が困難となる可能性のある種は存在しない。	-1		-1	-1	-1	0
14	潮風公園	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
17	大井ホッケー競技場	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
18	海の森クロスカントリーコース	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
19	海の森水上競技場	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
20	海の森マウンテンバイクコース	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－

評価指標別予測結果表（生物相の豊かさ（鳥類相で代表））

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
21	若洲オリンピックマリーナ	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		人工磯が改変されることから、生息が困難と成る可能性のある種が存在する。	水辺がセーリングの競技エリアとなるため、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	人工磯が消失した状態が継続することから、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	-1		-1	-1	-1	-1	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		施設の存在に伴う生息地の改変により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	開催中の競技の実施により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	開催後の仮設の撤去や施設の後利用に伴う生息地の改変により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	-1		-1	-1	-1	-1
22	葛西臨海公園	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
25	夢の島公園	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
26	夢の島競技場	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
30	東京スタジアム	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
31	武蔵野の森公園	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
34	札幌ドーム	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
35	宮城スタジアム	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
36	埼玉スタジアム2002	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
37	横浜国際総合競技場	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－
0V	選手村	工事に伴う騒音や作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う騒音や作業員の立ち入りにより、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。		生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	工事に伴う作業員の立ち入り等により、生息が困難となる可能性のある種が存在する。	生息が困難となる可能性のある種は存在しないことから、現況と変わらない。	-1		0	0	-1	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。		鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	鳥類の主要な生息場でないことから、予測評価の対象外とする。	－		－	－	－	－

評価指標別予測結果表（緑地面積(屋上含む)）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況29.3%の緑被率が20.3%となり、9.0ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況29.3%の緑被率が20.3%となり、9.0ポイント減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況29.3%の緑被率は22.6%となり、緑比率が6.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-1		－	0
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況29.3%の緑被率が20.3%となり、9.0ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況29.3%の緑被率が20.3%となり、9.0ポイント減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況29.3%の緑被率は22.6%となり、緑比率が6.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-1		－	0
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況0%の緑被率が42.9%となり、緑被率が42.9ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況0%の緑被率は42.9%となり、緑被率が42.9ポイント増加する。	－		+2		－	+2
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況0%の緑被率が17.4%となり、緑被率が17.4ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	開催後は未利用地に戻るが、海辺沿い数十mは公園として整備されることから、緑被率は8.1ポイント増加する。	－		+1		－	+1
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況0%の緑被率が17.4%となり、緑被率が17.4ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	開催後は未利用地に戻るが、海辺沿い数十mは公園として整備されることから、緑被率は8.1ポイント増加する。	－		+1		－	+1
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況0%の緑被率が26.5%となり、緑被率が26.5ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	開催後は未利用地に戻るが、海辺沿い数十mは公園として整備されることから、緑被率は15.0ポイント増加する。	－		+2		－	+1
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況42.1%の緑被率が17.2%となり、24.9ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況42.1%の緑被率が17.2%となり、24.9ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況42.1%の緑被率が29.2%となり、緑被率が12.9ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況42.1%の緑被率が29.4%となり、12.7ポイント減少する。	－		-1		－	-1
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況25.4%の緑被率が19.6%となり、5.8ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況25.4%の緑被率が19.6%となり、5.8ポイント減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況25.4%の緑被率が19.6%となり、緑被率が5.8ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-1		－	0
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況53.9%の緑被率が42.5%となり、11.4ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況53.9%の緑被率が42.5%となり、11.4ポイント減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		一次評価の結果、緑被率が11.4ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-1		－	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況4.0%の緑被率が3.3%となり、0.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況4.0%の緑被率が3.3%となり、0.7ポイント減少する。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況4.0%の緑被率が9.3%となり、緑被率が5.3ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況4.0%の緑被率が9.3%となり、5.3ポイント増加する。	－		+1		－	+1

評価指標別予測結果表（緑地面積（屋上含む））

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況72.1%の緑被率が30.1%となり、42.0ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況72.1%の緑被率が30.1%となり、42.0ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況72.1%の緑被率は41.3%となり、緑比率が30.8ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-2		－	0
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションを行うことにより、＋20ポイント以上緑被率が増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	＋20ポイント以上緑被率が増加する。	－		+2		－	+2
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションを行うことにより、＋20ポイント以上緑被率が増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	＋20ポイント以上緑被率が増加する。	－		+2		－	+2
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、改変の影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、改変の影響はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	開催後は未利用地に戻ることから、緑被率は現況とほぼ変わらない。	－		0		－	0
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.1%の緑被率が15.8%となり、39.3ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.1%の緑被率が15.8%となり、39.3ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.1%の緑被率が24.4%となり、緑被率が30.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-2		－	0
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況63.2%の緑被率が32.0%となり、31.2ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況63.2%の緑被率が32.0%となり、31.2ポイント減少する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況63.2%の緑被率が33.4%となり、緑被率が29.8ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況63.2%の緑被率が48.7%となり、緑被率が14.5ポイント減少する。	－		-2		－	-1
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.5%の緑被率が31.1%となり、24.4ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.5%の緑被率が31.1%となり、24.4ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.5%の緑被率は54.7%となり現況とほぼかわらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.5%の緑被率は61.5%となり、緑被率が6.0ポイント増加する。	－		0		－	+1
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.5%の緑被率が31.1%となり、24.4ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.5%の緑被率が31.1%となり、24.4ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況55.5%の緑被率は54.7%となり現況とほぼかわらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況55.5%の緑被率は61.5%となり、緑被率が6.0ポイント増加する。	－		0		－	+1
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況56.6%の緑被率が5.9%となり、50.7ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況56.6%の緑被率が5.9%となり、50.7ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況56.6%の緑被率が17.3%となり、緑被率が39.3ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑被率は現況とほぼかわらない。	－		-2		－	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況76.5%の緑被率が51.4%となり、25.1ポイントと大きく減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況76.5%の緑被率が51.4%となり、25.1ポイントと大きく減少する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		一次評価の結果、緑被率が25.1ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況76.5%の緑被率が61.3%となり、緑被率が15.2ポイント減少する。	－		-2		－	-1
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況36.3%の緑被率が33.3%となり、3.0ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況36.3%の緑被率が33.3%となり、3.0ポイント減少する。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ほぼ現況と変わらない。	－		0		－	0
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況69.3%の緑被率が68.3%となり、0.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況69.3%の緑被率が68.3%となり、0.7ポイント減少する。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ほぼ現況と変わらない。	－		0		－	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。	－		－		－	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況95.8%の緑被率が94.8%となり、1.0ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況95.8%の緑被率が94.8%となり、1.0ポイント減少する。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ほぼ現況と変わらない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（緑地面積(屋上含む)）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
No.	名称	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
		工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
0V	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況7.6%の緑被率が0.0%となり、7.6ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況7.6%の緑被率が0.0%となり、7.6ポイント減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況7.6%の緑被率が65.6%となり、緑被率が58.0ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況7.6%の緑被率が65.6%となり、緑被率が58.0ポイント増加する。	－		+2		－	+2
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況4.0%の緑被率が3.3%となり、0.7ポイント減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況4.0%の緑被率が3.3%となり、0.7ポイント減少する。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況4.0%の緑被率が9.3%となり、緑被率が5.3ポイント増加する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況4.0%の緑被率が9.3%となり、5.3ポイント増加する。	－		+1		－	+1

評価指標別予測結果表（緑化の状況）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は17.7%となるが緑化基準を満たす。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は17.7%となるが緑化基準を満たす。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化基準を満たしている。		改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。	緑化率が21.0%となり、段階2を達成。	－		0		－	+1
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は17.7%となるが緑化基準を満たす。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は17.7%となるが緑化基準を満たす。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化基準を満たしている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が21.0%となり、段階2を達成。	－		0		－	+1
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑化率は0%である。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、緑化率は0%である。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が17.4%となり、緑化基準を満たした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が17.4%となり、段階1を達成。	－		0		－	0
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	仮設施設のため対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は16.6%となるが緑化基準を満たす。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は16.6%となるが緑化基準を満たす。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が19.1%となり、緑化基準を満たした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が19.1%となり、段階1を達成。	－		0		－	0
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は2.6%となり、緑化基準を満たさない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は2.6%となり、緑化基準を満たさない。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率は8.6%であり、緑化基準を満たさなかった。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率は8.6%であり、緑化基準を満たさなかった。	－		-1		－	-1

評価指標別予測結果表（緑化の状況）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変を受けるが緑化率は23.2%であり段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変を受けるが緑化率は23.2%であり段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		段階2の水準を達成している。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が38.0%となり、段階3を達成。	－		+1		－	+2
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑化率は0%である。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、緑化率は0%である。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率20%以上となり、段階2を達成する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率20%以上となり、段階2を達成。	－		+1		－	+1
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は8.3%となり、緑化基準を満たさない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は8.3%となり、緑化基準を満たさない。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化基準を満たさなかった。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が35.0%となり、段階3を達成。	－		-1		－	+2
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は19.0%となり、緑化基準を満たさない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は19.0%となり、緑化基準を満たさない。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化基準を満たしていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が28.4%となり段階2の水準を達成。	－		-1		－	+1
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変を受けるが緑化率は21.7%となり、段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変を受けるが緑化率は21.7%となり、段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が36.2%となり、段階3を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が41.7%となり、段階3を達成。	－		+2		－	+2
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変を受けるが緑化率は21.7%となり、段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変を受けるが緑化率は21.7%となり、段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が36.2%となり、段階3を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が41.7%となり、段階3を達成。	－		+2		－	+2
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率23.7%であり、段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率23.7%であり、段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率23.7%となり、段階2を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が27.7%となり、段階2を達成。	－		+1		－	+1
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率20.8%であり、段階2の水準を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率20.8%であり、段階2の水準を達成。	－		+1		－	+1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		段階2の水準を達成している。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	一次評価の結果と同様、段階2の水準を達成している。	－		+1		－	+1
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	防衛施設であり緑地としての用途は想定されていないことから対象外とした。	－		－		－	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設施設のため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設施設のため対象外とする。	－		－		－	－

評価指標別予測結果表（緑化の状況）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
No.	名称	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
		工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面の改変が行われないため対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面の改変が行われないため対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
0V	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は0%となる。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は0%となる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率が60.8%となり、段階3を達成。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率が60.8%となり、段階3を達成。	－		+2		－	+2
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地の改変により、緑化率は2.6%となり、緑化基準を満たさない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹林地の改変により、緑化率は2.6%となり、緑化基準を満たさない。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		緑化率は8.5%であり、緑化基準を満たさなかった。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	緑化率は8.6%であり、緑化基準を満たさなかった。	－		-1		－	-1

評価指標別予測結果表（環境・交通騒音レベル）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	イベント開催時における施設の供用、歓声や応援等の騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	-1		－	0	-1	-1	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	イベント開催時に発生する騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境の影響を及ぼさない程度に抑えられる。	0		－	0	0	0
2	東京体育館	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
3	国立代々木競技場	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
4	日本武道館	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	新たな恒久施設は、イベント開催会場等としての一般利用は想定されないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	新たな恒久施設は、イベント開催会場等としての一般利用は想定されないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
5	皇居外苑	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
6	東京国際フォーラム	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	－		－	0	－	－	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	－		－	0	－	－
7	国技館	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
8	有明アリーナ	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	開催後の後利用は開催中と同様に屋内でのイベント開催であることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	屋内でのイベント開催であり、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
9	有明ＢＭＸコース	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
10	有明ベロドローム	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
11	有明体操競技場	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
12	有明テニスの森	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	開催前の利用形態に変化はなく、周辺の生活環境に影響を及ぼすような新たな騒音の発生はない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	開催前の後利用において周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
13	お台場海浜公園	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
14	潮風公園	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－

評価指標別予測結果表（環境・交通騒音レベル）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
17	大井ホッケー競技場	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	既存の公園内の施設であり周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	既存の公園内の施設であり周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
18	海の森クロスカントリーコース	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
19	海の森水上競技場	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	会場の周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	会場周辺には住宅等が存在しておらず生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
20	海の森マウンテンバイクコース	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
21	若洲オリンピックマリーナ	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	既存の公園内の施設であり周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	既存の公園内の施設であり周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
22	葛西臨海公園	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	既存の公園内の施設であり周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	既存の公園内の施設であり周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	開催後の後利用は開催中と同様に屋内でのイベント開催であることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	屋内でのイベント開催であり、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
25	夢の島公園	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	既存の公園内の施設であり周辺に住宅等が存在していないことから、騒音による周辺の生活環境への影響はない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	既存の公園内の施設であり周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
26	夢の島競技場	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	開催後の後利用は開催中と同様に屋内でのイベント開催であることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	屋内でのイベント開催であり、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	開催後の後利用は開催中と同様に屋内でのイベント開催であることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	－	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	屋内でのイベント開催であり、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	－	0
30	東京スタジアム	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
31	武蔵野の森公園	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		-1		－	0	-1		工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		0		－	0	0	
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－

評価指標別予測結果表（環境・交通騒音レベル）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
No.	名称	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
		工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
34	札幌ドーム	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
35	宮城スタジアム	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
36	埼玉スタジアム2002	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
37	横浜国際総合競技場	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等による騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	-1		－	0	-1	－	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用、声援や応援等が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	オリンピックによる新たな恒久施設はなく、開催後の状況に開催前との変化はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
0V	選手村	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用等に伴う騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。	住宅として利用されることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすような騒音の発生はない。	-1		－	0	-1	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用等による騒音が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。	住宅として利用され、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	0	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	工事の実施に伴う騒音による周辺の生活環境への影響がみられる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用等に伴う騒音の発生がみられるが、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	開催後は展示会場等として利用されることから、周辺の生活環境に影響を及ぼすことはない。	-1		－	0	－	0	工事の実施に伴う騒音による影響がみられるが、ミティゲーションにより周辺の生活環境に影響を及ぼさない程度となる。		影響要因は想定されないことから対象外とする。	施設の供用等による騒音が周辺の生活環境に影響を及ぼすことはないことから、ミティゲーションは想定していない。	騒音の発生要因となるような工事は行わないことから対象外とする。	展示会場等として利用され、周辺の生活環境への影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	0		－	0	－	0

評価指標別予測結果表（日照の阻害の有無）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）			日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。			-1	－		-1			日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。			0	－		0
2	東京体育館			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
3	国立代々木競技場			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
4	日本武道館			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
5	皇居外苑			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		
6	東京国際フォーラム			新たな施設の建設は行わないことから対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			－	－		－			新たな施設の建設は行わないことから対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					－	－		－
7	国技館			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
8	有明アリーナ			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
9	有明ＢＭＸコース			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		
10	有明ベロドローム			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		
11	有明体操競技場			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		
12	有明テニスの森			日影は概ね会場エリア内に留まることから周辺への影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
13	お台場海浜公園			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		
14	潮風公園			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
17	大井ホッケー競技場			日影は概ね会場エリア内に留まることから周辺への影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
18	海の森クロスカントリーコース			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		
19	海の森水上競技場			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
20	海の森マウンテンバイクコース			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		

評価指標別予測結果表（日照の阻害の有無）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
21	若洲オリンピックマリーナ			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
22	葛西臨海公園			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B			日影は概ね会場エリア内に留まることから周辺への影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
25	夢の島公園			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
26	夢の島競技場			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。			-1	－		-1			日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。			0	－		0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場エリア北側の日影の規制地域にまで及ぶ。			-1	－		-1			日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		日影が会場の北側の日影の規制地域にまで及ぶが、屋根の形状に配慮する等のミティゲーションにより影響が回避できる。			0	－		0
30	東京スタジアム			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
31	武蔵野の森公園			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。											施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。								
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－					施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。					0	－		
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。						－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。						－
34	札幌ドーム			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
35	宮城スタジアム			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
36	埼玉スタジアム2002			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
37	横浜国際総合競技場			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		新たな施設による日影は生じないことから対象外とする。			0	－		－
0V	選手村			日影は概ね会場エリア内に留まることから周辺への影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)			施設の高さ、周辺の状況、仮設のみであることなどから、施設の存在に伴う日影の影響はない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催後に、新たな施設による日影は生じないことから影響はない。			0	－		0			施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による影響はないことから、ミティゲーションは想定していない。			0	－		0

評価指標別予測結果表（緑視率）

会場		一次評価													二次評価											
		段階別影響							評価点						段階別影響						評価点					
			開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	一次・二次	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	一次			視認できる緑はすべて施設手前であり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0			街路樹を整備するが、評価地点の緑視率は、現況と変わらない。			会場エリア内に整備された樹木を維持する。緑視率は現況と変わらない。			0			0
2	東京体育館	一次			視認できる緑はすべて施設手前であり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0			街路樹を整備するが、評価地点の緑視率は、現況と変わらない。			会場エリア内に整備された樹木を維持する。緑視率は現況と変わらない。			0			0
3	国立代々木競技場	一次			仮設の歩行者デッキの設置により、樹木が影響を受けるが、緑視率の減少は約3.6ポイントであり、現況と変わらない。			仮設の歩行者デッキが撤去された後も、樹木が改変された状態が続く。緑視率の減少は約0.1ポイントであり、現況と変わらない。			0			0			影響を受ける樹木については、会場エリア内への移植を行う。評価地点の緑視率の減少は一次評価と同じく約3.6ポイントであり、現況と変わらない。			会場エリア内に移植していた樹木を原状復帰する。緑視率は現況と変わらない。			0			0
4	日本武道館	一次			仮設の設置に伴い、緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約2.5ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0			仮設の設置に伴い、緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約2.5ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0
5	皇居外苑	一次			仮設の設置により、一部の緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約3.9ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0			仮設の設置により、一部の緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約3.9ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0
6	東京国際フォーラム	一次			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			0			0			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			0			0
7	国技館	一次			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			0			0			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			施設内部の改修であるため、現況と変わらない。			0			0
8	有明アリーナ	一次			仮設の設置により、一部の緑が改変されるが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、恒設が残り、草地が改変された状態が続くが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			0			0			会場エリア内に緑地が整備され、周辺に街路樹が整備されるため、現況と同等の緑視率になると想定する。			開催中に整備された樹木を維持することを想定する。仮設撤去後は、草本の種を播くなどして、現在と同様の植生となると予測した。			0			0
9	有明ＢＭＸコース	一次			仮設の設置により、一部の緑が改変されるが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、草地が改変された状態が続くが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			0			0			会場エリア内に緑地が整備され、周辺に街路樹が整備されるため、現況と同等の緑視率になると想定する。			仮設撤去後は、草本の種を播くなどして、現在と同様の植生となると予測した。			0			0
10	有明ベロドローム	一次			仮設の設置により、一部の緑が改変されるが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、草地が改変された状態が続くが、緑視率の減少は約1.3ポイントであり、現況と変わらない。			0			0			会場エリア内に緑地が整備され、周辺に街路樹が整備されるため、現況と同等の緑視率になると想定する。			仮設撤去後は、草本の種を播くなどして、現在と同様の植生となると予測した。			0			0
11	有明体操競技場	一次			仮設の設置及び整地により、一部の緑地が改変され、緑視率は現況よりも約9.3ポイント減少する。			仮設撤去後、草地が改変された状態が続くため、緑視率は現況より約9.3ポイント減少する。			*−1*			*−1*			会場エリア内に緑地が整備され、周辺にも街路樹が整備されるため、現況と同等の緑視率になると想定する。			仮設の撤去後は、未利用地に戻るが整地された状態が続く。草本の種を播くなどして、現在と同様の植生となると想定する。			0			0
12	有明テニスの森	一次			施設の設置により、会場エリア内の大部分が改変されるが、緑視率の減少は約0.9ポイントであり、現況と変わらない。			樹木の改変による緑視率の減少は、約0.9ポイントであり、現況と変わらない。			0			0			施設の設置の影響を受ける樹木は会場内に移植されるが、緑視率の減少は約0.9ポイントであり、現況と変わらない。			会場エリア内に移植された樹木が開催後も維持されることを想定する。緑視率の減少は約0.9ポイントであり、現況と変わらない。			0			0
13	お台場海浜公園	一次			仮設の観客席及び仮設のフェンスの設置により緑視が阻害され、緑視率は約9.0ポイント減少する。			仮設の観客席及び仮設フェンスが撤去されるが、樹木は改変された状態が続くため、現況から約1.9ポイントの減少となる。			*−1*			0			影響を受ける樹木は、会場内に移植されるが、緑視率の減少は約9.0ポイントで一次評価と変わらない。			仮設撤去後、樹木を現状復帰することを想定しており、緑視率は現況と変わらない。			*−1*			0
14	潮風公園	一次			仮設の観客席の設置により、芝生地が改変されるが、緑視率の減少は約1.4ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後も、芝生地は改変された状態が続くが、緑視率の減少は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			0			0			仮設の観客席の設置により、芝生地が改変されるが、緑視率の減少は約1.4ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、芝生地の原状復帰を行うことを想定しており、緑視率は現況と変わらない。			0			0
15～16	東京ビッグサイト・ホールA、B	一次			仮設の歩行者デッキの設置により緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約0.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設の歩行者デッキが撤去されるが、樹木が改変された状態が続くため、現況から約0.2ポイントの減少となる。			0			0			評価地点の緑視率の減少は約0.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、樹木の原状復帰を行うため、緑視率は現況と変わらない。			0			0
17	大井ホッケー競技場	一次			恒久施設及び仮設の設置に伴う整地により、樹木が影響を受けるため、緑視率は現況よりも約10.6ポイント減少する。			仮設が撤去後も、樹木が改変された状態が続くため、緑視率の減少は、約10.2ポイントである。			*−1*			*−1*			影響を受ける樹木については、会場エリア内への移植を行うが、評価地点の緑視率には影響しない。緑視率は、一次評価と同様に現況よりも約10.6ポイント減少する。			仮設撤去後、樹木の原状復帰を行うため、緑視率は現況と変わらない。			*−1*			0
18	海の森クロスカントリーコース	一次			緑視率は現況と変わらないと想定する。			一部が未利用地に戻る。緑視率は現況と変わらないと想定する。			0			0			海の森の整備を行い、現況よりも緑視率が5ポイント以上増加すると想定する。			造成された海の森を維持するため、緑視率は、現況よりも5ポイント以上増加する。			+1			+1
19	海の森水上競技場	一次			緑視率は現況と変わらないと想定する。			一部が未利用地に戻る。緑視率は現況と変わらないと想定する。			0			0			施設の整備に伴い、緑地を造成するため、緑視率は増加すると予測する。			開催後は一部が未利用地に戻る。緑視率は現況と変わらないと想定する。			+1			0

評価指標別予測結果表（緑視率）

会場		一次評価													二次評価											
		段階別影響							評価点						段階別影響						評価点					
			開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	一次・二次	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
20	海の森マウンテンバイクコース	一次			緑視率は現況と変わらないと想定する。			未利用地に戻るため、緑視率は現況と変わらないと想定する。			0			0			施設の整備に伴い、緑地を造成するため、緑視率は増加すると予測する。			未利用地に戻るため、緑視率は現況と変わらないと想定する。			+1			0
21	若洲オリンピックマリーナ	一次			仮設のフェンス及び会場内の整地により、緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約1.2ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後も会場エリア内は整地されているため、緑視率は現況よりも約22.1ポイント減少する。			0			-2			影響を受ける樹木は会場エリア内に移植を行うが、評価地点の緑視には影響しない。緑視率は、一次評価と同様に約1.2ポイント減少する。			仮設撤去後、芝生地の原状復帰を行うため、緑視率は現況と変わらない。			0			0
22	葛西臨海公園	一次			視認できる緑はすべて施設手前であり、現況と変わらない。			仮設の観客席が撤去されるが、恒久施設の存在により緑視が阻害された状態であるため、緑視率は約19.8ポイント減少した状態が続く。			0			-1			カヌーコース水路間の芝生化、低木植栽を想定するが、視認できる緑はすべて施設手前であり、現況と変わらない。			恒久のカヌーコースが残るが、開催中に整備した芝生や樹木を維持する。整備された緑地は現況と同等の緑視率となるように配置されていることを想定する。			0			0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	一次			恒久のアリーナの設置による緑視率の低下は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			恒久のアリーナの整備による緑視率の低下は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			0			0			屋上緑化及び建物周囲の緑化の維持を想定するが、緑視率の減少は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			屋上緑化及び建物周囲の緑化の維持を想定するが、緑視率の減少は約0.4ポイントであり、現況と変わらない。			0			0
25	夢の島公園	一次			仮設のアーチェリーフィールド、広場の整備により、現況で視認できる緑のほとんどが改変され、緑視率は約32.0ポイント減少する。			仮設の施設及び広場は撤去されるが、現況で視認できる緑のほとんどが改変され、緑視率は約32.0ポイント減少する。			-2			-2			施設の設置により影響を受ける樹木は、施設建設に伴い造成される広場への移植を行う。現況と同等の緑視率となると想定する。			仮設撤去後に樹木の原状復帰を行い、恒久施設の影響により広場へ移植された樹木は維持することを想定する。開催後は植栽に加えて芝生も現状復帰することを想定し、評価地点の緑視率は、5.0ポイント以上増加すると想定する。			0			+1
26	夢の島競技場	一次			恒久の歩行者デッキの設置により、現況で広場となっている部分の植栽が改変され、緑視率は約7.8ポイント減少する。			恒久の歩行者デッキにより、植栽が改変された状態が続く。緑視率は、開催中と同じく約7.8ポイント減少する。			-1			-1			影響を受ける樹木については会場エリア内移植を行う。移植は現況と同等の緑視率となるように配置されると想定する。			会場エリア内に移植した樹木を維持する。移植は、現況と同等の緑視率となるように配置されていることを想定する。			0			0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	一次			恒久施設の整備により樹木が影響を受け、緑視率は約15.0ポイント減少する。			仮設撤去後も、樹木が改変された状態が続くと想定する。緑視率の減少は開催中と同様に約15.0ポイントとなる。			-1			-1			影響を受ける樹木は会場エリア内移植を行い、会場周辺の緑化を図るため、現況と同等の緑視率となると想定する。			仮設撤去後、樹木を原状復帰し、恒久施設の周囲の緑化や壁面緑化を図ることにより、現況と同等の緑視率となることを想定する。			0			0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	一次			恒久施設の設置により緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約1.5ポイントであり、現況と変わらない。			恒久施設の設置により緑視が阻害された状態が続くため、緑視率の減少は一次評価と同様に約1.5ポイントであり、現況と変わらない。			0			0			施設の整備に伴い、会場エリア内を緑化し、現況と同等の緑視率となると想定する。			恒久施設の設置に伴い整備した樹木を開催後も維持する。樹木は、現況と同等の緑視率となるように配置されていることを想定し、現況と変わらない。			0			0
30	東京スタジアム	一次			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－
31	武蔵野の森公園	一次			仮設の設置により、緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約0.2ポイントであり、現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0			樹木の移植を行うが、緑視率の減少は約0.2ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、改変地の原状復帰を行う。緑視率は現況と変わらない。			0			0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	一次			仮設の射撃場が設置されるが、視認できる緑はすべて施設手前であり、緑視率は現況と変わらない。			開催後は評価しない。			0			－			仮設の射撃場が設置されるが、視認できる緑はすべて施設手前であり、緑視率は現況と変わらない。			開催後は評価しない。			0			－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	一次			仮設の施設が設置されるが、評価地点の緑視率には影響しない。緑視率は現況と変わらない。			仮設が撤去されるが、緑視率は現況と変わらない。			0			0			仮設の設置は可能な限り街路樹をさけて設置するが、緑視率には影響しないため、現況と変わらない。			仮設撤去後、改変地の原状復帰を行う。緑視率は現況と変わらない。			0			0
34	札幌ドーム	一次			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－
35	宮城スタジアム	一次			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－
36	埼玉スタジアム2002	一次			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－
37	横浜国際総合競技場	一次			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			仮設はコンパウンドのみで影響が想定されないことから、評価対象外とする。			－			－
0W	選手村	一次			視認できる緑はすべて施設手前であり、緑視率は現況と変わらない。			視認できる緑はすべて施設手前であり、緑視率は現況と変わらない。			0			0			会場エリア内への植樹、屋上緑化・壁面緑化を行うが、評価地点からの緑視率は、＋5ポイント未満であると想定し、現況と変わらない。			開催後も壁面緑化を維持するが、評価地点からの緑視率は開催中と同様に±5.0ポイント未満であることを想定し、現況と変わらない。			0			0

評価指標別予測結果表（緑視率）

会場		一次評価													二次評価											
		段階別影響							評価点						段階別影響						評価点					
No.	名称	一次・二次	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
			工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)	一次			仮設の歩行者デッキの設置により緑視が阻害されるが、緑視率の減少は約0.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設の歩行者デッキが撤去されるが、樹木が改変された状態が続くため、現況から約0.2ポイントの減少となる。			0			0			MPCの屋上を緑化するが、評価地点の緑視率の減少は約0.3ポイントであり、現況と変わらない。			仮設撤去後、樹木の原状復帰を行うため、緑視率は現況と変わらない。			0			0

評価指標別予測結果表（優れた眺望又は景観の阻害）

会場		一次評価													二次評価											
		段階別影響							評価点						段階別影響						評価点					
			開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	一次・二次	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
2	東京体育館	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
3	国立代々木競技場	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
4	日本武道館	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
5	皇居外苑	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
6	東京国際フォーラム	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
7	国技館	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
8	有明アリーナ	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
9	有明ＢＭＸコース	一次			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
10	有明ベロドローム	一次			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
11	有明体操競技場	一次			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
12	有明テニスの森	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
13	お台場海浜公園	一次			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
14	潮風公園	一次			水辺から見える場所に建設されることから、水辺景観形成特別地区周縁部を阻害する。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			-1			0			水辺景観形成特別地区の景観形成基準（色彩、意匠など）に準拠した施設とする。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
17	大井ホッケー競技場	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
18	海の森クロスカントリーコース	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
19	海の森水上競技場	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
20	海の森マウンテンバイクコース	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
21	若洲オリンピックマリーナ	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
22	葛西臨海公園	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナＡ、Ｂ	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
25	夢の島公園	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
26	夢の島競技場	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0

評価指標別予測結果表（優れた眺望又は景観の阻害）

会場		一次評価													二次評価											
		段階別影響							評価点						段階別影響						評価点					
			開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	一次・二次	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
30	東京スタジアム	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
31	武蔵野の森公園	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
34	札幌ドーム	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
35	宮城スタジアム	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
36	埼玉スタジアム2002	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
37	横浜国際総合競技場	一次			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			評価の基準②にあてはまらないため、検討対象外とする。			－			－
0V	選手村	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			会場周辺の電線の地中化（無電柱化）を実施する。			会場周辺の電線の地中化（無電柱化）を実施する。			+1			+1
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	一次			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			眺望景観及び景観形成特別地区の景観を阻害することはない。			0			0

評価指標別予測結果表（自然との触れ合い活動の場の変化）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
No.	名称	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
		工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。		－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場ではない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場ではない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変されたままとなる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		-1		－	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変されたままとなる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		-1		－	0
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が全般的に向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が全般的に向上する。	－		+2		－	+2
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場ではない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が全般的に向上する。	－		0		－	+2
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場ではない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の主要部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用においても、自然との触れ合い活動の場の主要部が改変されたままとなる。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場の改善及び創出を図るが、現況レベルまでは達しない。	－		-2		－	-1
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変されたままとなる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場の創出を図るが、現況レベルまでは達しない。	－		-1		－	-1

評価指標別予測結果表（自然との触れ合い活動の場の変化）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		0		－	0
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が部分的に改善する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		-1		－	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の周縁部が改変されたままとなる。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が新たに創出され、質が一部向上する。	－		+1		－	+1
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場となっていないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	地表面が改変されないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
0W	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の後利用により、自然との触れ合い活動の場の半分以上が改変される。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現段階ではミティゲーションは想定していない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場が現況レベルまで改善する。	－		-2		－	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	改変部が自然との触れ合い活動の場の主要部や周縁部ではない、又は半分弱にみたないことから、現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変部が自然との触れ合い活動の場でない、又は現況で自然との触れ合い活動の場となっていない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	自然との触れ合い活動の場は現況と変わらない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（自然との触れ合い活動の変化）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場へのアクセス性が向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2
2	東京体育館	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場へのアクセス性が向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2
3	国立代々木競技場	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
4	日本武道館	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		自然との触れ合い活動の場へのアクセスが阻害される。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		-1	-1	0	+1
5	皇居外苑	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
6	東京国際フォーラム	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
7	国技館	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
8	有明アリーナ	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
9	有明ＢＭＸコース	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
10	有明ベロドローム	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
11	有明体操競技場	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
12	有明テニスの森	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動の場へのアクセス性が向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		+1	-1	0	+1
13	お台場海浜公園	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1
14	潮風公園	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が現況レベルまで改善する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
17	大井ホッケー競技場	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1
18	海の森クロスカントリーコース	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
19	海の森水上競技場	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
20	海の森マウンテンバイクコース	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
21	若洲オリンピックマリーナ	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が現況レベルまで改善する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1

評価指標別予測結果表（自然との触れ合い活動の変化）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
22	葛西臨海公園	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		+1	-1	0	+1
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2
25	夢の島公園	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2
26	夢の島競技場	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
30	東京スタジアム	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
31	武蔵野の森公園	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が現況レベルまで改善する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
34	札幌ドーム	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0
35	宮城スタジアム	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1
36	埼玉スタジアム2002	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1
37	横浜国際総合競技場	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されないことから、現況と変わらない。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	-2		0	-1	-2	0	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されない、又は現況で自然との触れ合い活動が行われてない。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上する。	0		0	-1	0	+1
0V	選手村	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。		主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断又はアクセスが規制されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	会場エリア内の入場が規制されることから、自然との触れ合い活動のアクセスが阻害される。	騒音、アクセス規制により、自然との触れ合い活動自体及びアクセスが阻害される。	主要なアクセスルートが物理的に改変・遮断されることから、自然との触れ合い活動が阻害される。	-2		-1	-1	-2	-1	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。		ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	現段階ではミティゲーションは想定していない。	ミティゲーションの実施により、現況レベルまで自然との触れ合い活動が改善する。	ミティゲーションの実施により、自然との触れ合い活動が向上するとともに、アクセス性も向上する。	0		+1	-1	0	+2
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。		現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	現況で自然との触れ合い活動が行われていない。	0		0	0	0	0

評価指標別予測結果表（街路樹等緑陰の状況（緑陰面積））

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		施設周辺の樹木及びアクセスルートに面した樹木の一部が改変されるが、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設周辺の樹木及びアクセスルートに面した樹木の一部が改変されるが、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルート周辺において整備した街路樹を維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		一部の街路樹が改変されるが、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	街路樹の改変は継続する、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		歩行者デッキにより改変される樹木については会場エリア内に移植を行うことにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設撤去後の原状復帰、会場エリア内に移植した樹木の維持により、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図るとともに、会場エリア内の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルートの街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図るとともに、会場エリア内の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルートの街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図るとともに、会場エリア内の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルートの街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		街路樹の整備・充実を図るとともに、会場エリア内の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	アクセスルートの街路樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		会場エリア内の歩道沿いを含む樹木の大部分が改変されるため、緑陰面積が減少し、歩行者が感じる快適性が低下する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	会場エリア内の歩道沿いを含む樹木の大部分が改変されるため、緑陰面積が減少し、歩行者が感じる快適性が低下する。	－		-2		－	-2	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		施設の整備により改変される樹木を移植することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	移植した樹木を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設の建物の設置により、一部の樹木が改変されるため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設が撤去されるが、一部の樹木が改変された状態が継続するため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変される樹木については、会場エリア内に移植することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設撤去後に、樹木の原状復帰を行うことにより、緑陰面積及び歩行者の感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設、恒設の建設により、樹木が改変されるため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木が改変された状態が継続するため、会場エリア内の緑陰面積は減少する。	－		-1		－	-1	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変される樹木については、会場エリア内へ移植を行うことにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	移植した樹木の維持、仮設撤去後の原状復帰により、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		88haの植樹などを行う。これにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	海の森として整備された樹林を維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		+2		－	+2

評価指標別予測結果表（街路樹等緑陰の状況（緑陰面積））

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であることから、緑陰面積及び歩行者の感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	現況は未利用地であり、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		ほぼ全面において舗装による改変を受けるため、緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の建物、観客席が撤去されるが、舗装面は開催後も残り、樹木が改変された状態であるため、緑陰面積が減少した状態が続く。	－		*-1*		－	*-1*	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		歩道沿いに適度な植栽を行うが、若洲キャンプ場が改変された状態であるため、緑陰面積は減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	若洲キャンプ場の原状復帰、植樹を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらないレベルとなる。	－		*-1*		－	0
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまった樹木が影響を受けるため、会場エリア内において緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	恒設の競技エリアの整備にともない、会場エリア内において緑陰面積が減少した状態が続く。アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		*-1*		－	*-1*	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変される樹木については、会場エリア内へ移植を行うことにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設撤去後の原状復帰、移植を維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		恒設のアリーナの整備により樹木が影響を受けるため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	恒設のアリーナの存在により、緑陰面積が減少した状態が続く。アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		*-1*		－	*-1*	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		影響を受ける樹木については、会場エリア内に移植を行う。また、アリーナの建物周囲の樹木の充実を図ることにより、緑陰面積が増大する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	移植した樹木の維持及び建物周囲の樹木を開催後も維持することにより、緑陰面積が増大する。	－		**+1**		－	**+1**
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		まとまった樹木が影響を受けるため、緑陰面積が減少し、歩行者が感じる快適性が低下する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	会場エリア内及びアクセスルート上のまとまった樹木が改変された状態が継続しているため、緑陰面積が減少し、歩行者が感じる快適性は低下した状態が続く。	－		*-2*		－	*-2*	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		恒設による影響を受ける樹木は移植を行い、仮設により影響を受ける樹木は会場エリア内に移植を行うため、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設の撤去後の原状復帰、移植した樹木を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		一部の街路樹が改変されるが、緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	会場エリア内の緑陰面積の減少はわずかであるため、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		*-1*		－	*-1*	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		影響を受ける樹木については、会場エリア内に移植を行うことにより、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設撤去後に原状復帰、移植を行った樹木を開催後も維持することにより、緑陰面積及び歩行者の感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹林地となっている部分が改変されるため、会場エリア内の緑陰面積が減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	恒設の存在により、樹木が改変された状態が続くため、緑陰面積が減少する。アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		*-1*		－	*-1*	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設により影響を受ける樹木については会場エリア内に移植を行うが、恒設により影響を受ける樹木は会場エリア外へ移植を行うため、会場エリア内の緑陰面積は減少する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	恒設の建設により影響を受ける樹木については、会場外への移植を行うため、会場エリア内では現況よりも緑陰面積が減少した状態が続く。	－		*-1*		－	*-1*
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	陸上自衛隊の専用施設であり、公共的な利用が想定されないことから、後利用における予測評価の対象外とする。	－		0		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	陸上自衛隊の西洋施設であり、公共的な利用が想定されないことから、後利用における予測評価の対象外とする。	－		0		－	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑陰面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－

評価指標別予測結果表（街路樹等緑陰の状況（緑陰面積））

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	外部施設はテント等であり街路樹等の改変は行われないことから、予測評価の対象外とする。	－		－		－	－
OV	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		晴海ふ頭公園内の樹木が改変されるため、会場エリア内で緑除面積が減少する。 アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	晴海ふ頭公園内の樹木が改変されるため、会場エリア内で緑除面積が減少する。アクセスルートに面した樹木に変化はなく、歩行者が感じる快適性は変わらない。	－		*-1*		－	*-1*	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		会場エリア内の緑化の充実を図る。また、アクセスルートの街路樹の整備・充実を図ることにより、緑除面積が増大し、歩行者が感じる快適性が向上する。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	街路樹を開催後も維持することにより、緑除面積及び歩行者が感じる快適性ともに向上する。	－		**+2**		－	**+2**
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		施設の整備により、改変される樹木はないことから、緑除面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	施設の整備により改変される樹木はないことから、緑除面積及び歩行者が感じる快適性ともに変化はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		樹木に影響する改変はなく、緑除面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	樹木に影響する改変はなく、緑除面積及び歩行者が感じる快適性ともに現況と変わらない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（史跡・文化財の保護・保全の状況）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		建設工事に伴い、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		建設工事に伴い、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0
2	東京体育館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		建設工事に伴い、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		建設工事に伴い、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0
3	国立代々木競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設は埋蔵文化財包蔵地に影響を与えることは少ないと考えられるが、事前調査を行い、適切に工事を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設は埋蔵文化財包蔵地に影響を与えることは少ないと考えられるが、事前調査を行い、適切に工事を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
4	日本武道館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が開削され、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		地表面が開削され、土地の改変が行われるが、工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	工事の実施前に現地踏査を行い、その結果を受けて発掘調査を含めた適切な措置を行う。	－		0		－	0
5	皇居外苑	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設は埋蔵文化財包蔵地に影響を与えることは少ないと考えられるが、事前調査を行い、適切に工事を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設が撤去されるため、埋蔵文化財に影響を与えることはない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		仮設は埋蔵文化財包蔵地に影響を与えることは少ないと考えられるが、事前調査を行い、適切に工事を行う。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	仮設が撤去されるため、埋蔵文化財に影響を与えることはない。	－		0		－	0
6	東京国際フォーラム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		工事による改変は、既存施設内部の改築・改修のみである。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		工事による改変は、既存施設内部の改築・改修のみである。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
7	国技館	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		工事による改変は、既存施設内部の改築・改修のみである。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		工事による改変は、既存施設内部の改築・改修のみである。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
8	有明アリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
9	有明ＢＭＸコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
10	有明ベロドローム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
11	有明体操競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
12	有明テニスの森	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
13	お台場海浜公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
14	潮風公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
17	大井ホッケー競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
18	海の森クロスカントリーコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（史跡・文化財の保護・保全の状況）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
19	海の森水上競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
20	海の森マウンテンバイクコース	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
21	若洲オリンピックマリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
22	葛西臨海公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナＡ、Ｂ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
25	夢の島公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
26	夢の島競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	周辺に史跡・文化財は存在しない。	－		0		－	0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。	－		0		－	0
30	東京スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	土地の改変が行われるが、既に発掘調査等が実施され、消滅遺跡となっている。	－		0		－	0
31	武蔵野の森公園	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変域に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変域に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		改変域に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
34	札幌ドーム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
35	宮城スタジアム	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
36	埼玉スタジアム2002	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
37	横浜国際総合競技場	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		既存施設利用が主であるため、史跡・文化財に影響はない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（史跡・文化財の保護・保全の状況）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
No.	名称	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
		工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
OV	選手村	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0	改変による影響が最大となる「施設の存在による影響」で予測評価を行うことから対象外とする。		周辺に史跡・文化財は存在しない。		改変による影響が一定となる「後利用による影響」で予測評価を行うことから、対象外とする。	文化財等の保全及び管理に支障はない。	－		0		－	0

評価指標別予測結果表（上水利用量の削減）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2
2	東京体育館	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1
3	国立代々木競技場	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0
4	日本武道館	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0
5	皇居外苑	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
6	東京国際フォーラム	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2
7	国技館	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1
8	有明アリーナ	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2
9	有明ＢＭＸコース	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
10	有明ベロドローム	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
11	有明体操競技場	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
12	有明テニスの森	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1
13	お台場海浜公園	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－

評価指標別予測結果表（上水利用量の削減）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
14	潮風公園	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
15～16	東京ビッグサイト・ホールA、B	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2
17	大井ホッケー競技場	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1
18	海の森クロスカントリーコース	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
19	海の森水上競技場	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1
20	海の森マウンテンバイクコース	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
21	若洲オリンピックマリーナ	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1
22	葛西臨海公園	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2
25	夢の島公園	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
26	夢の島競技場	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水または再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+1	－	－	+1

評価指標別予測結果表（上水利用量の削減）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
30	東京スタジアム	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1
31	武蔵野の森公園	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	後利用はないことから対象外とする。	－		0	－	－	－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	陸上自衛隊朝霞訓練場は、陸上自衛隊の専用施設であることから、後利用時の評価の対象外とする。	－		0	－	－	－	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	陸上自衛隊朝霞訓練場は、陸上自衛隊の専用施設であることから、後利用時の評価の対象外とする。	－		0	－	－	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0
34	札幌ドーム	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0
35	宮城スタジアム	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0
36	埼玉スタジアム2002	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+1	－	－	+1
37	横浜国際総合競技場	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2
0V	選手村	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水により上水利用量の削減が図られる。	－		0	－	－	0	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用施設が設置され、水の有効利用が図られる。	－		+2	－	－	+2
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。		節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	競技の実施時における会場の利用者による水利用については、「施設の存在による影響」に含めるものとして、ここでは予測評価の対象外とする。	工事の実施に伴う水の利用については、散水や洗車による一時的な利用が見込まれるが、大量の水利用は想定されないことから、予測評価の対象外とする。	節水のほか、雨水及び再生水（中水含む）の利用により上水利用量の削減が図られる。	－		+2	－	－	+2

評価指標別予測結果表（廃棄物発生量の減量化）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
2	東京体育館	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
3	国立代々木競技場	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
4	日本武道館	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
5	皇居外苑	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
6	東京国際フォーラム	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	－		－	0	－	0	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	－		－	0	－	0
7	国技館	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
8	有明アリーナ	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
9	有明ＢＭＸコース	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
10	有明ベロドローム	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
11	有明体操競技場	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
12	有明テニスの森	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
13	お台場海浜公園	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
14	潮風公園	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
17	大井ホッケー競技場	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0

評価指標別予測結果表（廃棄物発生量の減量化）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
18	海の森クロスカントリーコース	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
19	海の森水上競技場	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
20	海の森マウンテンバイクコース	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
21	若洲オリンピックマリーナ	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
22	葛西臨海公園	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
25	夢の島公園	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
26	夢の島競技場	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	－	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	－	0
30	東京スタジアム	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
31	武蔵野の森公園	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
34	札幌ドーム	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
35	宮城スタジアム	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0

評価指標別予測結果表（廃棄物発生量の減量化）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
36	埼玉スタジアム2002	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
37	横浜国際総合競技場	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
0V	選手村	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	0	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)	標準的な工事と同程度の廃棄物の削減対策がなされ、現在の廃棄物の発生水準と同等の減量化が行われる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化が行われ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	－	0	建設廃棄物の対策はリサイクルによるものが大部分であり、減量による最終処分量の大幅な削減は見込めない。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。	0		－	0	－	0

評価指標別予測結果表（廃棄物の有効利用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
2	東京体育館	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
3	国立代々木競技場	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
4	日本武道館	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
5	皇居外苑	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
6	東京国際フォーラム	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	－		－	0	－	0	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	－		－	+1	－	+1
7	国技館	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
8	有明アリーナ	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
9	有明ＢＭＸコース	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
10	有明ベロドローム	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
11	有明体操競技場	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
12	有明テニスの森	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
13	お台場海浜公園	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
14	潮風公園	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1

評価指標別予測結果表（廃棄物の有効利用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
17	大井ホッケー競技場	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
18	海の森クロスカントリーコース	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
19	海の森水上競技場	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
20	海の森マウンテンバイクコース	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
21	若洲オリンピックマリーナ	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
22	葛西臨海公園	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
25	夢の島公園	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
26	夢の島競技場	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	－	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	－	+1
30	東京スタジアム	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
31	武蔵野の森公園	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	後利用はないことから対象外とする。	+1		－	+1	+1	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1

評価指標別予測結果表（廃棄物の有効利用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
34	札幌ドーム	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
35	宮城スタジアム	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
36	埼玉スタジアム2002	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
37	横浜国際総合競技場	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
OW	選手村	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	0	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から38%程度削減される。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	+1	+1
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	建設廃棄物の有効利用の取り組みについて、現在の標準的な工事と同程度の廃棄物の有効利用がなされる。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用で排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。	0		－	0	－	0	「東京都建設リサイクル推進計画」等に基づく有効利用策の促進により、建設廃棄物の最終処分量は現在の水準から20%以上削減される。		施設の存在による廃棄物の発生については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。	+1		－	+1	－	+1

評価指標別予測結果表（エコマテリアルの使用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
2	東京体育館	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
3	国立代々木競技場	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
4	日本武道館	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
5	皇居外苑	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
6	東京国際フォーラム	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	－		－	－	－	－	影響要因は想定されないことから対象外とする。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	－		－	－	－	－
7	国技館	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
8	有明アリーナ	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
9	有明ＢＭＸコース	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
10	有明ベロドローム	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
11	有明体操競技場	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
12	有明テニスの森	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
13	お台場海浜公園	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
14	潮風公園	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
17	大井ホッケー競技場	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
18	海の森クロスカントリーコース	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
19	海の森水上競技場	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
20	海の森マウンテンバイクコース	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
21	若洲オリンピックマリーナ	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－

評価指標別予測結果表（エコマテリアルの使用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
22	葛西臨海公園	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
25	夢の島公園	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
26	夢の島競技場	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	－	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	－	－
30	東京スタジアム	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
31	武蔵野の森公園	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
34	札幌ドーム	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
35	宮城スタジアム	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
36	埼玉スタジアム2002	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
37	横浜国際総合競技場	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
0V	選手村	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	+1	－
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	－	－	再生可能資材や再生資材が最大限に利用され、現在の水準を上回る。		施設の存在時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	競技の実施時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	後利用時におけるエコマテリアルの利用は想定されないため対象外とする。	+1		－	－	－	－

評価指標別予測結果表（温室効果ガスの削減量）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.7%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
2	東京体育館	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、16.6%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、17.1%程度の削減が見込まれる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	+2		－	+1	+2	+1
3	国立代々木競技場	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、11.6%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
4	日本武道館	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、13.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、11.8%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
5	皇居外苑	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
6	東京国際フォーラム	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	－		－	+1	－	+1	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	－		－	+1	－	+1
7	国技館	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.9%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
8	有明アリーナ	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.5%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
9	有明ＢＭＸコース	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
10	有明ベロドローム	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
11	有明体操競技場	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
12	有明テニスの森	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、24.4%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、24.6%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
13	お台場海浜公園	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
14	潮風公園	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、16%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、17.2%程度の削減が見込まれる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、17%程度の削減が見込まれる。	+2		－	+1	+2	+1
17	大井ホッケー競技場	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、37.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
18	海の森クロスカントリーコース	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
19	海の森水上競技場	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、33.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2

評価指標別予測結果表（温室効果ガスの削減量）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
20	海の森マウンテンバイクコース	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
21	若洲オリンピックマリーナ	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、26.4%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
22	葛西臨海公園	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、23.1%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.5%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
25	夢の島公園	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
26	夢の島競技場	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、18.9%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、33.3%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	－	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	－	+2
30	東京スタジアム	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
31	武蔵野の森公園	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、16.7%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
34	札幌ドーム	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
35	宮城スタジアム	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
36	埼玉スタジアム2002	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.5%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.7%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
37	横浜国際総合競技場	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第二種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の削減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	第二種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.2%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の削減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
OV	選手村	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な排出量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。	同等施設の標準的な排出量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、42.4%程度の削減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	一般的な施設の建設工事と同程度の排出量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、14.2%程度の削減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務が課されており、14.2%程度の削減が見込まれる。	0		－	+1	－	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の削減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、22.5%程度の削減が図られる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、22.5%程度の削減が図られる。	+2		－	+2	－	+2

評価指標別予測結果表（エネルギー使用量の増減）

会場		一次評価													二次評価											
		段階別影響							評価点						段階別影響						評価点					
			開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	一次・二次	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.7%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
2	東京体育館	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、16.6%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、17.1%程度の低減が見込まれる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	+2		－	+1	+2	+1
3	国立代々木競技場	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、11.6%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
4	日本武道館	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、13.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、11.8%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
5	皇居外苑	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
6	東京国際フォーラム	一次	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	－		－	+1	－	+1	影響要因は想定されないことから対象外とする。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	－		－	+1	－	+1
7	国技館	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.9%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
8	有明アリーナ	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.5%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
9	有明ＢＭＸコース	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
10	有明ベロドローム	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
11	有明体操競技場	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
12	有明テニスの森	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、24.4%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、24.6%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
13	お台場海浜公園	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
14	潮風公園	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、16%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、17.2%程度の低減が見込まれる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、17%程度の低減が見込まれる。	+2		－	+1	+2	+1
17	大井ホッケー競技場	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、37.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
18	海の森クロスカントリーコース	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
19	海の森水上競技場	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、33.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2

評価指標別予測結果表（エネルギー使用量の増減）

会場		一次評価													二次評価											
		段階別影響							評価点						段階別影響						評価点					
			開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	一次・二次	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
20	海の森マウンテンバイクコース	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
21	若洲オリンピックマリーナ	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、26.4%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
22	葛西臨海公園	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、23.1%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、49.5%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
25	夢の島公園	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
26	夢の島競技場	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、18.9%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、33.3%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	－	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	－	+2
30	東京スタジアム	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
31	武蔵野の森公園	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	後利用はないことから対象外とする。	0		－	0	0	－	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、20%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	後利用はないことから対象外とする。	+2		－	+2	+2	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	高効率設備の採用等により、16.7%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
34	札幌ドーム	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により、10.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
35	宮城スタジアム	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
36	埼玉スタジアム2002	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.5%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	第一種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.7%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
37	横浜国際総合競技場	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	第二種エネルギー指定管理工場に指定されており、7.8%程度の低減が見込まれる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	第二種エネルギー指定管理工場に指定されており、8%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	0	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	省エネルギー対策の実施等により10.2%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	省エネルギー対策の実施等により、10%程度の低減が図られる。	+2		－	+1	+2	+1
0V	選手村	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	同等施設の標準的な消費量となる。	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。	同等施設の標準的な消費量となる。	0		－	0	0	0	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、42.4%程度の低減が図られる。	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、50%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	+2	+2
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）	一次	一般的な施設の建設工事と同程度の消費量になる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」に含めて扱う。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、14.2%程度の低減が見込まれる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	東京都環境確保条例に基づく排出総量低減義務が課されており、14.2%程度の低減が見込まれる。	0		－	+1	－	+1	低燃費型建設機械の採用等により、約20～40%の低減が図られる。		開催中の施設の存在による影響については、「競技の実施による影響」で扱い、ここでは対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、22.5%程度の低減が図られる。	影響要因は想定されないことから対象外とする。	最高水準の省エネルギー技術の活用等により、22.5%程度の低減が図られる。	+2		－	+2	－	+2

評価指標別予測結果表（土地の転用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
2	東京体育館			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
3	国立代々木競技場			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
4	日本武道館			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
5	皇居外苑			改変エリアは現在道路、公園、運動場となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在道路、公園、運動場となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
6	東京国際フォーラム			敷地内における設営等にとどまるため土地の改変はない。						0						敷地内における設営等にとどまるため土地の改変はない。						0			
7	国技館			改変エリアは公共用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは公共用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
8	有明アリーナ			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
9	有明ＢＭＸコース			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
10	有明ベロドローム			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
11	有明体操競技場			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
12	有明テニスの森			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
13	お台場海浜公園			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
14	潮風公園			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ			改変エリアは現在商業用地、屋外利用地等となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在商業用地、屋外利用地等となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
17	大井ホッケー競技場			改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない運動場となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在公園、運動場及び商業用地となっており、自然地や農地は存在しない運動場となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
18	海の森クロスカントリーコース			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
19	海の森水上競技場			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
20	海の森マウンテンバイクコース			改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
21	若洲オリンピックマリーナ			改変エリアは現在敷地内の屋外利用地や公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在敷地内の屋外利用地や公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0			

評価指標別予測結果表（土地の転用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
22	葛西臨海公園			改変エリアは屋外利用地や公園、運動場等であり自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは屋外利用地や公園、運動場等であり自然地や農地は存在しない。						0			
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B			改変エリアは未利用地、公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは未利用地、公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0			
25	夢の島公園			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0			
26	夢の島競技場			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0			
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0			
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			改変エリアは未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは未利用地となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
30	東京スタジアム			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0						改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0			
31	武蔵野の森公園			改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは現在屋外利用地、公園、運動場等となっており、自然地や農地は存在しない。						0			
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0						改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0			
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			改変エリアはゴルフ場内の整理された区画であり、自然地や農地等は存在しない。						0						改変エリアはゴルフ場内の整理された区画であり、自然地や農地等は存在しない。						0			
34	札幌ドーム			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0						改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0			
35	宮城スタジアム			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0						改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0			
36	埼玉スタジアム2002			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0						改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0			
37	横浜国際総合競技場			改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0						改変エリアは一時的なプレハブ等の仮設に留まり土地の改変はない。						0			
0V	選手村			改変エリアは未利用地や屋外利用地、公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは未利用地や屋外利用地、公園、運動場となっており自然地や農地は存在しない。						0			
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)			改変エリアは主に屋外利用地であり自然地や農地は存在しない。						0						改変エリアは主に屋外利用地であり自然地や農地は存在しない。						0			

評価指標別予測結果表（土地の有効利用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
2	東京体育館			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
3	国立代々木競技場			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
4	日本武道館			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
5	皇居外苑			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
6	東京国際フォーラム			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
7	国技館			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
8	有明アリーナ			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			大規模体育館としての有効利用が継続される。			+2			+2			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			大規模体育館としての有効利用が継続される。			+2			+2
9	有明ＢＭＸコース			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1
10	有明ベロドローム			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1
11	有明体操競技場			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			一部海浜公園として整備されるが大部分は未利用地に戻る。			+2			+1
12	有明テニスの森			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
13	お台場海浜公園			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
14	潮風公園			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
17	大井ホッケー競技場			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
18	海の森クロスカントリーコース			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			公共公園として都民の憩いの場として有効利用が継続される。			+2			+2			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			公共公園として都民の憩いの場として有効利用が継続される。			+2			+2
19	海の森水上競技場			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			都民の水辺のレクリエーションとして有効利用が継続される。			+2			+2			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			都民の水辺のレクリエーションとして有効利用が継続される。			+2			+2
20	海の森マウンテンバイクコース			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			会場の後利用が想定されず未利用地に戻る。			+2			0			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			会場の後利用が想定されず未利用地に戻る。			+2			0
21	若洲オリンピックマリーナ			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
22	葛西臨海公園			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナＡ、Ｂ			会場の一部が未利用地であり開催中に競技会場として有効活用される。			大規模体育館としての有効利用が継続される。			+1			+1			会場の一部が未利用地であり開催中に競技会場として有効活用される。			大規模体育館としての有効利用が継続される。			+1			+1
25	夢の島公園			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
26	夢の島競技場			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0

評価指標別予測結果表（土地の有効利用）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			国内及び国際スポーツ大会の開催施設として有効利用が継続される。			+2			+2			会場の大部分が未利用地であり、開催中に競技会場として有効活用される。			国内及び国際スポーツ大会の開催施設として有効利用が継続される。			+2			+2
30	東京スタジアム			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
31	武蔵野の森公園			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
34	札幌ドーム			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
35	宮城スタジアム			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
36	埼玉スタジアム2002			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
37	横浜国際総合競技場			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0
0V	選手村			会場の一部が未利用地であり開催中に選手村として有効活用される。			都民の居住コミュニティとして有効利用が継続される。			+1			+1			会場の一部が未利用地であり開催中に選手村として有効活用される。			都民の居住コミュニティとして有効利用が継続される。			+1			+1
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0			未利用地の有効利用はない。			未利用地の有効利用はない。			0			0

評価指標別予測結果表（生活移動動線の分断又は進展）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
2	東京体育館			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
3	国立代々木競技場			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
4	日本武道館			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
5	皇居外苑			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
6	東京国際フォーラム			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
7	国技館			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
8	有明アリーナ			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
9	有明ＢＭＸコース			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－
10	有明ベロドローム			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－
11	有明体操競技場			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－
12	有明テニスの森			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
13	お台場海浜公園			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	屋外競技による影響は一時的であり、生活移動動線への影響はほとんど現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
14	潮風公園			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
17	大井ホッケー競技場			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
18	海の森クロスカントリーコース			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
19	海の森水上競技場			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
20	海の森マウンテンバイクコース			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－			海の森地域での地域住民等の生活移動動線の分断等の影響は生じない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－

評価指標別予測結果表（生活移動動線の分断又は進展）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
21	若洲オリンピックマリーナ			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
22	葛西臨海公園			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
25	夢の島公園			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
26	夢の島競技場			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
30	東京スタジアム			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
31	武蔵野の森公園			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の地域住民の後利用が想定されない。			0	0		－			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		施設撤去後の地域住民の後利用が想定されない。			0	0		－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
34	札幌ドーム			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
35	宮城スタジアム			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
36	埼玉スタジアム2002			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
37	横浜国際総合競技場			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0					既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。					0	0		
0V	選手村			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	セキュリティ対策として施設周辺の交通規制を強化するため移動動線の分断が生じる。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	-1		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	代替ルート等により移動動線が確保される。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0			既に公共的な利用がなされている施設の場所であり、改変エリアは生活移動動線に影響しない。	移動動線は確保されており、競技中も現況と変わらない。		移動動線は確保されており、後利用時も生活移動動線への影響はない。			0	0		0

評価指標別予測結果表（生活移動動線の分断又は進展（ネットワーク化の進展の有無））

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
2	東京体育館			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
3	国立代々木競技場			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
4	日本武道館			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
5	皇居外苑			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
6	東京国際フォーラム			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
7	国技館			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
8	有明アリーナ			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。			0	0		0			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。			0	0		0
9	有明ＢＭＸコース			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－
10	有明ベロドローム			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－
11	有明体操競技場			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－			会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。	会場周辺は既に道路網が整備されており、現状と同等となる。		施設撤去後の後利用が想定されない。			0	0		－
12	有明テニスの森			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
13	お台場海浜公園			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
14	潮風公園			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
17	大井ホッケー競技場			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
18	海の森クロスカントリーコース			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後も公用的利用がなされ、ネットワーク化の進展が維持される。			+1	+1		+1			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後も公用的利用がなされ、ネットワーク化の進展が維持される。			+1	+1		+1
19	海の森水上競技場			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後も公用的利用がなされ、ネットワーク化の進展が維持される。			+1	+1		+1			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後も公用的利用がなされ、ネットワーク化の進展が維持される。			+1	+1		+1
20	海の森マウンテンバイクコース			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後の公共的利用は想定されないため、評価の対象外とする。			+1	+1		－			未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。	未利用地から競技会場が整備されることにより海の森地区のネットワーク化が進展する。		開催後の公共的利用は想定されないため、評価の対象外とする。			+1	+1		－
21	若洲オリンピックマリーナ			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
22	葛西臨海公園			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナＡ、Ｂ			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
25	夢の島公園			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
26	夢の島競技場			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0

評価指標別予測結果表（生活移動動線の分断又は進展（ネットワーク化の進展の有無））

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
30	東京スタジアム			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
31	武蔵野の森公園			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催後の公共的利用は想定されないため、評価の対象外とする。			0	0		－			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催後の公共的利用は想定されないため、評価の対象外とする。			0	0		－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
34	札幌ドーム			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
35	宮城スタジアム			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
36	埼玉スタジアム2002			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
37	横浜国際総合競技場			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0					既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。					0	0		
OV	選手村			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		交通規制の解除、既存鉄軌道駅の改良によりネットワーク化の向上が図られる。			0	0		+1
IBC/MPC	東京ビッグサイト（IBC/MPC）			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0			既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。	既に公共的利用がなされている場所であり、現況と変わらない。		開催前から開催後を通じて現況と変わらない。			0	0		0

評価指標別予測結果表（民家等の移転）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)			改変エリアに民家等が存在するが大会開催に伴う強制退去等は生じない。						0						改変エリアに民家等が存在するが大会開催に伴う強制退去等は生じない。						0			
2	東京体育館			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
3	国立代々木競技場			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
4	日本武道館			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
5	皇居外苑			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
6	東京国際フォーラム			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
7	国技館			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
8	有明アリーナ			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
9	有明ＢＭＸコース			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
10	有明ベロドローム			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
11	有明体操競技場			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
12	有明テニスの森			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
13	お台場海浜公園			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
14	潮風公園			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
17	大井ホッケー競技場			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
18	海の森クロスカントリーコース			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
19	海の森水上競技場			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
20	海の森マウンテンバイクコース			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
21	若洲オリンピックマリーナ			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
22	葛西臨海公園			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナＡ、Ｂ			改変エリアに存在する福祉施設は老朽化等により大会開催によらず統廃合を検討している。						0						改変エリアに存在する福祉施設は老朽化等により大会開催によらず統廃合を検討している。						0			
25	夢の島公園			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
26	夢の島競技場			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
30	東京スタジアム			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
31	武蔵野の森公園			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			

評価指標別予測結果表（民家等の移転）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
34	札幌ドーム			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
35	宮城スタジアム			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
36	埼玉スタジアム2002			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
37	横浜国際総合競技場			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			
0V	選手村			改変エリアに民家等が存在するが大会開催に伴う強制退去等は生じない。						0						改変エリアに民家等が存在するが大会開催に伴う強制退去等は生じない。						0			
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)			改変エリアに民家等は存在しない。						0						改変エリアに民家等は存在しない。						0			

評価指標別予測結果表（アクセス性）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1
2	東京体育館			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
3	国立代々木競技場			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1
4	日本武道館			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
5	皇居外苑			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
6	東京国際フォーラム			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
7	国技館			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
8	有明アリーナ			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			来場者用の歩行者通路の設置によりアクセス性が向上する。			来場者用の歩行者通路の設置によるアクセス性向上が維持される。			+1			+1
9	有明ＢＭＸコース			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時には未利用地となる。			0			－			来場者用の歩行者通路の設置によりアクセス性が向上する。			後利用時には未利用地となる。			+1			－
10	有明ベロドローム			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時には未利用地となる。			0			－			来場者用の歩行者通路の設置によりアクセス性が向上する。			後利用時には未利用地となる。			+1			－
11	有明体操競技場			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時には未利用地となる。			0			－			来場者用の歩行者通路の設置によりアクセス性が向上する。			後利用時には未利用地となる。			+1			－
12	有明テニスの森			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			仮設の歩行者デッキの撤去により、現状と同程度のアクセス性となる。			+1			0
13	お台場海浜公園			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
14	潮風公園			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
17	大井ホッケー競技場			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
18	海の森クロスカントリーコース			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			0			0			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			0			0
19	海の森水上競技場			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			0			0			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			0			0
20	海の森マウンテンバイクコース			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			後利用時には未利用地となる。			0			－			バス等により公共交通機関からのアクセス性は確保されると想定。			後利用時には未利用地となる。			0			－
21	若洲オリンピックマリーナ			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
22	葛西臨海公園			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナＡ、Ｂ			新木場駅への観戦客の集中によるアクセス性低下			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			−1			0			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1
25	夢の島公園			新木場駅への観戦客の集中によるアクセス性低下			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			−1			0			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1
26	夢の島競技場			新木場駅への観戦客の集中によるアクセス性低下			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			−1			0			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			歩行者デッキによるアクセス性の向上。			歩行者デッキによるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
30	東京スタジアム			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0

評価指標別予測結果表（アクセス性）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
31	武蔵野の森公園			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時の公共利用が想定されない。			0			－			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			後利用時の公共利用が想定されない。			0			－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
34	札幌ドーム			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
35	宮城スタジアム			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
36	埼玉スタジアム2002			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
37	横浜国際総合競技場			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0
0V	選手村			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			既存駅の改良等によるアクセス性の向上。			既存駅の改良等によるアクセス性の向上が継続される。			+1			+1
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			アクセス性向上の対策が無く現況と同様のアクセス性である。			0			0

評価指標別予測結果表（交通安全）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
2	東京体育館	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
3	国立代々木競技場	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
4	日本武道館	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
5	皇居外苑	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
6	東京国際フォーラム	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
7	国技館	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
8	有明アリーナ	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
9	有明ＢＭＸコース	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－
10	有明ベロドローム	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－
11	有明体操競技場	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－
12	有明テニスの森	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
13	お台場海浜公園	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
14	潮風公園	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
17	大井ホッケー競技場	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
18	海の森クロスカントリーコース	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	開催後においても開催中と同様に歩車道分離が維持される。	－		－	0	0	0	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	開催後においても開催中と同様に歩車道分離が維持される。	－		－	0	0	0
19	海の森水上競技場	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	開催後においても開催中と同様に歩車道分離が維持される。	－		－	0	0	0	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	開催後においても開催中と同様に歩車道分離が維持される。	－		－	0	0	0
20	海の森マウンテンバイクコース	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。	後利用時の周辺の公共利用が想定されないため評価の対象外とする。	－		－	0	－	－	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	工事区域周辺の歩行者等が想定されないため評価の対象外とする。	後利用時の周辺の公共利用が想定されないため評価の対象外とする。	－		－	0	－	－
21	若洲オリンピックマリーナ	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
22	葛西臨海公園	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩車動線は分離され、交通安全上問題ないように計画される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0

評価指標別予測結果表（交通安全）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	0		－	+1	0	+1
25	夢の島公園	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	0		－	+1	0	+1
26	夢の島競技場	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	歩行者デッキにより新木場駅方面からの歩行者の安全性がさらに向上される。	0		－	+1	0	+1
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
30	東京スタジアム	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
31	武蔵野の森公園	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	後利用時の公共利用が想定されない。	0		－	0	0	－
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	最寄駅からの徒歩ルートにおいて一部の区間で歩車道線の未分離がある。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	最寄駅からの徒歩ルートにおいて一部の区間で歩車道線の未分離がある。	0		－	-1	0	-1	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	最寄駅からの徒歩ルートにおいて歩車動線の分離等の安全対策が取られる。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	最寄駅からの徒歩ルートにおいて歩車動線の分離等の安全対策が開催後も維持される。	0		－	+1	0	+1
34	札幌ドーム	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
35	宮城スタジアム	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
36	埼玉スタジアム2002	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
37	横浜国際総合競技場	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
0V	選手村	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。		競技の実施による影響に含め、評価の対象外とする。	現状において歩車動線は分離されており、開催中も維持される。	現状でも対策は十分になされており、工事に伴う歩車動線の未分離区間は発生しない。	現状において歩車動線は分離されており、後利用時にも維持される。	0		－	0	0	0

評価指標別予測結果表（施設整備費）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
2	東京体育館	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
3	国立代々木競技場	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
4	日本武道館	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
5	皇居外苑	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
6	東京国際フォーラム	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
7	国技館	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
8	有明アリーナ	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
9	有明ＢＭＸコース	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
10	有明ベロドローム	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
11	有明体操競技場	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
12	有明テニスの森	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
13	お台場海浜公園	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
14	潮風公園	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
17	大井ホッケー競技場	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
18	海の森クロスカントリーコース	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
19	海の森水上競技場	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
20	海の森マウンテンバイクコース	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
21	若洲オリンピックマリーナ	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	

評価指標別予測結果表（施設整備費）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
22	葛西臨海公園	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
25	夢の島公園	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
26	夢の島競技場	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
30	東京スタジアム	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
31	武蔵野の森公園	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
34	札幌ドーム	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
35	宮城スタジアム	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
36	埼玉スタジアム2002	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
37	横浜国際総合競技場	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		+1				+1	
0V	選手村	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	対策が無い場合には標準的な施設整備費となる。				対策が無い場合には標準的な撤去・改修整備費となる。		0				0		再生可能材の活用等により、最先端技術導入によるコスト増を相殺して標準的な整備費となる。				再生可能材により整備費や廃棄物処理費用を抑制する等の費用削減措置が取られる。		0				+1	

評価指標別予測結果表（運営経費）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
2	東京体育館				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
3	国立代々木競技場				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
4	日本武道館				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
5	皇居外苑				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
6	東京国際フォーラム				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
7	国技館				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
8	有明アリーナ				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
9	有明ＢＭＸコース				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
10	有明ベロドローム				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
11	有明体操競技場				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
12	有明テニスの森				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
13	お台場海浜公園				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
14	潮風公園				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
15～16	東京ビッグサイト・ホールＡ、Ｂ				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
17	大井ホッケー競技場				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
18	海の森クロスカントリーコース				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
19	海の森水上競技場				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
20	海の森マウンテンバイクコース				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		

評価指標別予測結果表（運営経費）

会場		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
21	若洲オリンピックマリーナ				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
22	葛西臨海公園				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
25	夢の島公園				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
26	夢の島競技場				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
29	武蔵野の森総合スポーツ施設				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
30	東京スタジアム				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
31	武蔵野の森公園				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
32	陸上自衛隊朝霞訓練場				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。						0						ボランティアの活用等により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。						+1		
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
34	札幌ドーム				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
35	宮城スタジアム				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
36	埼玉スタジアム2002				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
37	横浜国際総合競技場				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				ボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		既存施設での光熱費等の大幅な削減は見込めず、運営経費は標準的なものとなる。				+1		0
0V	選手村				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)				対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。		対策を講じない場合には標準的な運営経費となる。				0		0				エネルギー利用の最適化やボランティアの活用により運営経費、維持管理コストの削減が図られる。		エネルギー利用の最適化等により後利用時も光熱費等の維持管理コストの削減が図られる。				+1		+1

評価指標別予測結果表（汚染物質(NO2、SPM)の排出量）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				競技関係の車両の走行に伴う大気汚染物質による大気環境への影響は小さい。						0						競技関係の車両の走行に伴う大気環境への影響は小さく、ミティゲーションは想定していない。						0		
2	陸上競技（競歩）				競技関係の車両の走行に伴う大気汚染物質による大気環境への影響は小さい。						0						競技関係の車両の走行に伴う大気環境への影響は小さく、ミティゲーションは想定していない。						0		
3	自転車競技（ロードレース）				競技関係の車両の走行に伴う大気汚染物質による大気環境への影響は小さい。						0						競技関係の車両の走行に伴う大気環境への影響は小さく、ミティゲーションは想定していない。						0		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				競技関係の車両の走行に伴う大気汚染物質による大気環境への影響は小さい。						0						競技関係の車両の走行に伴う大気環境への影響は小さく、ミティゲーションは想定していない。						0		
5	水泳（マラソン 10km）				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0						競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0						競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
7	カヌー（スラローム）				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0						競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
8	ボート				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0						競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
9	セーリング				競技の実施に伴う汚染物質の排出はない。						0						競技の実施に伴う汚染物質の排出はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		

評価指標別予測結果表（NO2、SPM濃度）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		
2	陸上競技（競歩）				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		
3	自転車競技（ロードレース）				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		
5	水泳（マラソン 10km）				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		
7	カヌー（スラローム）				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		
8	ボート				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		
9	セーリング				競技者に影響のない水準である。						0						汚染物質削減のためのミティゲーションの実施により大気環境が改善される。						+1		

評価指標別予測結果表（放射性物質（大気質））

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
2	陸上競技（競歩）				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
3	自転車競技（ロードレース）				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
5	水泳（マラソン 10km）				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
7	カヌー（スラローム）				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
8	ボート				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
9	セーリング				競技者に影響のない水準である。						0						競技者に影響のない水準であり、ミティゲーションは想定していない。						0		

評価指標別予測結果表（汚濁負荷（COD、T-N、T-P、BOD、SS等）の排出量）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
2	陸上競技（競歩）				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
3	自転車競技（ロードレース）				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
5	水泳（マラソン 10km）				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
7	カヌー（スラローム）				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
8	ボート				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		
9	セーリング				し尿等の汚水は公共下水道へ排出するため公共用水域の水質への影響はない。						0						し尿等の汚水による公共用水域の水質への影響はなく、ミティゲーションは想定していない。						0		

評価指標別予測結果表（水浴場水質判定基準項目）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				陸域競技であることから対象外とした。						－						陸域競技であることから対象外とした。						－		
2	陸上競技（競歩）				陸域競技であることから対象外とした。						－						陸域競技であることから対象外とした。						－		
3	自転車競技（ロードレース）				陸域競技であることから対象外とした。						－						陸域競技であることから対象外とした。						－		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				競技者に影響のある水準の水質である。						*-1*						競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0		
5	水泳（マラソン 10km）				競技者に影響のある水準の水質である。						*-1*						競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				競技者に影響のある水準の水質である。						*-1*						競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0		
7	カヌー（スラローム）				上水を使用することで競技者にとって良好な水質が維持される。						**+1**						上水を使用することで競技者にとって良好な水質が維持されることからミティゲーションは想定していない。						**+1**		
8	ボート				競技者に影響のある水準の水質である。						*-1*						競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0		
9	セーリング				競技者に影響のある水準の水質である。						*-1*						競技者への影響が、ミティゲーションの実施により低減される。						0		

評価指標別予測結果表（放射性物質（水質））

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				陸域競技であることから対象外とした。						－						陸域競技であることから対象外とした。						－		
2	陸上競技（競歩）				陸域競技であることから対象外とした。						－						陸域競技であることから対象外とした。						－		
3	自転車競技（ロードレース）				陸域競技であることから対象外とした。						－						陸域競技であることから対象外とした。						－		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				競技者に影響のない水準の水質である。						0						競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
5	水泳（マラソン 10km）				競技者に影響のない水準の水質である。						0						競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				競技者に影響のない水準の水質である。						0						競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
7	カヌー（スラローム）				競技者に影響のない水準の水質である。						0						競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
8	ボート				競技者に影響のない水準の水質である。						0						競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0		
9	セーリング				競技者に影響のない水準の水質である。						0						競技者に影響のない水準の水質であり、ミティゲーションは想定していない。						0		

評価指標別予測結果表（環境・交通騒音レベル）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				競技関係車両の走行、声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		
2	陸上競技（競歩）				競技関係車両の走行、声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		
3	自転車競技（ロードレース）				競技関係車両の走行、声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				競技関係車両の走行、声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		
5	水泳（マラソン 10km）				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		
7	カヌー（スラローム）				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		
8	ボート				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		
9	セーリング				声援等の騒音による周辺への影響はほとんどない。						0						競技の実施による騒音の影響はほとんどなく、ミティゲーションは想定していない。							0		

評価指標別予測結果表（地面付近の気温）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				現況でアスリートに影響のない水準である						0						現況と変わらずアスリートに影響のない水準である。						0		
2	陸上競技（競歩）				現況でアスリートに影響のない水準である						0						現況と変わらずアスリートに影響のない水準である。						0		
3	自転車競技（ロードレース）				現況でアスリートに影響のない水準である。						0						現況と変わらずアスリートに影響のない水準である。						0		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				現況でアスリートに影響のない水準である						0						現況と変わらずアスリートに影響のない水準である。						0		
5	水泳（マラソン 10km）				水域の競技は対象としない						－						水域の競技は対象としない。						－		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				水域の競技は対象としない						－						水域の競技は対象としない。						－		
7	カヌー（スラローム）				水域の競技は対象としない						－						水域の競技は対象としない。						－		
8	ボート				水域の競技は対象としない						－						水域の競技は対象としない。						－		
9	セーリング				水域の競技は対象としない						－						水域の競技は対象としない。						－		

評価指標別予測結果表（廃棄物発生量の減量化）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		
2	陸上競技（競歩）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		
3	自転車競技（ロードレース）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		
5	水泳（マラソン 10km）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		
7	カヌー（スラローム）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		
8	ボート				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		
9	セーリング				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の減量化がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						既に容器包装廃棄物のリサイクル分別などが実施されており、廃棄物の発生抑制策による最終処分量の大幅な削減は見込めない。						0		

評価指標別予測結果表（廃棄物の有効利用）

競技		一次評価												二次評価													
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点							
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		
2	陸上競技（競歩）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		
3	自転車競技（ロードレース）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		
5	水泳（マラソン 10km）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		
7	カヌー（スラローム）				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		
8	ボート				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		
9	セーリング				競技の実施に伴い排出される一般廃棄物は、現在と同程度の有効利用がなされ、最終処分量は現状の水準と変わらない。						0						資源ごみ回収やごみ処理過程資源化、熱回収等の促進により、一般廃棄物の最終処分量は現在の水準から30%程度削減される。						+1		

評価指標別予測結果表（エネルギー使用量の増減）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0						低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36%以上の低減が図られる。								+2		
2	陸上競技（競歩）				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
3	自転車競技（ロードレース）				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0						低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36%以上の低減が図られる。								+2		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0						低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36%以上の低減が図られる。								+2		
5	水泳（マラソン 10km）				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
7	カヌー（スラローム）				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
8	ボート				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
9	セーリング				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		

評価指標別予測結果表（エネルギー使用量の増減）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0						低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36%以上の低減が図られる。								+2		
2	陸上競技（競歩）				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
3	自転車競技（ロードレース）				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0						低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36%以上の低減が図られる。								+2		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				大会関係車を一般的な車両（ガソリン車）と想定した場合、競技の実施に伴うエネルギー消費量は現状の水準にとどまる。						0						低公害かつ低燃費な自動車を採用することにより、36%以上の低減が図られる。								+2		
5	水泳（マラソン 10km）				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
7	カヌー（スラローム）				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
8	ボート				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		
9	セーリング				影響要因は想定されないことから対象外とした。						－						影響要因は想定されないことから対象外とした。						－		

評価指標別予測結果表（ボトルネックの解消又は継続）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				一時的な交通規制を行うため、渋滞緩和計画を立てない場合には、都心部の交通流を悪化させる可能性がある。						-1						競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントが概ね解消される。								+1		
2	陸上競技（競歩）				一時的な交通規制を行うため、渋滞緩和計画を立てない場合には、都心部の交通流を悪化させる可能性がある。						-1						競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントが概ね解消される。								+1		
3	自転車競技（ロードレース）				一時的な交通規制を行うため、渋滞緩和計画を立てない場合には、都心部の交通流を悪化させる可能性がある。						-1						競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントが概ね解消される。								+1		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				一時的な交通規制を行うため、渋滞緩和計画を立てない場合には、都心部の交通流を悪化させる可能性がある。						-1						競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントが概ね解消される。								+1		
5	水泳（マラソン 10km）				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－						競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。								－		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－						競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。								－		
7	カヌー（スラローム）				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－						競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。								－		
8	ボート				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－						競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。								－		
9	セーリング				競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。						－						競技において会場の敷地外の道路を利用しないため対象外とした。								－		

評価指標別予測結果表（運営経費）

競技		一次評価												二次評価											
		段階別影響						評価点						段階別影響						評価点					
		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後		開会前		開催中		開催後	
No.	名称	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響	工事による影響	招致・PR活動による影響	施設の存在による影響	競技の実施による影響	工事による影響	後利用による影響	工事影響	招致等の影響	存在影響	競技の影響	工事影響	後利用の影響
1	陸上競技（マラソン）				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		
2	陸上競技（競歩）				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		
3	自転車競技（ロードレース）				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		
4	トライアスロン・パラトライアスロン				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		
5	水泳（マラソン 10km）				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		
6	カヌー（スプリント・パラカヌー）				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		
7	カヌー（スラローム）				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		
8	ボート				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		
9	セーリング				想定範囲の運営・維持コスト						0						ボランティア支援策により、多数のボランティアの協力が見込まれ、運営経費の削減がされる。						+1		

平成 25 年 2 月

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

初期段階環境影響評価書
別　　冊
（予測評価結果表）

編集　東京都スポーツ振興局招致推進部
東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号
電話 03-5321-1111　（代表）

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

（無断複写・転載を禁じる）